

平成28年度新拠点立地に伴う公共交通網の設定・変更の
検討手法に関する基礎調査及び更なる
公共交通利用促進を目指す調査検討業務

報告書

平成29年3月

内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室

■目次

■業務の概要	5
1. 業務目的	5
2. 業務内容	5
3. 実施方法	6
■公共交通利用促進メニューを検討するための基礎データ収集・分析	7
1. 既存拠点立地前後での交通環境の推移	7
2. バス+モノレール1日乗り放題「バスモノパス」の利用状況	18
3. 高校生通学定期券の利用状況	19
■実証調査	20
1. 実施概要	20
2. 実証調査募集方法	21
3. 実施調査募集取組一覧(ヒアリング内容)	23
4. モニター募集チラシ・ポスター	24
5. モニター募集実施内容	25
6. モニター調査票	34
7. モニター結果/バス停表記チェックモニター	46
8. モニター結果/マイカー通学高校生モニター	57
9. モニター結果/「バスモノパス」シルバー半額モニター	60
10. モニター調査票/昼間時間バス半額モニター	63

■目次

■第1回意見交換会	67
1. 第1回意見交換会/概要	67
2. 配布資料1: 議事次第	68
3. 配布資料2: 出席者名簿	69
4. 配布資料3: 配席図	70
5. 配布資料4: 利用促進に向けたモニター調査の概要	71
6. 配布資料6: 基幹バス構想、パーク&バスライドについて	72
7. 配布資料8: 今後のアワセゴルフ場跡地の整備について	74
8. 配布資料9: 沖縄都市モノレール延長事業と交通結節点整備	75
9. 配布資料10: 交通結節点としての「てだこ浦西駅」について	77
10. 配布資料11: 1.与那原町位置図、2.与那原町総合交通基本計画、3.与那原町公共交通空白地域	78
11. 配布資料12: リニアバスターミナル運用イメージ	81
12. 配布資料13: エリア別整備計画図	82
13. 第1回意見交換会記録写真	83
14. 第2回意見交換会概要	84
15. 配布資料1: 議事次第	85
16. 配布資料2: 出席者名簿	86
17. 配布資料3: 配席図	87
18. 配布資料4: モニター調査報告	88
19. 配布資料5: 那覇空港からの路線バスの利用促進調査事業	100
20. 配布資料6: 最新型交通情報端末等による交通結節点創出調査	102
21. 配布資料7: 沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会「昼間とりまとめ」の概要	103
22. 配布資料8: 公共交通利用増へ向けた座談会	104
23. 配布資料9: 浦添市サイクル&バスライド実証実験について(途中報告)	105
24. 第2回意見交換会記録写真	107
25. 第3回意見交換会概要	108
26. 配布資料1: 議事次第	109
27. 配布資料2: 出席者名簿	110
28. 配布資料3: 配席図	111
29. 配布資料4: 那覇空港からの路線バスの利用促進調査事業について	112
30. 配布資料5: 浦添市サイクル&バスライド実証実験について	115
31. 配布資料6: 浦添市内の交通結節点の位置づけについて	120
32. 配布資料7: サンエー浦添西海岸計画について	121
33. 配布資料8: てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業について	123
34. 配布資料9: ゆいレールてだこ浦西駅について	124
35. 第3回意見交換会記録写真	125
■公共交通に関する勉強会の開催	126
1. 公共交通に関する勉強会実施概要	126
2. 日程、配布資料	127
3. 出席者名簿	128
4. グループ討議メンバー	129
5. 勉強会の様子	130

■目次

■課題と対応策	131
1. 利用促進モデル	131
2. 表示モデル	132
3. 公共交通網形成・見直しの課題	133
4. 公共交通網のあり方	134
5. 公共交通網の検討手法	135

■業務の概要

1.業務目的

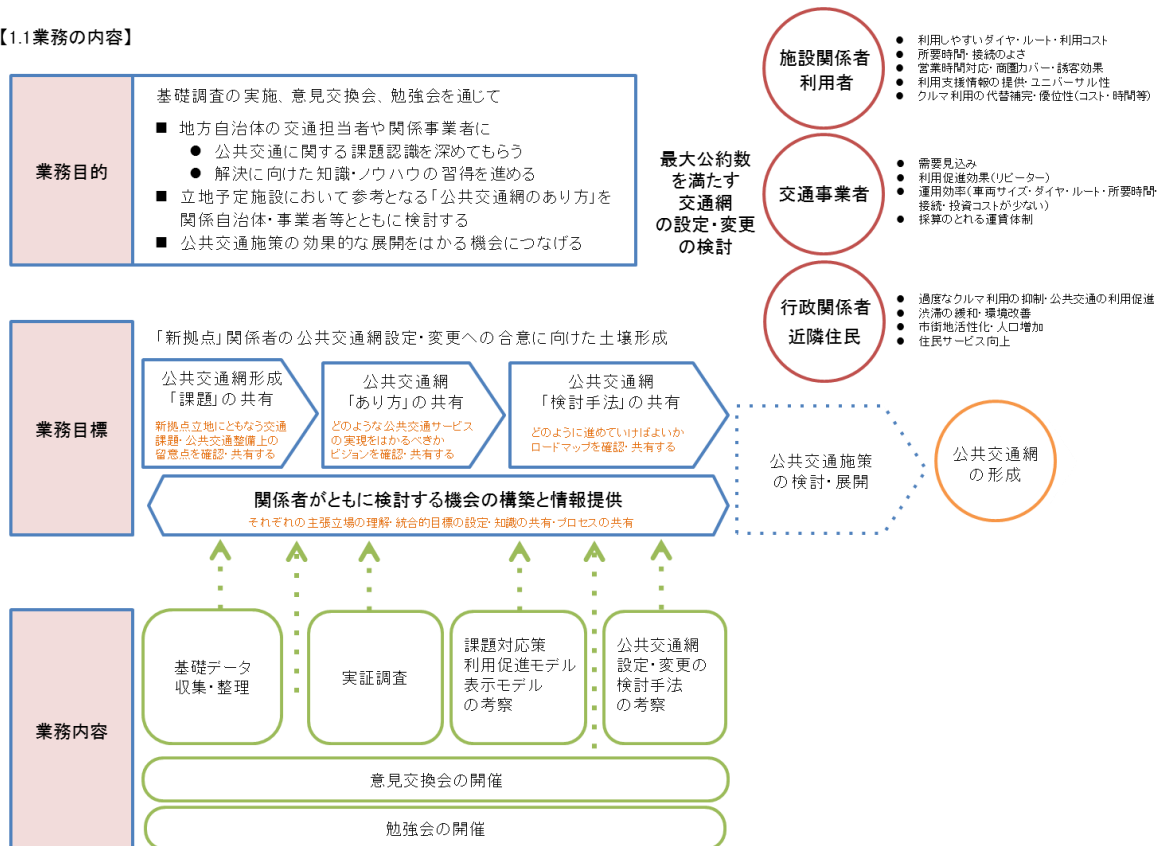
沖縄本島の公共交通は、モノレールのある那覇市内の一部を除いてバスに依存しており、この20年間で、沖縄本島の路線バスの走行距離は横ばいの状況であるものの、利用者数は減少しており、近年の少子高齢化の進展や自動車への過度の依存など公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

また、管内では2020年までに立地することが決定している「MICE施設」「モノレール新駅」において、当施設と公共交通機関との接続に係る検討が進んでいない状況にあり、これは、地方自治体の交通担当者や関係事業者において公共交通に関する課題の把握、解決の方向性に関する知識が不足していること等が原因と考えられます。

前述課題に対応すべく、他県での成功事例や、管内で3年以内に改行した商業・観光施設等の周辺状況に関する情報を収集分析し、今後立地予定の施設において参考となる「公共交通網のあり方」を関係自治体・事業者等と共に検討し、併せて、公共交通施策の効果的な展開を図る機会に繋げる基礎調査を実施します。

2.業務内容

【1.1業務の内容】



■業務の概要

3.実施方法

本事業の全体像	実施業務	業務内容	提案のポイント
	(1) 基礎データ収集・整理	既存拠点の立地前後の交通流動データの収集・分析 低需要時間帯における公共交通機関の利用状況 「バスモノバス」の利用状況 高校生通学定期券の利用状況	- 交通センサス等既存統計データをもとに整理。これに加え、必要に応じて公共交通利用状況を施設ヒアリングにて把握。 - 路線/バス会社で属性別等の情報を把握していないため、にカード会社への協力依頼を通じて利用状況データを取得。 - 利用属性が把握されていない情報については、購入者アンケートを通じて把握。
	(2) 意見交換会の開催	参加者:関係自治体+公共交通事業者+有識者 ・「MOCE建設」モデル 無利/公共交通機関の模 統のあり方 ・利用促進モデル ・表記モデル ・交通網設定・変更の 検討手法	事前に調査結果、考察結果に関する資料配布を行うなど、意見交換が促進される工夫を行う。
	(3) 公共交通に関する勉強会の開催	参加者:各自治体公共交通担当職員	県内外の先行事例および検討の進め方に関する知見を提供。
	(4) 実証調査	バス停表記チェックモニター 50名 低需要時間帯運賃半額モニター 20名 高齢者「バスモノバス」半額モニター 20名 マイカー通学高校生半額モニター 20名	- 現行表記の判読しやすさを検証するとともに、補完情報提供手段ニーズもとらえる。 公共交通の利用促進効果を下記の観点から検証。 - 公共交通利用機会の増加 - クルマ利用の抑制 - 運賃優遇などインセンティブの受容性と効果
	(5) データ集計・分析及び公共交通網設定・変更の検討手法の考察	各種調査まとめ 課題の整理・分析 課題等対応策 利用促進モデル 表記モデル 公共交通網設定・変更の検討手法の考察 意見交換会へ	「地域公共交通網形成計画の手引き」を参考にしながら、地域特性も考察に入れる。 - モビリティマネジメント研究者の知見・助言をもとに考察。
	(6) 報告書等の作成	報告書等の提出・概要版の作成	

■公共交通利用促進メニューを検討するための基礎データ収集・分析

A) 基礎データ収集・整理等 ※第1回意見交換会配布資料4: モニター調査の実施概要参照

●既存拠点の立地直後の交通流動データの収集・分析

<概要>

管内で過去3年以内に開業した商業・観光施設などの立地前後での交通流動の変化と対応施策(道路整備、駐車場、公共交通整備)について整理する。

既存拠点立地前後での交通環境の推移

概要

近年(主に過去3年以内)に開業した商業・観光施設などの立地前後での交通流動の変化と対応施策(道路整備、駐車場、公共交通等の整備)について整理。

対象施設

イオンモール
沖縄ライカム

2015.4開業

北谷ヒルトン
(広義の北谷美浜エリア)

2014.7開業
(アメリカンビレッジは
97年より順次開業、
12年よりホテル開業続く)

沖縄県立南部医療セ
ンター・こども医療セ
ンター

2006.4開業
(2010.10
識名トンネル開通、2014
宜野湾南風原線拡幅)

サンエー宜野湾
コンベンションシティ
(広義のコンベンションセ
ンターエリア)

2012.7開業

調査方法

周 辺
交通量

・平成22年度交通センサスと直近プローブデータを用いて、時間帯別旅行速度の比較

公 共
交通網

・バス路線、運行本数の推移をバス時刻表等で確認

その他
交通対策

・駐車場、交通対策について、公表資料や施設運営者等へヒアリング

施設名	区間	時間帯	年月
イオンライカム	330号線 瑞慶覧⇄胡屋	7時～19時	2015年4月、2016年4月
北谷ヒルトン	58号線 北前⇄国体道路入り口	7時～19時	2014年4月、2015年4月、 2016年4月
県立南部医療センター	82号線 崎山⇄上間	7時～19時	2012年4月～2016年4月まで毎年4 月
宜野湾コンベンションシティ	58号線 牧港⇄海浜公園入り口	7時～19時	2012年4月～2016年4月まで毎年4 月

→それぞれ4月中旬の平日5日間の平均から1日のそれぞれの時間帯の交通量・速度を算出

事例1. イオンモール沖縄ライカム



施設開業日: 2015年4月
年間来客数: 1,300万人超(2015年度)
専門店数: 235店舗※開業ニュースリリース資料

駐車台数: 約4,000台
バス停: 比嘉西原、イオンモール沖縄ライカム

近隣の渋滞箇所: 山里、ライカム、瑞慶覧

- 立地に合わせ、周辺道路の改善、バス路線変更
- 交通量増加により、混雑度は高まる
- 交通情報提供やバス利用促進で混雑緩和をはかる対応

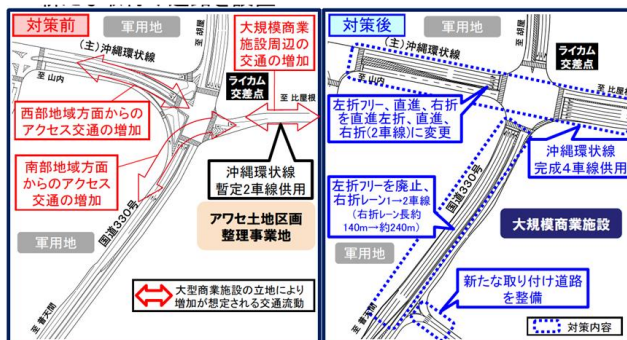


<交通量調査対象区間>
国道330号ライカム交差点を中心とする上下線
(右図の赤線)

1・ライカム

<開業に向けた対応>

- 県道22号線(沖縄環状線)を拡幅(暫定2車線→4車線)
- アクセス経路にあたる国道330号ライカム交差点の改良及び新たな取付道路を設置。



ライカム内にバス停を設置。



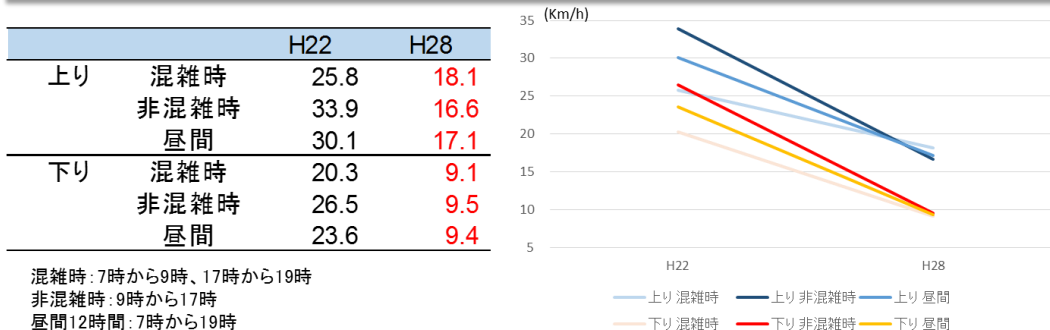
<開業時>新設3、経路変更1

- 92番: 那覇～イオンモール線 那覇BT～イオンモール
- 93番: 屋慶名～イオンモール線 屋慶名BT～イオンモール
- 152番: イオンモール沖縄ライカム(高速)線 那覇空港～イオンモール
- 21番: 新都心具志川線 那覇BT～具志川BT(経路変更)

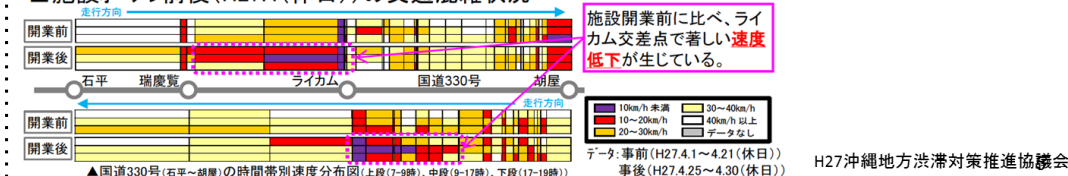
<開業後の交通量の変化>

開業直後の混雑からは落ち着いたが、
下りを中心に全時間帯で周辺道路の混雑度は高まる

イオンモール開業前後(H22とH28)の旅行速度(km/h)の比較



■施設オープン前後(H27.4(休日))の交通混雑状況



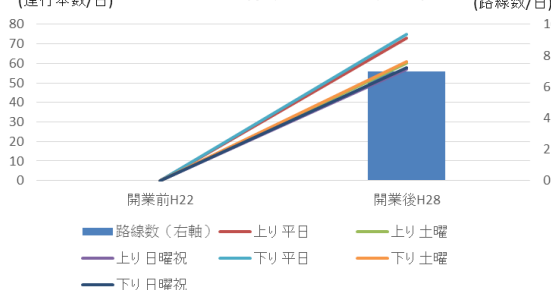
<公共交通網の変化>

モール内にバス停が新設された結果、
トータルでは運行本数は上下線ともに増加

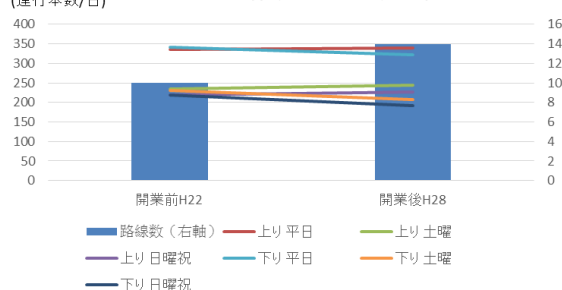
バス停: イオンモール(開業後に新設)

バス停: 比嘉西原

(運行本数/日) 開業前後の路線数とバス本数の推移



(運行本数/日) 開業前後の路線数とバス本数の推移



1・ライカム

無料シャトルバス運行や利用者への片道乗車券提供で、バス利用を推進



イオンモール沖縄ライカムで5,000円（税込）のお買上で高速バス152番線でご利用できるお帰りの無料チケットプレゼント！！

■那覇空港（国内線・国際線）までなら970円おトク！
■那覇バスターミナルまでなら850円おトク！

※お帰りの無料チケットはイオンモール沖縄ライカムから乗車の場合のみご利用いただけます。
※お帰りの無料チケットは引換え当日のみ有効となります。
※定員に達し次第、本企画を終了させていただく可能性がございます。

★路線
中城（なかぐさく）⇒琉大入口（りゅうだいいりぐち）⇒幸地（こうち）⇒那覇インター前（なはいんたんまえ）⇒国場（こくば）⇒船橋（ふねはし）⇒那覇空港（なはこうこう）

※途中で終了する場合がございますので、ご了承くださいませ。
※5/9以降のレシートは合算可。
※AEON STYLEのレシートも対象。

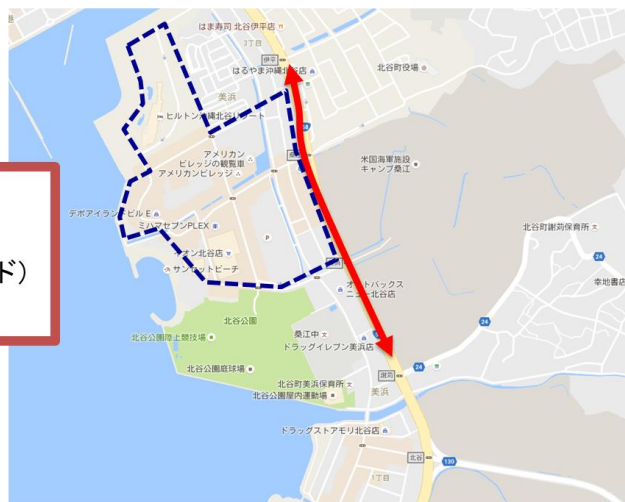
事例2. 北谷エリア



施設開業日：美浜アメリカンビレッジ1997～
デポアイランドグランドオープン2010.7
ベッセルホテル2012.3 北谷ヒルトン2014.7
※2020年に向けホテル開業続く
年間来客数：830万人（2004年）
※宿泊人泊数68.6万人（2016）インバウンド人泊数推計27.7万人（40.4%）
※修学旅行受入校数116（2015）人泊数推計3万人
専門店数：87店舗※デポアイランド通り会
駐車場台数：約2,000台（町営駐車場1,500台、デポアイランド250台、ヒルトン200台 等）
バス停：桑江、軍病院前
近隣の渋滞箇所：国体道路入口、謝苅、北谷

2・北谷

- 混雑度は改善傾向
- 公共交通利用環境も向上
- ホテル開業、観光客（インバウンド）増加を見据えた対応を模索



<交通量調査対象区間>
国道58号美浜交差点を中心とする上下線
（右図の赤線）

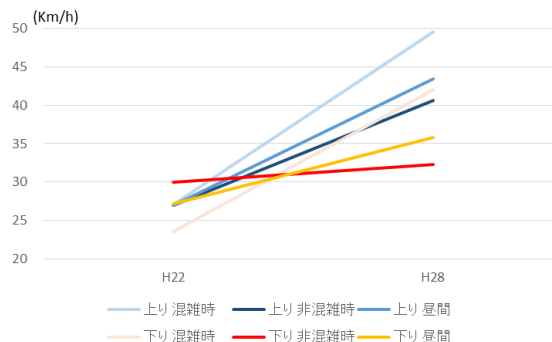
<ヒルトン開業後の交通量の変化>

上り・下りの両方で全時間帯において
周辺道路の混雑度は改善(旅行速度は増加)

ヒルトン開業前後(H22とH28)の旅行速度(km/h)の比較

		H22	H28
上り	混雑時	27.1	49.5
	非混雑時	27.0	40.6
	昼間	27.0	43.4
下り	混雑時	23.6	42.0
	非混雑時	30.0	32.3
	昼間	27.2	35.8

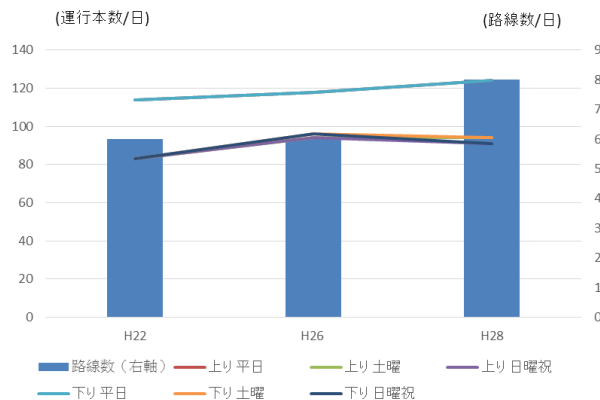
混雑時: 7時から9時、17時から19時
非混雑時: 9時から17時
昼間12時間: 7時から19時



<公共交通網の変化>

路線数、運行本数も上下線ともに増加

バス停: 軍病院前の路線数と運行本数の推移(H22年、H26年、H28年)



＜クルマでの来訪に向けた対応＞

将来の駐車場飽和化をふまえ、対応を模索



- テナント(約21業者)による分担金で利用者無料化を実現し、運用。
- H27よりトラフィックカウンタによる利用状況測定開始。過去1年で132万台利用。
- クルーズ船観光バス立寄(特に雨天時)増加、フィッシャリーナ駐車場での待機等の対応を行っているが、バス駐車場の拡張も検討されている。
- 週末イベント開催による誘客策の実施、インバウンド観光客増等、今後飽和状態は避けられない見込みで、空車情報の提供、公共交通活用も含めて、対応を模索している状況。
- 町営駐車場は無料維持、フィッシャリーナ駐車場は有料化を検討。

主要イベントの来場者数推移

ハーリー	シーポート	ハロウィン	C-1	キャンプ
H23 5,500人	H23 73,000人	H23 1,500人	H23 21,000人	H25 26,520人
H24 5,800人	H24 70,000人	H24 3,000人	H24 30,000人	H26 25,900人
H25 5,700人	H25 73,000人	H25 3,000人	H25 30,000人	
H26 5,800人	H26 90,000人	H26 7,000人	H26 30,000人	
H27 7,500人	H27 中止	H27 20,000人	H27 34,000人	

事例3. 県立南部医療センター・こども医療センター

3・南部医療



施設開業日: 2006年4月開業

※2010年10月識名トンネル開通

2014年宜野湾南風原線拡幅

年間来院者数: 成人外来102,388人、小児外来45,241人

成人入院患者数112,257人、小児入院患者数35,774人

ER総受診者数34,735人(いずれもH27年度)

駐車場台数: 約600台(有料)

バス停: 県立医療センター東口、県立医療センター前

近隣の渋滞箇所: 赤田、那覇IC出口、新川、上間、兼城

- トンネル開通、拡幅で混雑度は改善傾向
- 外来利用の多い平日午前中は満車状態
- 公共交通利用環境もよく、利用も多い。



＜交通量調査対象区間＞

県道82号線: 新川～バイパス

県道241号線: 新川～新川南

(右図の赤線)

<トンネル開通、道路拡幅後の交通量の変化>

トンネル開通、道路拡幅により上下線ともに主に混雑時間帯での
周辺道路の混雑度は低下した(=旅行速度が増加)

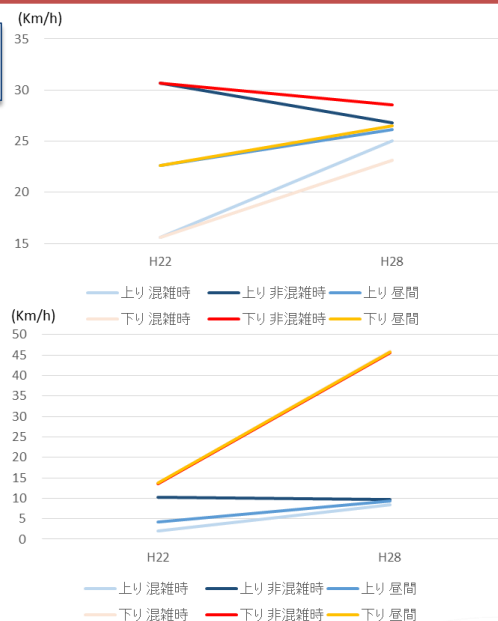
南部医療センターエリア(H22とH28)
の旅行速度(km/h)の比較

新川～バイパス		H22	H28
上り	混雑時	15.6	25.0
	非混雑時	30.7	26.8
	昼間	22.6	26.1
下り	混雑時	15.6	23.2
	非混雑時	30.7	28.6
	昼間	22.6	26.5
新川～新川南		H22	H28
上り	混雑時	2.0	8.4
	非混雑時	10.3	9.8
	昼間	4.2	9.4
下り	混雑時	13.8	45.9
	非混雑時	13.6	45.6
	昼間	13.7	45.7

混雑時: 7時から9時、17時から19時

非混雑時: 9時から17時

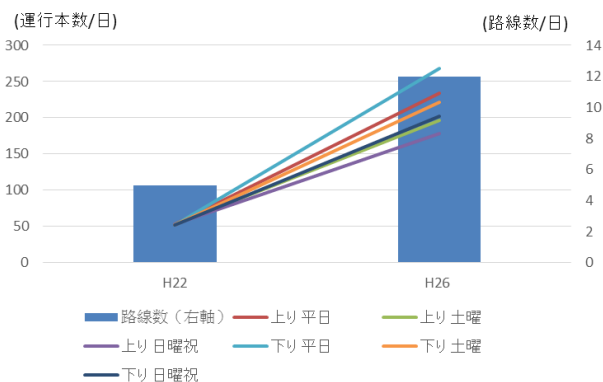
昼間12時間: 7時から19時



<公共交通網の変化>

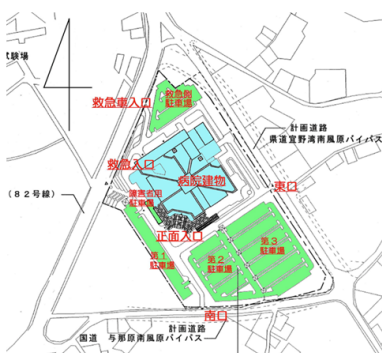
開業直後に那覇バス新川営業所移転もあり、
路線数は増加、運行本数も上下線ともに増加

バス停: 南部医療センターの路線数と運行本数の推移 (H22年、H28年)



＜クルマ、バスでの来訪に向けた対応＞

駐車場は有料対応。利用環境もよいことからバス利用のウエイトも高い。



- 駐車場は有料。1回300円設定だが、外来患者、付添い、見舞い客へは守衛確認後に割引対応。
- 外来診察のある平日午前中を中心に、満車状態。午後は6~7割、1日延べ800~900台の利用と想定されている。
- 委託職員の駐車場を近隣に確保する等の対応を講じている。
- 病院の性格上、幅広いエリアからの来院となるが、那覇市が多い。
- 近くに那覇バスの営業所があり、市内線を中心に運行本数も多いが、南部方面の運行本数が少ない。
- クルマ6割、バス4割は利用していると認識されている。
- ウェブサイトで路線案内や院内にバス時刻表の掲示を行うなどの情報提供を行っている。

事例4. 宜野湾コンベンションシティ

4・宜野湾



施設開業日: 2012年7月開業
テナント数: 42店舗
駐車場台数: 1,125台
バス停: 兼久原、宜野湾高校前、コンベンションセンター前

近隣の渋滞箇所: 海浜公園入口

- 近隣バス停運行路線は限られており、クルマ利用が中心。
- 周辺エリアでのイベント開催時には、周辺道路の渋滞は慢性化。店舗利用に障害も発生。

＜交通量調査対象区間＞
国道58号コンベンションセンター前
交差点を中心とする上下線
(右図の赤線)

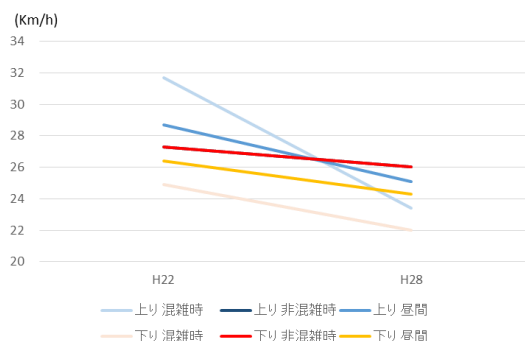


<開業後の交通量の変化>

上り・下りの両方とも全時間帯で
周辺道路の混雑度は高まる(=旅行速度が低下)

宜野湾コンベンションシティ付近(H22とH28)の旅行速度(km/h)の比較

		H22	H28
上り	混雑時	31.7	23.4
	非混雑時	27.3	26.0
	昼間	28.7	25.1
下り	混雑時	24.9	22.0
	非混雑時	27.3	26.1
	昼間	26.4	24.3

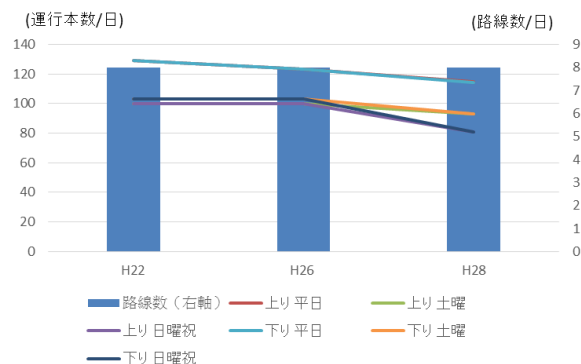


混雑時: 7時から9時、17時から19時
非混雑時: 9時から17時
昼間12時間: 7時から19時

<公共交通網の変化>

路線数には変更がないものの、
運行本数は若干減少

コンベンションセンター前の路線数と運行本数の推移(H22年、H26年、H28年)



＜クルマ、バスでの来訪に向けた対応＞

クルマでの来訪を前提。公共交通機関利用への対応は特に伺えない。



- 駐車場は無料。
- 基本はクルマでの来訪を前提としており、公共交通機関利用への対応は特に伺えない。
- 店舗のイベントスペースでも、集客イベントを随時開催。
- 周辺施設の駐車場キャパシティに限界があり、大型集客イベント開催時には逆に店舗利用の障害になるケースも発生している。

＜まとめ＞

- 「新拠点」開業後の来客増加、周辺エリア開発進展、イベント開催増加等の要因で、いずれ周辺道路の混雑度アップや駐車場の飽和化は避けられない。
- 駐車場空車情報、周辺道路混雑状況、迂回ルート等のクルマ流入の分散化をはかる事前の情報提供は重要。
- 「新拠点」および付近への交通結節点を設置し、ここを起点としたネットワーク形成により、公共交通利用が高まる可能性がある。また「新拠点」への誘客という相乗効果も期待できる。

■バス+モノレール1日乗り放題「バスモノパス」の利用状況

●公共交通利用促進メニューを検討するための基礎データ収集・分析

1) バス+モノレール1日乗り放題「バスモノパス」の利用状況

・「バスモノパス」の購入できる那覇バスターミナル、モノレール各駅に切手不要の葉書アンケートを
購入時に配布し、返送してもらう。

アンケート葉書配布期間：2016年10月1日～12月28日

回収数：17通

郵便番号 9000000 那覇市 那覇市 那覇市 那覇市 那覇市 那覇市

バスモノパスアンケート
事務局行き

バスモノパス利用者アンケート

この度は「バスモノパス」をご利用いただきありがとうございます。今後のサービスに活かすため、お手数ですが、下記アンケートにご協力をお願いします。

F1 あなたの性別は？

F2 あなたの年齢は？

F3 利用頻度は？

F4 バスモノパスの利用は今週で何回ですか？

F5 今回の利用目的は何ですか？

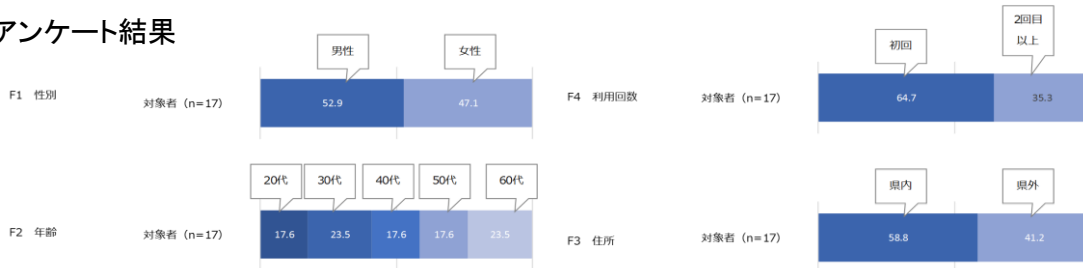
F6 バスモノパスをどのようにして知りましたか？

F7 バスモノパスを利用するより何をもっと購入してください？

ご協力ありがとうございました。

内閣府沖縄総合事務局
アンケートに関するお問い合わせ：098-862-4280

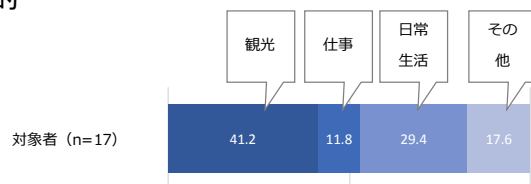
アンケート結果



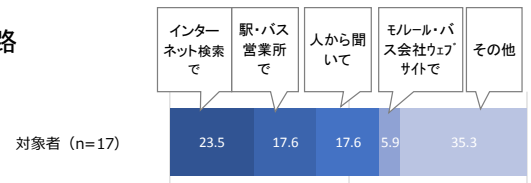
● 観光目的での利用が多いが、県民での日常生活利用も一定数存在。

● H26年までは「ゆいゆい号」運行と合わせての利用プロモーション機会が存在したが、H27年度は運行を休止した関係で、利用者が低下した。

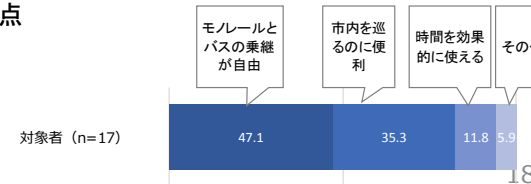
◇利用目的



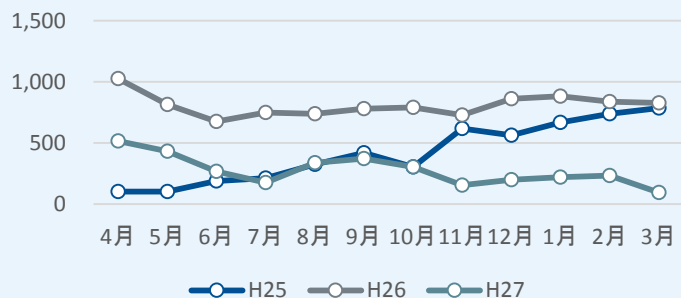
◇認知経路



◇利用利点



バスモノパス発券枚数の推移



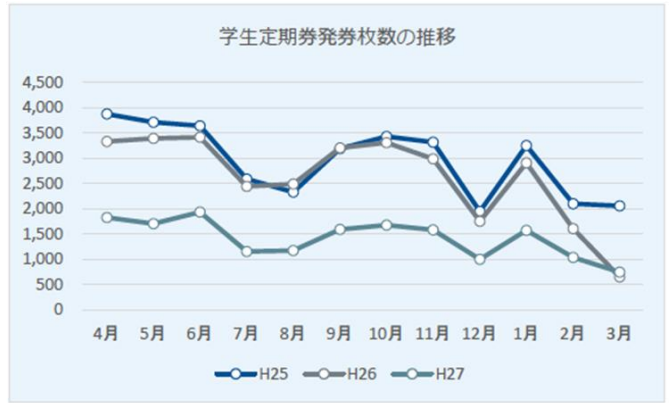
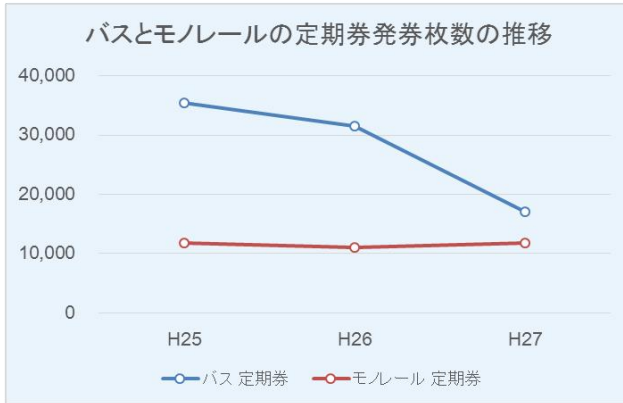
■高校生通学定期券の利用状況

●公共交通利用促進メニューを検討するための基礎データ収集・分析

2) 高校生通学定期券の利用状況

※第2回意見交換会配布資料4「モニター調査報告」参照。

- バスではOKICA導入後、利用者が減少している。
- 一方、モノレールは上向きに転じている。
- いずれも学期初めでの購入が多い。



■実証調査/実施概要

●実施概要

A) バス停表記モニター

現存する商業施設・観光施設等の間を路線バスで移動することを前提に、バス停表記の内容を確認し、実際に路線バスに乗り移動する。

B) 昼間時間帯モニター

乗車時間帯を「概ね10～16時」とすることを条件に、モニター限定で運賃負担額を「半額」とし、同時間帯の利用促進効果の有無を調査。

C) 高齢者「バスモノパス」利用モニター

高齢者(65歳以上)をモニターとして「バスモノパス(バス+モノレール1日乗り放題乗車券)」の料金負担額を「半額」として購入してもらい、高齢者の外出機会の増加や路線バス・モノレールの利用促進効果の有無を調査。

D) マイカー通学高校生モニター

マイカー通学する高校生をモニターとし、モニター限定で運賃負担額を「半額」とし、利用促進効果の有無を調査。

モニター調査の概要

	①バス停表記 モニター	②マイカー通学 高校生モニター	③高齢者 「バスモノパス」 モニター	④昼間時間帯 モニター
目的	現存の商業施設・観光施設の間を路線バスで移動して、バス停で提供されている情報、表記の判読と利用上の利便性を明らかにする	マイカー通学の高校生を対象者として、通学定期券を利用してもらい、利用促進効果の検証を行う。	高齢者(65歳以上)を対象者として、バスモノパス(1,000円)を7日間利用してもらい、利用促進効果の検証を行う	公共交通機関の低需要時間帯(概ね10時～16時)に利用してもらい、利用促進効果の検証を行う。
概要	那覇市内2カ所、市外3カ所の商業施設・観光施設をOKICAを利用して、バスで移動し、バス停の情報・表記を見て評価してもらう。	モニターが申告利用区間(一方が那覇市内の発着点を持つ区間)に対して、1ヶ月通学定期券運賃の半額を補助し、バスを利用してもらう。	那覇バスとゆいレールを利用可能な地域に在住の高齢者に、7日分の「バスモノパス」を利用してもらう。バスモノパスは半額を補助する。	調査対象者が申告した利用区間(一方が那覇市内の発着点を持つ区間)に対して、1ヶ月定期券運賃の半額を補助し、低需要時間帯のバスを利用してもらう。
対象者 条件	・那覇市内及び周辺市町村に在住の20歳から69歳までの一般住民男女。 ・バス利用経験のない方も応募可能。	・那覇市内の高校に通う那覇市外在住の高校生ないしは、那覇市外の高校に通う那覇市内在住の高校生。 ・調査期間中に15日以上利用することを条件とする。 ・対象者となるには、保護者の同意が必要。	・那覇市内及び周辺市町村に在住の65歳以上の一般住民男女。 ・一人で外出可能であることを条件とする。	・那覇市内及び周辺市町村に在住の20歳から69歳までの一般住民男女。 ・調査期間中に10日以上利用することを条件とする。

■実証調査モニター募集方法

●モニター調査

【第1次募集】募集期間:8月29日(月)～9月16日(金)

＜バス停表記チェックモニター、昼間時間帯モニター、高齢者モニター＞

- ・市町村広報誌掲出:6誌(那覇市、浦添市、宜野湾市、豊見城市、中城村、北中城村)
- ・新聞広告(モノクロ半3段):2紙(9月11日付琉球新報・沖縄タイムス)
- ・募集ポスター・チラシ配布(チラシ1704枚・ポスター112枚):29箇所
(官公庁・自治体、大学、老人クラブ連合会、沖縄都市モノレール、東陽バス、イオン琉球等)
- ・モノレール各駅チラシ設置:9月1日(木)～9月16日(金)・イオン琉球各店チラシ設置:9月8日(木)～9月16日(金)
- ・インターネット広告:1箇所(公募ガイド、9月1日(木)～9月16日(金))
- ・ウェブサイトへの掲示(沖縄総合事務局、アカネクリエーション)

＜高校生通学モニター＞

- ・県立高等学校協力依頼:9校(北中城高、コザ高、普天間高、浦添商業高、陽明高、首里高、首里東高、那覇国際高、西原高)
- ・沖縄県教育庁への協力依頼、教育庁を通じた対象高への依頼、各校への説明
- ・高校生向けポスター各校2枚配布(計18枚)

【応募状況】

バス停表記チェックモニター:18名、昼間時間帯モニター:1名、高齢者モニター:6名(うちキャンセル1名)

高校生通学モニター:18名(うちキャンセル4名)

【第2次募集】募集期間:9月16日(金)～9月30日(金)

＜バス停表記チェックモニター、昼間時間帯モニター、高齢者モニター＞

- ・募集チラシ・ポスター掲示(継続):29箇所(掲示終了していた施設3カ所へは再掲示依頼)
(官公庁・自治体、老人クラブ連合会等)
- ・募集チラシ追加配布(690枚):23箇所(老人クラブ連合会、県立図書館、市立図書館、各市立公民館)
- ・バス運転席後部ポスター掲出3社、30台(沖縄バス(株):10台、(株)琉球バス交通10台、那覇バス(株)10台)
- ・ウェブサイトへの継続掲示(沖縄総合事務局、アカネクリエーション)
- ・ウェブサイトへの掲示(ゴーヤドットネット、公募ガイド、おきなわのうわさ話、バスマップ沖縄、リゅうひゃく(琉球百貨辞典))9月23日～

＜高校生通学モニター＞

- ・県立高等学校協力依頼:9校(期間延長にともなう再協力依頼:北中城高、コザ高、普天間高、浦添商業高、陽明高、首里高、首里東高、那覇国際高、西原高)

【応募状況(累計)】

バス停表記チェックモニター:29名(うちキャンセル1名)、昼間時間帯モニター:4名、高齢者モニター:6名(うちキャンセル2名)、高校生通学モニター:20名(うちキャンセル8名)

■実証調査モニター募集方法

●モニター調査

【第3次募集】募集期間:9月30日(金)～10月11日(火)

＜バス停表記チェックモニター、昼間時間帯モニター、高齢者モニター＞

- ・ ウェブサイトへの掲示:3箇所(ゴーやードットネット、公募ガイド、とくちゅ)9月28日～
- ・ インターネット広告:1箇所(ていーだブログトップページ9月29日(木)～10月6日(木))
- ・ 募集チラシ再配布(720枚):24箇所
(官公庁・自治体、老人クラブ連合会、県立図書館、各市立図書館、各市立公民館)
- ・ チラシデータ送付:11箇所(官公庁・自治体、掲示終了していた施設への再送付)

＜バス停表記チェックモニター、昼間時間帯モニター、高齢者モニター、高校生通学モニター＞

- ・ 新聞広告(モノクロ半2段):2紙(10月4日付琉球新報・沖縄タイムス)

＜高校生通学モニター＞

- ・ 県立高等学校追加協力依頼:6校(那覇高、那覇西高、小禄高、那覇工業高、那覇商業高、中部商業高)
- ・ 沖縄県教育庁への追加協力依頼、教育庁を通じた対象高への依頼、各校への説明
- ・ 高校生向けポスター各校2枚配布(計8枚)那覇高データのみ、那覇商業高資料のみ

【応募状況(累計)】

バス停表記チェックモニター:52名(うちキャンセル2名)、昼間時間帯モニター:9名(うちキャンセル4名)、高齢者モニター:10名(うちキャンセル3名)、高校生通学モニター:37名(うちキャンセル14名)

【第4次募集】募集期間:10月12日(金)～11月14日(月)

＜昼間時間帯モニター、高齢者モニター＞

- ・ 募集チラシ再配布(865枚):56箇所
(老人クラブ連合会、県立図書館、各市立図書館、各市立公民館、病院、大学、カルチャーセンター、スポーツクラブ、市民体育館、県立武道館)
- ・ チラシデータ送付:11箇所(官公庁・自治体)

【応募状況(累計)】※11月14日現在

バス停表記チェックモニター:52名(うちキャンセル2名)、昼間時間帯モニター:12名(うちキャンセル5名)、高齢者モニター:12名(うちキャンセル4名)、高校生通学モニター:46名(うちキャンセル30名)

■実証調査モニター募集方法

●モニター調査(ヒアリング内容)

バス停表記モニター: 目標数には到達

昼間時間帯モニター: 13名不足

高齢者モニター: 12名不足

高校生通学モニター: 4名不足

応募問合せ時、キャンセル時のヒアリングであげられた主な理由は下記の通り。

<昼間時間帯>

- ・【金銭的なインセンティブにならない】半額といえども定期券でトクになるほど、利用しない→(自己負担があるので損になる)
- ・【市外→市内、市外→市外に該当しない】市内線で利用したい、市外線利用だが市内のみの利用
- ・【時間帯が該当しない】9時台での利用開始、20時以降の帰宅(シフト勤務者)
- ・【定期だとバス会社が限定される】間に合うためには別のバス会社も利用したい→かえって経済的負担になる

<高齢者>

- ・【那覇バスが通行しない】那覇市内だが市外線しか通っていない

<高校生>

- ・【金銭的なインセンティブにならない】半額といえども定期券でトクになるほど、利用しない→(自己負担があるので損になる)
 - ・【定期だとバス会社、乗降エリアが限定される】
- ※本人は希望したが、定期代を出す保護者が「乗らないのでは」難色を示して断念するケースもみられる。

■モニター募集チラシ・ポスター

●バス停表記チェックモニター・昼間時間バス半額モニター・「バスモノパス」シルバー半額モニター向け

バスをお得に
利用しよう!

バス利用者 モニター募集中

内閣府沖縄総合事務局では、公共交通機関の利用を促進する方策の検討を行っています。その一環として定路線を
使って、バスやモノレールを利用して頂いた際にアンケート等で、ご意見をいただくモニターを募集します。

①バス停表記チェックモニター

那覇市内2カ所、市外の3カ所の商業施設や観光施設を
巡回バスで観覧し、その際にバス停の表示や周辺を写真で
アンケートにお答えいただきます。バス停には、沖縄
カード(OKICA(オキカ))を利用して頂きます。

【応募条件】
1.那覇市内及び周辺市町村に在住の20歳から69歳までの
一般住民男女。
2.バス利用経験のない方も応募可。
3.モニター期間中(9/29(金)9/30(土)10/1(土))
上記いずれか1日への参加が可能な方。

【調査期間】
H28年10月からの1ヶ月間
【募集人数】
50名

②昼間時間バス半額モニター (平日10時～16時)

平日10時～16時の時間帯で、那覇市内と市外をつなぐ区間
路線バスを利用していただき、アンケートにお答えいただき
ます。1ヶ月定期券の半額を補助いたします。

【応募条件】
1.那覇市内及び周辺市町村に在住の20歳から69歳までの
一般住民男女。
2.調査期間中に10日以上利用すること。
3.モニター期間中(9/29(金)9/30(土)10/1(土))
上記いずれか1日への参加が可能な方。

【調査期間】
H28年10月からの1ヶ月間
(10月1日から31日までの定期券の利用)
【募集人数】
20名

③「バスモノパス」シルバー半額モニター

那覇市内バス・モノレールの1日乗り放題乗車券(バス
モノパス)を7日分ご利用後、アンケートにお答え頂きます。
バスモノパスは料金の半額を補助いたします。

【応募条件】
1.那覇市内及び周辺市町村に在住の65歳以上の一般住民
男女。
2.お一人で参加可であること。
3.モニター期間中(9/29(金)9/30(土)10/1(土))
上記いずれか1日への参加が可能な方。

【調査期間】
H28年10月からの1ヶ月間
(乗車日は乗車中任意の7日間)
【募集人数】
20名

応募方法

郵送、FAXもしくはメールにて応募ください。(※電話
での受付はいたしません)応募の際には「応募モニター
の権利(1～3)・名前・住所・年齢・電話番号(携帯)
バスの利用頻度・3カ所のみ(利用区間・バス会社
系統番号・乗車停留所)のご記入をお願いします。
(※郵送・FAXでの応募の際には、裏面の申込用紙を
ご使用ください。)



【応募締切】平成28年9月16日(金)必着

お申し込み先 〒900-0004 沖縄県那覇市読切1-19-29 (株式会社アカネクリエーション)
FAX: 098-862-8891 E-mail: busmonitor@akane-ad.co.jp
お問い合わせ ☎098-862-8280 (担当: 玉木・三橋・伊藤)

沖縄総合事務局 運輸部 

●マイカー通学高校生向け

通学は、やっぱりバスでしょ!

バス通学モニター募集中



goe!! for LET'S GET ON A BUS!!

皆で乗ろう!

お得なお知らせ!

バスを利用してアンケートに答えると 1ヶ月の通学定期券が半額になる!

内閣府沖縄総合事務局では、バス利用者促進の一環として高校生の皆さんに1ヶ月定期券を利用して
バス通学をして頂き、利用についての意見をいただくモニターを募集します。

モニター条件

- 那覇市外在住の高校生。もしくは那覇市外の
高校に通う那覇市内在住の高校生。
- 調査期間中に15日以上利用し、アンケートに
回答をして頂きます。
- 保護者の同意が必要です。

【調査期間】 H28年10月からの1ヶ月間
(10月1日から31日までの定期券の利用。)

【募集人数】 20名

応募方法

郵送、FAXもしくはメールにて応募ください。
応募の際には「名前・住所・学年・年齢
(学年)・電話番号(携帯)・バスの利用頻度
利用区間(バス会社、系統、乗車停留所)」の
ご記入をお願いします。

お申し込みはコチラ
QRコードよりメールで
お申し込みいただけます。

【応募締切】 平成28年9月16日(金)※当日必着

お申し込み先 〒900-0004 沖縄県那覇市読切1-19-29 (株式会社アカネクリエーション)
FAX: 098-862-8891 E-mail: busmonitor@akane-ad.co.jp
お問い合わせ ☎098-862-8280 (担当: 玉木・三橋・伊藤)

沖縄総合事務局

【第1次募集】8月29日(月)～9月16日(金)

【情報】

◆インフォメーションは23面から

◆読者のみなさんへ10歳以上！
 9月1日の10時～11時30分まで、
 アール・ホール・クラブで「読者のみなさんへ」の会を開催いたします。定員は20名に達した時点で、定員を超えては行いません。参加費は250円（会場費、電車代は別途）です。お申し込みは、9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

◆心身の健康をともに大切にしませんか
 9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

◆ヨガやヨガ・ヨガ・ヨガ・ヨガ
 9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

◆読者のみなさんへ10歳以上！
 9月1日の10時～11時30分まで、
 アール・ホール・クラブで「読者のみなさんへ」の会を開催いたします。定員は20名に達した時点で、定員を超えては行いません。参加費は250円（会場費、電車代は別途）です。お申し込みは、9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

【お知らせ】

◆読者のみなさんへ10歳以上！
 9月1日の10時～11時30分まで、
 アール・ホール・クラブで「読者のみなさんへ」の会を開催いたします。定員は20名に達した時点で、定員を超えては行いません。参加費は250円（会場費、電車代は別途）です。お申し込みは、9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

◆読者のみなさんへ10歳以上！
 9月1日の10時～11時30分まで、
 アール・ホール・クラブで「読者のみなさんへ」の会を開催いたします。定員は20名に達した時点で、定員を超えては行いません。参加費は250円（会場費、電車代は別途）です。お申し込みは、9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

◆読者のみなさんへ10歳以上！
 9月1日の10時～11時30分まで、
 アール・ホール・クラブで「読者のみなさんへ」の会を開催いたします。定員は20名に達した時点で、定員を超えては行いません。参加費は250円（会場費、電車代は別途）です。お申し込みは、9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

◆読者のみなさんへ10歳以上！
 9月1日の10時～11時30分まで、
 アール・ホール・クラブで「読者のみなさんへ」の会を開催いたします。定員は20名に達した時点で、定員を超えては行いません。参加費は250円（会場費、電車代は別途）です。お申し込みは、9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

◆読者のみなさんへ10歳以上！
 9月1日の10時～11時30分まで、
 アール・ホール・クラブで「読者のみなさんへ」の会を開催いたします。定員は20名に達した時点で、定員を超えては行いません。参加費は250円（会場費、電車代は別途）です。お申し込みは、9月15日（月）～16日（火）の10時～17時、参加費は50円、定員は、駐車場満ち、同席（998-9177-3442）

- ・なは市民の友
- ・広報うらそえ
- ・広報北中城
- ・広報なかぐすく
- ・市報ぎのわん
- ・広報とみぐすく

なは市民の友

沖縄開発庁事務局では、公共交通の利便性向上に努めることを目的とした調査を実施するため、モニターを募集します。

■モニター調査内容

① 上バス、バスモノバス半額モニター1週間

② バス利用可能な方①半額定期ター①(1か月間)

③ 表記エッタモノ②本局中バス停の表記情報をエッタする(1か月間)

④ 金⑤まで

⑥ 日⑦調査希望(受託者⑧アカエ⑨ション) ☎867・8280

**公共交通利用モニター募集
のお知らせ**

沖縄総合事務局では下記モニターを募集しております。詳しくは下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

【65歳以上の方】
バスモノパス半額モニター※期間は1週間
バスモノパスとは…那覇バスの那覇市内均一区間とモノレール全線が乗り放題になる共通券のこと。

【昼時間にはバス利用可能な方】
半額定期券モニター※期間は1ヶ月間

【バス乗表記チェックモニター】
本島中南部のバス停の表記情報をチェックするモニター

◆全応募締切9月16日※応募方法、詳細について
広報なかへすく にお問い合わせ下さい。

モニター募集のお知らせ
 沖縄総合事務局では下記モニターを募集しています。詳しくは下記までお問合せください。(調査期間10月1日～31日)
[65歳以上の方]
 バスモニター半額モニター※期間1週間
[昼時間にバス利用可能な方]
 半額定期券モニター※期間1か月間
[バス停表記チェックモニター]
 本島中南部のバス停の表記情報をチェックするモニター
募集締切 9月16日(郵送の場合必着)
問 モニター調査事務局 ☎862-8280
 (※アカネTVエーション)
 市報ぎのわん

広報北中城

公共交通利用モニター募集について

●モニター調査目的

今後設置が予定されているモノレール新駅、大型MICE施設を通過する公共交通網の新設や既存ルート等の変更を検討する中で、必要となる乗降客データを取得するとともに、今後、利用が見込める層への公共交通の利用促進策を調査することで更なる公共交通の利用活性化につなげることを目的とします。

●モニター調査実施期間

平成28年10月1日(土)～同月31日(月)

●モニター募集期間

平成28年9月16日(金)まで

●実施予定のモニター調査

- 65歳以上の高齢者の公共交通利用促進を目的としたモニター調査
- マイカー通学の高校生の公共交通利用促進を目的としたモニター調査
- 低需要時間帯(概ね10時～16時)の公共交通の利用促進を目的としたモニター調査
- バス停における情報・表記に関してより効果的な方法を模索することを目的としたモニター調査

【問合せ先】沖縄総合事務局(モニター調査主事務局)

☎862-8280

バス停のモニター

沖井総合事務所
〒098-8661 1812
公共交通センタービル1Fに設置して
います。

(5) 時刻表について

バスモノバス半額三ター 期間：1週間
平日10時～16時の間にバス利用可能な方
半額定期券三ター 期間：1箇月間
バス停のモニタースクリーンにて

本島中部のバス停の表記情報やエキス
ポジター

全年度締切 9月16日(金)半額送の場合必
ずお問い合せ 委託先 アカネクリエシヨ

098-8662-2222

広報とみぐく

■モニター調査実施内容

【第1次募集】8月29日(月)～9月16日(金)

■インターネット広告:公募ガイド



■ウェブサイトへの掲示(沖縄総合事務局・アカネクリエイション)



【一般向け】



【高校生向け】

■県立高等学校協力依頼：9校 ※訪問協力依頼

●協力依頼高等学校

	学校名	電話番号	FAX
1	沖縄県立北中城高等学校	098-935-3377	098-953-5071
2	沖縄県立コザ高等学校	098-937-3563	098-937-0677
3	沖縄県立普天間高等学校	098-892-3354	098-893-5888
4	沖縄県立浦添商業高等学校	098-877-5844	098-877-4305
5	沖縄県立陽明高等学校	098-879-3062	098-879-9520
6	沖縄県立首里高等学校	098-885-0028	098-884-3442
7	沖縄県立首里東高等学校	098-886-1578	098-886-5186
8	沖縄県立那覇国際高等学校	098-860-5931	098-860-3810
9	沖縄県立西原高等学校	098-945-5418	098-946-0339

■モニター調査実施内容

【第2次募集】9月16日（金）～9月30日（金）

■ウェブサイトへの掲示:5箇所

	URL	依頼日	掲載確認日
おきなわのうわさ話	http://www.098u.com/	9月23日	9月27日
公募ガイド	http://www.koubo.co.jp/	9月23日	9月26日
ゴーやードットネット	https://www.govah.net/	9月23日	9月26日
バスマップ沖縄	http://www.kotsu-okinawa.org/	9月23日	9月27日
りゅうひやく（琉球百科事典）	http://ryu100.com/	9月28日	9月29日

【ゴーやードットネット】

バス利用者モニター募集！！
バス利用料金が半額に！！バス乗り放題乗車券も達
呈！モニター募集中！

募集期間 2016年09月16日（金）
終了日時 2016年09月30日（金）
募集場所 全県
性別 男性・女性
年齢 18歳以上
職業 学生・社会人・主婦・その他
収入 不問
応募方法 郵送又はFAX
〒901-8505 沖縄県那覇市美里2-2-28 アカサ
ビル 2F
FAX: 098-952-0595
Eメール: busmonitor@okanawa.net
※お問い合わせの際は、ゴーやードットネット
を明記をお願いします。

【公募ガイド】

バス利用者モニター募集中！！

募集期間 2016年09月16日（金）～2016年09月30日（金）
募集場所 全県
性別 男性・女性
年齢 18歳以上
職業 学生・社会人・主婦・その他
収入 不問
応募方法 郵送又はFAX
〒901-8505 沖縄県那覇市美里2-2-28 アカサ
ビル 2F
FAX: 098-952-0595
Eメール: busmonitor@okanawa.net
※お問い合わせの際は、公募ガイドを明記をお願いします。

【りゅうひやく（琉球百科事典）】

バス利用者モニター募集中！！

募集期間 2016年09月16日（金）～2016年09月30日（金）
募集場所 全県
性別 男性・女性
年齢 18歳以上
職業 学生・社会人・主婦・その他
収入 不問
応募方法 郵送又はFAX
〒901-8505 沖縄県那覇市美里2-2-28 アカサ
ビル 2F
FAX: 098-952-0595
Eメール: busmonitor@okanawa.net
※お問い合わせの際は、りゅうひやくを明記をお願いします。

【沖縄のうわさ話】

バス利用者モニター募集！！

募集期間 2016年09月16日（金）～2016年09月30日（金）
募集場所 全県
性別 男性・女性
年齢 18歳以上
職業 学生・社会人・主婦・その他
収入 不問
応募方法 郵送又はFAX
〒901-8505 沖縄県那覇市美里2-2-28 アカサ
ビル 2F
FAX: 098-952-0595
Eメール: busmonitor@okanawa.net
※お問い合わせの際は、沖縄のうわさ話を明記をお願いします。

【バスマップ沖縄】

バス利用者モニター募集！！

募集期間 2016年09月16日（金）～2016年09月30日（金）
募集場所 全県
性別 男性・女性
年齢 18歳以上
職業 学生・社会人・主婦・その他
収入 不問
応募方法 郵送又はFAX
〒901-8505 沖縄県那覇市美里2-2-28 アカサ
ビル 2F
FAX: 098-952-0595
Eメール: busmonitor@okanawa.net
※お問い合わせの際は、バスマップ沖縄を明記をお願いします。

■モニター調査実施内容

【第2次募集】9月16日(金)～9月30日(金)

■公共施設等へのチラシ・ポスター配布、掲出依頼

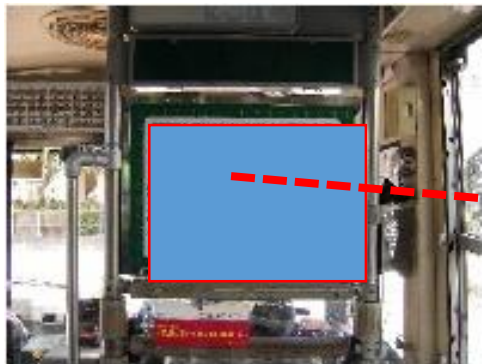
		2016/9/30締切		2016/10/11締切	
		9/23送付	部数	10/5再送付	部数
沖縄県	交通政策課			○	30
那覇市	都市計画課			○	30
浦添市	都市計画課			○	
豊見城市	都市計画課			○	
宜野湾市	秘書広報課			○	
西原町	広報課			○	
与那原町	広報課	○		○	
北谷町	広報課			○	
北中城村	企画振興課			○	
中城村	企画課	○		○	
沖縄市	都市計画課	○			
豊見城市老人クラブ連合会		○	30	○	30
糸満市老人クラブ連合会		○	30	○	30
与那原町老人クラブ連合会		○	30	○	30
南風原町老人クラブ連合会		○	30	○	30
那覇地区老人クラブ連合会	社会福祉協議会	○	30	○	30
かりゆしシニアクラブ(沖縄市老人クラブ連合会)		○	30	○	30
北谷町老人クラブ連合会		○	30	○	30
北中城村老人クラブ連合会		○	30	○	30
中城村老人クラブ連合会		○	30	○	30
西原町老人クラブ連合会		○	30	○	30
浦添市老人クラブ連合会		○	30	○	30
県立図書館	奉仕班	○	30	○	30
中央図書館		○	30	○	30
首里図書館				○	30
石嶺図書館		○	30		
繁多川図書館				○	30
小禄南図書館		○	30	○	30
西原町立図書館		○	30	○	30
中央公民館		○	30	○	30
小禄南公民館		○	30	○	30
首里公民館		○	30	○	30
若狭公民館		○	30	○	30
石嶺公民館		○	30	○	30
繁多川公民館		○	30	○	30
ほしぞら公民館		○	30	○	30
			23	26	24

■モニター調査実施内容

【第2次募集】9月16日(金)～9月30日(金)

■バス運転席後部ポスター掲出:9月29日(木)～10月6日(木)

■掲出台数:3社、計30台(沖縄バス(株)10台、(株)琉球バス交通10台、那覇バス(株)10台)



※バス運転席後部画像はイメージです。

二次募集

バスをお得に
利用しよう!

バス利用者
モニター募集中

①バス停表記チェックモニター

路線案内2枚紙、案内の2枚紙の乗降箇所や乗車券を
乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗
降箇所として撮影していただく。アンケートに答えて
ICカードICカードを1枚送付していただきます。

【応募条件】
1. 路線案内2枚紙、案内の2枚紙の乗降箇所を乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗降箇所として撮影していただく。アンケートに答えてICカードICカードを1枚送付していただきます。
2. バス乗降箇所を乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗降箇所として撮影していただく。アンケートに答えてICカードICカードを1枚送付していただきます。
【募集人数】
20名

OKICA活用

②昼間時間バス半額モニター

平日(日曜・祝祭日を除く)の午前6時から午後6時までの
時間帯にバスを利用し、その際にバス停の乗降箇所を乗
降箇所として撮影していただく。アンケートに答えて
ICカードICカードを1枚送付していただきます。

【応募条件】
1. 路線案内2枚紙、案内の2枚紙の乗降箇所を乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗降箇所として撮影していただく。アンケートに答えてICカードICカードを1枚送付していただきます。
2. バス乗降箇所を乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗降箇所として撮影していただく。アンケートに答えてICカードICカードを1枚送付していただきます。
【募集人数】
20名

半額活用

③「バスモノリス」シルバー半額モニター

路線案内2枚紙、案内の2枚紙の乗降箇所や乗車券を
乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗
降箇所として撮影していただく。アンケートに答えて
ICカードICカードを1枚送付していただきます。

【応募条件】
1. 路線案内2枚紙、案内の2枚紙の乗降箇所を乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗降箇所として撮影していただく。アンケートに答えてICカードICカードを1枚送付していただきます。
2. バス乗降箇所を乗降バスで撮影し、その際にバス停の乗降箇所を乗降箇所として撮影していただく。アンケートに答えてICカードICカードを1枚送付していただきます。
【募集人数】
20名

半額活用

【調査期間】平成28年10月15日～11月14日【応募締切】平成28年9月30日(金)必着

お問い合わせ ☎098-862-8280(株式会社アカネクリエーション/担当:玉木三恵・伊藤)

沖縄総合事務局 運輸部

Q検索 busmonitor@akane-ad.co.jpへメール!

QRコード

■県立高等学校協力依頼:9校 ※電話、メール送付による継続協力依頼

●協力依頼校

	学校名	電話番号	FAX
1	沖縄県立北中城高等学校	098-935-3377	098-953-5071
2	沖縄県立コザ高等学校	098-937-3563	098-937-0677
3	沖縄県立普天間高等学校	098-892-3354	098-893-5888
4	沖縄県立浦添商業高等学校	098-877-5844	098-877-4305
5	沖縄県立陽明高等学校	098-879-3062	098-879-9520
6	沖縄県立首里高等学校	098-885-0028	098-884-3442
7	沖縄県立首里東高等学校	098-886-1578	098-886-5186
8	沖縄県立那覇国際高等学校	098-860-5931	098-860-3810
9	沖縄県立西原高等学校	098-945-5418	098-946-0339

■モニター調査実施内容

【第3次募集】9月30日(金)～10月11日(火)

■ウェブサイトへの掲示:3箇所

	URL	依頼日	掲載確認日
公募ガイド	http://www.koubo.co.jp/	9月28日	9月26日
ごーやドットネット	https://www.govah.net/	9月28日	9月26日
とくんちゅ	http://tokunchu.com/	9月28日	10月11日

【ごーやドットネット】

バス利用者モニター再募集！！
バス利用料金が半額に！！バス乗り放題乗車券も連星！モニター募集中！！

募集期間 2016年09月23日(金)
終了日時 2016年10月11日(火)

住所 沖縄県那覇市
URL <http://www.koubo.co.jp/>

お問い合わせ先
TEL: 098-862-8280
FAX: 098-862-8891
E-mail: busmonitor@akane-ad.co.jp

お問い合わせ先
TEL: 098-862-8280
FAX: 098-862-8891
E-mail: busmonitor@akane-ad.co.jp

【公募ガイド】

公募ガイド
バス利用者モニター再募集！！

募集期間 2016年10月15日(土)～11月14日(月)

バス利用料金が半額に！！バス乗り放題乗車券も連星！モニター募集中！！

お問い合わせ先
TEL: 098-862-8280
FAX: 098-862-8891
E-mail: busmonitor@akane-ad.co.jp

【とくんちゅ】

バス利用者モニター再募集！！

募集期間 2016年10月15日(土)～11月14日(月)

バス利用料金が半額に！！バス乗り放題乗車券も連星！モニター募集中！！

お問い合わせ先
TEL: 098-862-8280
FAX: 098-862-8891
E-mail: busmonitor@akane-ad.co.jp

■インターネット広告: ていーだブログトップページ掲出

■掲出期間: 9月29日(木)～10月6日(木)

ていーだブログ
バス利用者モニター再募集！！

募集期間 2016年10月15日(土)～11月14日(月)

バス利用料金が半額に！！バス乗り放題乗車券も連星！モニター募集中！！

お問い合わせ先
TEL: 098-862-8280
FAX: 098-862-8891
E-mail: busmonitor@akane-ad.co.jp

バス利用者モニター募集中

応募締切 10.11 (TUE)

調査期間 10.15 (SAT) ▶ 11.14 (MON)

■モニター調査実施内容

【第3次募集】9月30日(金)～10月11日(火)

■公共施設等へのチラシ・ポスター配布、掲出依頼

		2016/9/30締切		2016/10/11締切	
		9/29送付	部数	10/5再送付	部数
沖縄県	交通政策課			○	30
那覇市	都市計画課			○	30
浦添市	都市計画課			○	
豊見城市	都市計画課			○	
宜野湾市	秘書広報課			○	
西原町	広報課			○	
与那原町	広報課	○		○	
北谷町	広報課			○	
北中城村	企画振興課			○	
中城村	企画課	○		○	
沖縄市	都市計画課			○	
豊見城市老人クラブ連合会		○	30	○	30
糸満市老人クラブ連合会		○	30	○	30
与那原町老人クラブ連合会		○	30	○	30
南風原町老人クラブ連合会		○	30	○	30
那覇地区老人クラブ連合会	社会福祉協議会	○	30	○	30
かりゆしシニアクラブ(沖縄市老人クラブ連合会)		○	30	○	30
北谷町老人クラブ連合会		○	30	○	30
北中城村老人クラブ連合会		○	30	○	30
中城村老人クラブ連合会		○	30	○	30
西原町老人クラブ連合会		○	30	○	30
浦添市老人クラブ連合会		○	30	○	30
県立図書館	奉仕班	○	30	○	30
中央図書館		○	30	○	30
首里図書館				○	30
石垣図書館		○	30		
紫多川図書館				○	30
小禄南図書館		○	30	○	30
西原町立図書館		○	30	○	30
中央公民館		○	30	○	30
小禄南公民館		○	30	○	30
首里公民館		○	30	○	30
嘉数公民館		○	30	○	30
石垣公民館		○	30	○	30
紫多川公民館		○	30	○	30
ほしぞら公民館		○	30	○	30
			23	26	24

■沖縄タイムス、琉球新報への新聞広告の出稿

■掲出日:10月4日(火)モノクロ映画横半2段

バス利用者 モニター募集

内閣府が推進する「公共交通機関の利用促進の一環として、バスやモノレールを利用してもらった際に感想や、ご意見をいただくモニターを募集します。」

【調査期間】H28.10.15(火)～11.14(火)※応募締切 H28.10.11(火)

お問い合わせ ☎098-862-8280 (構成会社アカネクリエーション)

- ・県内主要バス、主要路線沿線のバス乗降駅やチェックポイントモニター
- ・乗車や降車の際に、乗車・降車時、乗降駅やチェックポイントの乗降状況をモニター
- ・乗降駅(バス内乗降駅)の乗降の1日乗降の乗降率を7日間平均値とするモニター(65歳以上対象)
- ・マイカー通学や通学バス利用で通学時間の短縮が確認できるモニター

バス利用者 モニター募集

内閣府が推進する「公共交通機関の利用促進の一環として、バスやモノレールを利用してもらった際に感想や、ご意見をいただくモニターを募集します。」

【調査期間】H28.10.15(火)～11.14(火)※応募締切 H28.10.11(火)

お問い合わせ ☎098-862-8280 (構成会社アカネクリエーション)

- ・県内主要バス、主要路線沿線のバス乗降駅やチェックポイントモニター
- ・乗車や降車の際に、乗車・降車時、乗降駅やチェックポイントの乗降状況をモニター
- ・乗降駅(バス内乗降駅)の乗降の1日乗降の乗降率を7日間平均値とするモニター(65歳以上対象)
- ・マイカー通学や通学バス利用で通学時間の短縮が確認できるモニター

バス利用者 モニター募集

内閣府が推進する「公共交通機関の利用促進の一環として、バスやモノレールを利用してもらった際に感想や、ご意見をいただくモニターを募集します。」

【調査期間】H28.10.15(火)～11.14(火)※応募締切 H28.10.11(火)

お問い合わせ ☎098-862-8280 (構成会社アカネクリエーション)

- ・県内主要バス、主要路線沿線のバス乗降駅やチェックポイントモニター
- ・乗車や降車の際に、乗車・降車時、乗降駅やチェックポイントの乗降状況をモニター
- ・乗降駅(バス内乗降駅)の乗降の1日乗降の乗降率を7日間平均値とするモニター(65歳以上対象)
- ・マイカー通学や通学バス利用で通学時間の短縮が確認できるモニター

■県立高等学校協力依頼校

学校名	電話番号	FAX
那覇高等学校	098-867-1623	F 098-866-7753
那覇西高等学校	098-858-8274	F 098-858-2938
小禄高等学校	098-857-0481	F 098-857-5456
那覇工業高等学校	098-877-6144	F 098-875-4883
那覇商業高等学校	098-866-6555	F 098-868-3657
中部商業高等学校	098-898-4888	F 098-898-4808

■モニター調査実施内容

【第4次募集】10月28日(金)～11月14日(金)

■公共施設等へ のチラシ・ポスター配布、掲出依頼、チラシデータ送付

<対象: 昼間時間帯バス半額モニター・「バスモノパス」シルバー半額モニター>

		ご連絡日	11月上旬 11月1日送付	配布枚数
沖縄県	沖縄県	11月10日		
自治体	那覇市	11月10日		
	浦添市	11月10日		
	豊見城市	11月10日		
	宜野湾市	11月10日		
	西原町	11月10日		
	与那原町	11月10日		
	北谷町	11月10日		
	北中城村	11月10日		
	中城村	11月10日		
	沖縄市	11月10日		
老人クラブ 連合会	豊見城市老人クラブ連合会	10月28日	○	20
	南風原町老人クラブ連合会	10月28日	○	20
	那覇地区老人クラブ連合会	10月28日	○	20
図書館	県立図書館	10月28日	○	20
	ほしぞろ図書館	10月31日	○	15
	若狭図書館	10月28日	○	15
	中央図書館	10月28日	○	15
	首里図書館	10月31日	○	15
	繁多川図書館	10月31日	○	15
	小禄南図書館	10月28日	○	15
	中央公民館	10月28日	○	15
公民館	小禄南公民館	10月28日	○	15
	首里公民館	10月28日	○	15
	若狭公民館	10月28日	○	15
	石嶺公民館	10月28日	○	15
	繁多川公民館	10月28日	○	15
	ほしぞろ公民館	10月28日	○	15
病院	豊見城中央病院	10月28日	○	20
	大道中央病院	10月28日	○	20
	沖縄赤十字病院	10月28日		20
	那覇市立病院	10月28日	○	20
	浦添総合病院	10月28日	○	20
	医療法人八重瀬会 同仁病院	10月28日	○	20
	琉球大学病院	10月28日	○	20
大学	千原キャンパス	10月28日	○	20
	琉球大学	10月28日	○	20
	沖縄キリスト教学院大学	10月28日	○	20
	沖縄大学	10月28日	○	20
	県立芸術大学	10月28日	○	20
	沖縄女子短期大学	10月28日	○	20
	沖縄県立看護大学	10月28日	○	20
商業施設	イオン具志川	10月26日	○	100
カルチャーセンター ・スクール	ウエル・カルチャースクール 真地本校	10月28日	○	20
	沖縄タイムスサービスセンター タイムスカルチャースクール	10月28日	○	20
スポーツジム	ジスタス/那覇 (対象: 職員)	11月1日	○	15
	ジスタス/浦添	10月28日	○	20
	カーブス/伊祖	10月28日	○	20
公共施設	那覇市民体育館	10月28日	○	20
	浦添市民体育館	10月28日	○	20
	豊見城市民体育館	10月28日	○	20
	沖縄県立武道館	10月28日	○	20
合計			56	865

バス停表記モニター調査票

次の A 群と B 群の施設のうち、A 群から 2 カ所以上、B 群から 3 カ所以上を選んでください。

A 群	1. 首里城公園周辺 2. 牧志公設市場、てんぷす那覇、HAPINAH、桜坂劇場周辺 3. パレットくもじ（りうぼう）周辺 4. サンエーメインブレイス、県立博物館・美術館周辺 5. 奥武山公園、沖縄セルラースタジアム、漫湖公園周辺 6. 那覇空港 7. 波上宮、波の上ビーチ周辺
B 群	1. 沖縄こどもの国、コザミュージックタウン、サンエー中の町 2. コザ運動公園 3. イオンモール沖縄ライカム、プラザハウスショッピングセンター 4. ヒルトン沖縄北谷リゾート、美浜アメリカンビレッジ、イオン北谷店、サンセットビーチ、北谷公園周辺 5. コンベンションセンター、サンエーコンベンションシティ、宜野湾海浜公園、トロピカルビーチ周辺 6. メイクマン浦添本店、浦添ショッピングセンター、サンエーマチナトシティ、進川外人住宅街、ハッピータウン周辺 7. 浦添運動公園・浦添市美術館・てだこホール周辺 8. 西原きらきらビーチ、マリントウンあがりほま 9. アウトレットモールあしびなー、TOMITON、ヤマダ電機、ニトリ周辺 10. イオン南風原店周辺 11. 西崎運動公園、美ヶビーチ

A 群の中から、2 カ所以上をお選びください。

B 群の中から、3 カ所以上をお選びください。

注：A 群と B 群の訪問順序に決まりはありません。2 日以上にわたってもかまいません。

1

3

ここからの質問は、訪問したときに利用したバス停を見ていただいてからお答えください。

Q6 あなたが最初にいった場所はどこですか。

目的地 _____

Q7 あなたが乗車したバス停は何というバス停ですか。

乗車したバス停名 _____

Q8 あなたが降車したバス停は何というバス停ですか。

降車したバス停名 _____

乗車時間帯 _____月 _____日 午前・午後 _____時頃

所要時間（分） _____分

Q9 乗車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね 2~3 分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	わからなかった
1)あなたが乗るべき系統（路線名や路線番号）	1	2	3
2)あなたが降車すべきバス停	1	2	3
3)バスが来るダイヤ（時刻）	1	2	3
4)目的地までの運賃	1	2	3
5)バス停付近の地図	1	2	3
6)付近の目印になる主要施設 の方向や所要時間・距離	1	2	3

Q1 あなたは日頃どの程度路線バスを利用しますか。（○とつだけに○）

- ほぼ毎日
- 週に 2~3 回
- 週に 1 回
- 月に 1~2 回
- 年に数回
- ほとんど利用しない

Q2 今回のモニター調査では「バスナビ」のサービスを利用しましたか。（いくつでも○）

- 乗り換え検索に利用した
- 時刻表検索に利用した
- バスの現在位置確認に利用した
- どれも利用しなかった

Q3 あなたはバスで出かける場合、目的地までの乗車経路をどのようにして調べましたか。（いくつでも○）

1. 目的地の案内チラシやウェブサイトやガイドブックに記載されているアクセス方法
2. 道路地図
3. バス専用マップ(ウェブサイトや地図)
4. 「バスナビ沖縄」や行き方検索サイト・アプリ
5. バス待ちをしている人に聞いた
6. 友人・知人や家族に聞いた
7. バスの乗務員(運転手)に聞いた
8. 目的地に電話で問い合わせた
9. バス会社に電話で問い合わせた
10. バス停の路線図(地図)
11. バス停の系統図
12. バス停の系統の色
13. 乗車後のバス車内の表示や音声
14. 乗車後のバス車内の系統図
15. その他(具体的に _____)

Q4 バスが来る時刻についてはどのように調べましたか。（いくつでも○）

1. 「バスナビ沖縄」や行き方検索サイト・アプリ
2. バス停の時刻表
3. その他（具体的に _____）

Q5 運賃はどのようにして調べましたか。（いくつでも○）

1. 目的地の案内チラシやウェブサイトやガイドブックに記載されているアクセス方法
2. バス専用マップ(ウェブサイトや地図)
3. 「バスナビ沖縄」や行き方検索サイト・アプリ
4. 人に聞いた
5. 目的地に電話で問い合わせた
6. バス会社に電話で問い合わせた
7. バス停の表記
8. 乗車後のバス車内の表示
9. その他(具体的に _____)

2

Q10 あなたが利用したバス停の表記の見やすさに関してどのようににお感じになりましたか。（あてはまるものに○）

	見やすい	やや見にくい	見にくかった
1)バス停の名前	1	2	3
2)前後のバス停	1	2	3
3)路線が表記されている地図	1	2	3
4)系統ごとの主要バス停が表 示された路線図	1	2	3
5)停車するバスの系統番号・ 路線名	1	2	3
6)系統番号別の時刻表	1	2	3
7)全体として	1	2	3

気づいた点を具体的にお知らせください

--

Q11 バス停に表示されていた情報のうち、消えていたり、見えにくくなっていたりしたのはありましたか。（いくつでも○）

1. バス停の名前
2. バスの系統番号
3. 系統番号別の時刻表
4. 系統番号ごとの路線図
5. 乗り換えに関する情報
6. 運賃
7. バスの接近情報
8. バス停付近の地図
9. バス停付近のランドマーク施設の方向と距離表示
10. その他（ _____ ）
11. 消えていたものはなかった

Q12 乗車したバス停の表記に関して、その他気づきのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、お知らせください。

--

Q13 降車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね 2~3 分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	分からなかった
1)目的地までの経路	1	2	3
2)目的地までの所要時間	1	2	3

4

■モニター調査票/バス停表記チェックモニター

Q14 あなたが2番目にいった場所・目的地はどちらですか。

目的地 _____

Q15 あなたが乗車したバス停は何というバス停ですか。

乗車したバス停名 _____

Q16 あなたが降車したバス停は何というバス停ですか。

降車したバス停名 _____

乗車時間帯
_____月 _____日 午前・午後 _____時頃

所要時間（分） _____分

Q17 乗車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2-3分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	わからなかった
1)あなたが乗るべき系統（路線名や路線番号）	1	2	3
2)あなたが降車すべきバス停	1	2	3
3)バスが来るダイヤ（時刻）	1	2	3
4)目的地までの運賃	1	2	3
5)バス停付近の地図	1	2	3
6)付近の目印になる主要施設 の方向や所要時間・距離	1	2	3

5

Q22 あなたが3番目にいった場所はどこですか。

目的地 _____

Q23 あなたが乗車したバス停は何というバス停ですか。

乗車したバス停名 _____

Q24 あなたが降車したバス停は何というバス停ですか。

降車したバス停名 _____

乗車時間帯
_____月 _____日 午前・午後 _____時頃

所要時間（分） _____分

Q25 乗車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2-3分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	わからなかった
1)あなたが乗るべき系統（路線名や路線番号）	1	2	3
2)あなたが降車すべきバス停	1	2	3
3)バスが来るダイヤ（時刻）	1	2	3
4)目的地までの運賃	1	2	3
5)バス停付近の地図	1	2	3
6)付近の目印になる主要施設 の方向や所要時間・距離	1	2	3

7

Q18 あなたが利用したバス停の表記の見やすさに関してはどのように感じになりましたか。（あてはまるものに○）

	見やすい	やや見にくい	見にくかった
1)バス停の名前	1	2	3
2)前後のバス停	1	2	3
3)路線が表記されている地図	1	2	3
4)系統ごとの主要バス停が表示された路線図	1	2	3
5)停車するバスの系統番号・路線名	1	2	3
6)系統番号別の時刻表	1	2	3
7)全体として	1	2	3

気づいた点を具体的にお知らせください

Q19 バス停に表示されていた情報のうち、消えかけていたり、見えにくくなっていたりしたのはありましたか。（いくつでも○）

1. バス停の名前

2. バスの系統番号

3. 系統番号別の時刻表

4. 系統番号ごとの路線図

5. 乗り換えに関する情報

6. 運賃
7. バスの接近情報

8. バス停付近の地図

9. バス停付近のランドマーク施設の方向と距離表示

10. その他（ ）

11. 消えかけていたものはなかった

Q20 乗車したバス停の表記に関して、その他お気づきのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、お知らせください。

Q21 降車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2-3分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	分らなかった
1)目的地までの経路	1	2	3
2)目的地までの所要時間	1	2	3

6

Q26 あなたが利用したバス停の表記の見やすさに関してはどのように感じになりましたか。（あてはまるものに○）

	見やすい	やや見にくい	見にくかった
1)バス停の名前	1	2	3
2)前後のバス停	1	2	3
3)路線が表記されている地図	1	2	3
4)系統ごとの主要バス停が表示された路線図	1	2	3
5)停車するバスの系統番号・路線名	1	2	3
6)系統番号別の時刻表	1	2	3
7)全体として	1	2	3

気づいた点を具体的にお知らせください

Q27 バス停に表示されていた情報のうち、消えかけていたり、見えにくくなっていたりしたのはありましたか。（いくつでも○）

1. バス停の名前

2. バスの系統番号

3. 系統番号別の時刻表

4. 系統番号ごとの路線図

5. 乗り換えに関する情報

6. 運賃
7. バスの接近情報

8. バス停付近の地図

9. バス停付近のランドマーク施設の方向と距離表示

10. その他（ ）

11. 消えかけていたものはなかった

Q28 乗車したバス停の表記に関して、その他お気づきのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、お知らせください。

Q29 降車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2-3分以内）見つけることができましたか。

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	分らなかった
1)目的地までの経路	1	2	3
2)目的地までの所要時間	1	2	3

8

■モニター調査票/バス停表記チェックモニター

Q30 あなたが4番目にいった場所はどちらですか。

目的地 _____

Q31 あなたが乗車したバス停は何というバス停ですか。

乗車したバス停名 _____

Q32 あなたが降車したバス停は何というバス停ですか。

降車したバス停名 _____

乗車時間帯
_____月 _____日 午前・午後 _____時頃

所要時間（分） _____分

Q33 乗車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2~3分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	わからなかった
1)あなたが乗るべき系統（路線名や路線番号）	1	2	3
2)あなたが降車すべきバス停	1	2	3
3)バスが来るダイヤ（時刻）	1	2	3
4)目的地までの運賃	1	2	3
5)バス停付近の地図	1	2	3
6)付近の目印になる主要施設 の方向や所要時間・距離	1	2	3

9

Q38 あなたが5番目にいった場所はどちらですか。

目的地 _____

Q39 あなたが乗車したバス停は何というバス停ですか。

乗車したバス停名 _____

Q40 あなたが降車したバス停は何というバス停ですか。

降車したバス停名 _____

乗車時間帯
_____月 _____日 午前・午後 _____時頃

所要時間（分） _____分

Q41 乗車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2~3分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	わからなかった
1)あなたが乗るべき系統（路線名や路線番号）	1	2	3
2)あなたが降車すべきバス停	1	2	3
3)バスが来るダイヤ（時刻）	1	2	3
4)目的地までの運賃	1	2	3
5)バス停付近の地図	1	2	3
6)付近の目印になる主要施設 の方向や所要時間・距離	1	2	3

11

Q34 あなたが利用したバス停の表記の見やすさに関してはどのようにお感じになりましたか。（あてはまるものに○）

	見やすい	やや見にくい	見にくかった
1)バス停の名前	1	2	3
2)前後のバス停	1	2	3
3)路線が表記されている地図	1	2	3
4)系統ごとの主要バス停が 示された路線図	1	2	3
5)停車するバスの系統番号・ 路線名	1	2	3
6)系統番号別の時刻表	1	2	3
7)全体として	1	2	3

気づいた点を具体的にお知らせください

Q35 バス停に表示されていた情報のうち、消えていたり、見えにくくなっていたりしたのはありましたか。（いくつでも○）

1. バス停の名前

2. バスの系統番号

3. 系統番号別の時刻表

4. 系統番号ごとの路線図

5. 乗り換えに関する情報

6. 運賃
7. バスの接近情報

8. バス停付近の地図

9. バス停付近のランドマーク施設の方向
と距離表示

10. その他（ ）

11. 消えていたものはなかった

Q36 乗車したバス停の表記に関して、その他気づきのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、お知らせください。

Q37 降車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2~3分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	分からなかった
1)目的地までの経路	1	2	3
2)目的地までの所要時間	1	2	3

10

Q42 あなたが利用したバス停の表記の見やすさに関してはどのようにお感じになりましたか。（あてはまるものに○）

	見やすい	やや見にくい	見にくかった
1)バス停の名前	1	2	3
2)前後のバス停	1	2	3
3)路線が表記されている地図	1	2	3
4)系統ごとの主要バス停が 示された路線図	1	2	3
5)停車するバスの系統番号・ 路線名	1	2	3
6)系統番号別の時刻表	1	2	3
7)全体として	1	2	3

気づいた点を具体的にお知らせください

Q43 バス停に表示されていた情報のうち、消えていたり、見えにくくなっていたりしたのはありましたか。（いくつでも○）

1. バス停の名前

2. バスの系統番号

3. 系統番号別の時刻表

4. 系統番号ごとの路線図

5. 乗り換えに関する情報

6. 運賃
7. バスの接近情報

8. バス停付近の地図

9. バス停付近のランドマーク施設の方向
と距離表示

10. その他（ ）

11. 消えていたものはなかった

Q44 乗車したバス停の表記に関して、その他気づきのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、お知らせください。

Q45 降車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに（概ね2~3分以内）見つけることができましたか。（あてはまるものに○）

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	分からなかった
1)目的地までの経路	1	2	3
2)目的地までの所要時間	1	2	3

12

■モニター調査票/バス停表記チェックモニター

Q46 あなたが6番目にいった場所はどこですか。(該当がない場合には、17ページまでお進みください)

目的地 _____

Q47 あなたが乗車したバス停は何というバス停ですか。

乗車したバス停名 _____

Q48 あなたが降車したバス停は何というバス停ですか。

降車したバス停名 _____

乗車時間帯
_____月 _____日 午前・午後 _____時頃

所要時間(分) _____分

Q49 乗車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに(概ね2-3分以内)見つけることができましたか。(あてはまるものに○)

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	わからなかった
1)あなたが乗るべき系統(路線名や路線番号)	1	2	3
2)あなたが降車すべきバス停	1	2	3
3)バスが来るダイヤ(時刻)	1	2	3
4)目的地までの運賃	1	2	3
5)バス停付近の地図	1	2	3
6)付近の目印になる主要施設 の方向や所要時間・距離	1	2	3

Q54 あなたが7番目にいった場所はどこですか。(該当がない場合には、17ページまでお進みください)

目的地 _____

Q55 あなたが乗車したバス停は何というバス停ですか。

乗車したバス停名 _____

Q56 あなたが降車したバス停は何というバス停ですか。

降車したバス停名 _____

乗車時間帯
_____月 _____日 午前・午後 _____時頃

所要時間(分) _____分

Q57 乗車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに(概ね2-3分以内)見つけることができましたか。(あてはまるものに○)

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	わからなかった
1)あなたが乗るべき系統(路線名や路線番号)	1	2	3
2)あなたが降車すべきバス停	1	2	3
3)バスが来るダイヤ(時刻)	1	2	3
4)目的地までの運賃	1	2	3
5)バス停付近の地図	1	2	3
6)付近の目印になる主要施設 の方向や所要時間・距離	1	2	3

Q50 あなたが利用したバス停の表記の見やすさに関してはどのようにお感じになりましたか。(あてはまるものに○)

	見やすい	やや見にくい	見にくかった
1)バス停の名前	1	2	3
2)前後のバス停	1	2	3
3)路線が表記されている地図	1	2	3
4)系統ごとの主要バス停が表 示された路線図	1	2	3
5)停車するバスの系統番号・ 路線名	1	2	3
6)系統番号別の時刻表	1	2	3
7)全体として	1	2	3

気づいた点を具体的にお知らせください

Q51 バス停に表示されていた情報のうち、消えかけていたり、見えにくくなっていたりしたのはありましたか。(いくつでも○)

1. バス停の名前

2. バスの系統番号

3. 系統番号別の時刻表

4. 系統番号ごとの路線図

5. 乗り換えに関する情報

6. 運賃
7. バスの接近情報

8. バス停付近の地図

9. バス停付近のランドマーク施設の方向
と距離表示

10. その他()

11. 消えかけていたものはなかった

Q52 乗車したバス停の表記に関して、その他お気づきのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、お知らせください。

Q53 降車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに(概ね2-3分以内)に見つけることができましたか。(あてはまるものに○)

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	分からなかった
1)目的地までの経路	1	2	3
2)目的地までの所要時間	1	2	3

Q58 あなたが利用したバス停の表記の見やすさに関してはどのようにお感じになりましたか。(あてはまるものに○)

	見やすい	やや見にくい	見にくかった
1)バス停の名前	1	2	3
2)前後のバス停	1	2	3
3)路線が表記されている地図	1	2	3
4)系統ごとの主要バス停が表 示された路線図	1	2	3
5)停車するバスの系統番号・ 路線名	1	2	3
6)系統番号別の時刻表	1	2	3
7)全体として	1	2	3

気づいた点を具体的にお知らせください

Q59 バス停に表示されていた情報のうち、消えかけていたり、見えにくくなっていたりしたのはありましたか。(いくつでも○)

1. バス停の名前

2. バスの系統番号

3. 系統番号別の時刻表

4. 系統番号ごとの路線図

5. 乗り換えに関する情報

6. 運賃
7. バスの接近情報

8. バス停付近の地図

9. バス停付近のランドマーク施設の方向
と距離表示

10. その他()

11. 消えかけていたものはなかった

Q60 乗車したバス停の表記に関して、その他お気づきのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、お知らせください。

Q61 降車したバス停の表記についてお伺いします。バス停の表記では次の情報はすみやかに(概ね2-3分以内)に見つけることができましたか。(あてはまるものに○)

	すぐ分かった	やや時間を要したが わかった	分からなかった
1)目的地までの経路	1	2	3
2)目的地までの所要時間	1	2	3

■モニター調査票/バス停表記チェックモニター

Q64 現在のバス停表記に関してあなたはどのようにお感じになりましたか。(あてはまるものに○)

	満足 している	やや 満足している	あまり 満足して いない	満足して いない
1) 乗車すべき系統 (路線や系統番号)	1	2	3	4
2)降車すべき最寄りバス停	1	2	3	4
3)目的地までの所要時間の目安	1	2	3	4
4)目的地までの所要運賃の目安	1	2	3	4
5)バス停付近の地図	1	2	3	4
6)バス停付近の目印となる主要施設 の方向	1	2	3	4
7)バス停付近の目印となる主要施設ま での所要時間・距離	1	2	3	4
8)乗車すべきバスの到着予定時間	1	2	3	4
9)主な路線図	1	2	3	4
10)通過バスの行き先	1	2	3	4

Q65 今回、商業施設・観光施設に行く際にバスを利用してクルマで移動する場合と比べてどのように感じましたか。
(あてはまるものに○)

	車の 方が 優れている	やや 車の方が 優れている	どち らとも いえない	やや バスの方が 優れている	バスの 方が 優れている
1)目的地までの移動のしやすさ	1	2	3	4	5
2)目的地までの所要時間	1	2	3	4	5
3)施設間の移動のしやすさ	1	2	3	4	5
4)移動にかかる費用	1	2	3	4	5

Q66 実際にバスを利用して利用前と比べてどのように感じましたか(それぞれひとつに○)

	1	2	3
1)目的地までの所要時間	予想よりも短い	予想通り	予想よりも長い
2)車内の快適さ	予想よりも快適	予想通り	予想よりも快適ではない
3)定時性	予想よりも正確	予想通り	予想よりも不正確
4)乗務員の対応	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
5)移動のしやすさ	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
6)路線の分かりやすさ	予想よりも分かりやすい	予想通り	予想よりも分かりにくい
7)運賃の妥当性	割安	妥当	割高

18

Q67 今後も商業施設、観光施設に行く際にバスを利用したいと思いますか。(ひとつだけに○)

1. 利用したいと思う
2. まあ利用したい
3. どちらともいえない
4. あまり利用したくない
5. 利用したくない

ご協力いただき、どうもありがとうございました。
OKICA の乗車記録をゆいレールの駅などで出力して、このアンケート調査票と合わせて、
11 月 3 日に持参してください。

19

ここからは今まで利用したバス停全体についてお答えください。

Q68 バス停の表記に対して、あったほうが良いと思うものはどれですか。(いくつでも○)

1. 自分が乗車するバスの接近情報が表示されること
2. 自分が乗車するバス接近の音声案内があること
3. 主要施設の最寄りバス停
4. 乗換バス停
5. 事故・渋滞情報
6. その他 ()

Q69 バス停で待っている際にあなたが重視する情報はどのようなものですか

	重視する	やや 重視する	あまり 重視しない	重視しない
1) 乗車すべき系統 (路線や系統番号)	1	2	3	4
2)降車すべき最寄りバス停	1	2	3	4
3)目的地までの所要時間の目安	1	2	3	4
4)目的地までの所要運賃の目安	1	2	3	4
5)バス停付近の地図	1	2	3	4
6)バス停付近の目印となる主要施設の 方向	1	2	3	4
7)バス停付近の目印となる主要施設ま での所要時間・距離	1	2	3	4
8)乗車すべきバスの到着予定時間	1	2	3	4
9)主な路線図	1	2	3	4
10)通過バスの行き先	1	2	3	4

17

昼間時間定期券モニター調査票

最初に日頃の「平日の昼間のお出かけ」の際の移動手段について伺います。(この質問は「定期券」を使い始める前にお答えください。)

- Q1 あなたは日頃どの程度平日の昼間時間(概ね午前10時～午後4時頃)に「外出」しますか。次の中から最も近いものに○印をつけてください。(ひとつだけ○)
1. 週5日以上
 2. 週3～4日
 3. 週1～2日
 4. 月に1～2日
 5. 月に1日未満

- Q2 あなたは「外出」する場合、どのような交通手段を利用することが多いですか(ひとつだけ○)
1. 自分でクルマを運転
 2. 家族が運転するクルマに同乗
 3. 友人・知人の運転するクルマに同乗
 4. タクシーを利用
 5. バスやモノレールを利用
 6. 自転車やオートバイを利用
 7. 徒歩
 8. その他(具体的に:)

- SO2-1 (Q2で1,2を回答した方)バスやモノレールなどの公共交通機関を使わないのはどのような理由からです。(いくつでも○)
1. 家族が車を運転から
 2. 家族の移動のついでに送ってもらえるから
 3. バスよりも所要時間がかからない
 4. 乗り換えや待ち時間がないので
 5. バス停まで歩くなくてすむから
 6. 昼間の時間帯のバスの運行本数が少ない
 7. 悪天候の際には遅れずにすむから
 8. 出かける際の荷物が多いから
 9. 事故やトラブルの心配がないから
 10. バスの運賃が高いから
 11. その他(具体的に:)

- Q3 あなたはどの程度バスやモノレールを利用しますか(ひとつだけ○)
1. 週5日以上
 2. 週3～4日
 3. 週1～2日
 4. 月に1～2日
 5. 月に1日未満

1

- Q4 バスを利用するときはどのようなかたちで運賃を支払っていましたか。(ひとつだけ○)
1. 現金
 2. OKICA
- Q5 通常の OKICA カードを利用していますか。(ひとつだけ○)
1. OKICA カードは持っていない
 2. 持っているが、あまり利用していない
 3. 外出するときに利用している

- Q6 今まで「バスなび」を利用したことがありますか。(ひとつだけ○)
1. 利用したことがある
 2. 利用したことはないがサービス内容は知っている
 3. 名前は聞いたことがある
 4. 知らない

ここからの質問は、定期券を利用してからお答えください。

Q7.定期券の利用について伺います

Q7-1 乗車区間はどちらですか

乗車停留所		降車停留所	
-------	--	-------	--

Q7-2 何日くらい利用されましたか。 _____日

Q7-3 定期券を利用して行かれた主な立寄先をお知らせください。

	①	②	③	④	⑤
場所					
市町村名					

Q7-4 お昼間のお出かけの目的をお知らせください。(いくつでも○)

1. 買い物
2. 食事
3. 通院・リハビリ
4. サークル活動・習い事
5. レジャー・スポーツ
6. 散歩・散策
7. 趣味・読者
8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会う
9. 役所や金融機関などの手続き
10. 仕事・アルバイト
11. 送迎
12. 散髪・美容院
13. その他(具体的に:)

Q7-5 お出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(いくつでも○)

1. 自分だけが多い
2. 友人・知人が多い
3. 家族・親戚が多い
4. その他

2

Q8 モニター期間中「お出かけ」の際にバスをご利用されなかったことはありましたか。

_____日は利用しなかった。

Q8-1 バスを利用されなかったのはどのような理由ですか。(いくつでも○)

1. 利用区間が異なったから
2. 家族の外出のついでで送ってもらったから
3. 悪天候のため
4. バスだと時間に間に合わないため
5. 家を出るのが遅れてバスに間に合わなかったため
6. 荷物が重いから
7. その他(具体的に:)

Q9 お出かけの際に「バスなび」のサービスを利用しましたか。(いくつでも○)

1. 乗り換え検索に利用した
2. 時刻表検索に利用した
3. バスの現在位置確認に利用した
4. 利用しなかった

Q10 昼間時間帯にバスをโดยสารされて、あなたはどのようにお感じになりましたか。(いくつでも○)

1. 時刻表どおりにバスが運行されている
2. 降車停留所までの所要時間が概ね一定
3. 車内が空いている
4. 利用できるバスの本数が少ない
5. その他()

Q11 あなたは「時間限定の割引定期券」は便利だと感じられましたか。(ひとつだけ○)

1. とても便利
2. まあ便利
3. あまり便利だと思わない
4. 便利だと思わない

Q12 「時間限定の割引定期券」を利用して、便利だと感じたのはどんなことですか。(いくつでも○)

1. 定額で一日何度でも乗り降りできる
2. 途中下車が可能
3. 乗車の際に、小銭を用意しなくて良い
4. 定額なので、利用するほどお得な感じがする
5. 通常より安く利用できる
6. 休日でも利用できる
7. 移動時間を有効に活用できる
8. バス停まで歩くので健康に良い
9. 買い物や習い事などの用務先にも立ち寄れる
10. バスの時間に合わせて規則正しい生活が送れる
11. 家族の負担にならない
12. 思ったほど移動に時間がかからない
13. 事故やトラブルが少ない
14. 思ったほど遅れない
15. その他()
16. 特にない

3

Q13 どんな点が利用しにくかったですか。(いくつでも○)

1. クルマよりも所要時間がかかる
2. 乗換えや待ち時間が長い
3. バス停まで歩くなくてはならない
4. バスだと間に合わないことがある
5. 昼間時間帯のバスの運行本数が少ない
6. 悪天候の際には遅れる
7. 荷物が多いと不便
8. 事故やトラブルの心配が多い
9. バスの運賃が高い
10. 利用区間が限定されている
11. その他

Q14 現金や OKICA による支払いと比較して、定期券に関してはどのように感じましたか。

1. 利用しやすい
2. まあ利用しやすい
3. やや利用しにくい
4. 利用しにくい

Q15 定期券を利用してみて、どのような点が便利でしたか。

1. 通常より割引率が高い
2. 残高不足を気にしなくてもすむ
3. 途中下車しても出費がない
4. 不足分を足せば区間外でも利用できる

Q16 「時間限定の割引定期券」を利用する上で、充実・改善してほしいのはどんなことですか。(いくつでも○)

1. もう少し安い運賃で利用できること
2. 同一路線であれば他社バスでも乗れること
3. モノレールとバスの乗り継ぎができる
4. バスの乗継ぎができる
5. 乗降できるエリアが広がる
6. バスの運行がもう少し等間隔で運行される
7. 利用時間帯のバスの運行回数が増える
8. 利用時間帯のバスが時間表通りに運行している
9. 車内ですわれること
10. バスモノバスがバスの車内でも購入できる
11. バスモノバスがコンビニなどでも購入できる
12. 定期券で小学生以下の子供は1人まで無料で一緒に乗れること
13. その他()

4

Q17 定期券は通常運賃の3割で販売されています。あなたはこの金額についてどのように感じられますか(ひとつだけに○)

- 1. 割安
- 2. やや割安
- 3. 妥当
- 4. やや割高
- 5. 割高

Q18 今回、昼間時間帯限定で利用いただくにあたって、通常定期運賃の半額で利用いただきました。あなたはこの金額についてどのように感じられますか(ひとつだけに○)

- 1. 割安
- 2. やや割安
- 3. 妥当
- 4. やや割高
- 5. 割高

Q19 今回のモニター調査への参加によって、あなたが平日の昼間に外出する機会・回数に変化がありましたか。(ひとつだけに○)

- 1. かなり増えた
- 2. 多少は増えた
- 3. 変わらない
- 4. やや減った
- 5. かなり減った

Q20 「時間限定の割引定期券」を利用することでよかったと感じることはありますか。(いくつでも○)

- 1. クルマを運転するストレスがなくなった
- 2. 駐車場を探す手間がなくなった
- 3. クルマより歩くので健康によい
- 4. 家族の都合に合わせてなくても外出できる
- 5. 移動時間を有効に使える
- 6. 家族に負担をかけず外出できる
- 7. いろんな場所に立ち寄ることができる
- 8. 通常より安い運賃で利用できる
- 9. その他

()

最後にあなたご自身のことについて、少々お伺いします。

F1 あなたの性別は。

- 1. 男性
- 2. 女性

F2 あなたの年齢は。

- 1. 20~29 歳
- 2. 30~39 歳
- 3. 40~49 歳
- 4. 50~59 歳
- 5. 60~69 歳
- 6. 70 歳以上

F3 あなたは自動車免許をお持ちですか。

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

F4 自動車を運転する同居の家族の方がいらっしゃいますか。

- 1. いる
- 2. いない

アンケートは以上です。ご協力どうもありがとうございました。

アンケートを記入し終わりましたら、

11月3日に当会場にお持ちください。謝金をお渡しします。

Q21 実際にバスを利用して利用前と比べてどのように感じましたか(それぞれひとつに○)

	1	2	3
1)目的地までの所要時間	予想よりも短い	予想通り	予想よりも長い
2)車内の快適さ	予想よりも快適	予想通り	予想よりも快適ではない
3)定時性	予想よりも正確	予想通り	予想よりも不正確
4)乗務員の対応	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
5)移動のしやすさ	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
6)路線の分かりやすさ	予想よりも分かりやすい	予想通り	予想よりも分かりにくい
7)運賃の妥当性	割安	妥当	割高

Q22 このアンケートでお渡した定期券のように「時間限定の割引定期券」があったら、今後利用したいと思いますか。(ひとつだけに○)

- 1. ぜひ利用したい
- 2. 割引条件次第で利用したい
- 3. バスやモノレールの利便性が高まれば利用したい
- 4. あまり利用したいとは思わない
- 5. 利用したいとは思わない

SQ22-1 それはどのような理由からですか。

Q23 では、こうした利用制限付きの定期券があったら、この時間帯の外出を増やそうと思いますか。

- 1. 増やしたい
- 2. どちらともいえない
- 3. 増やしたくない

バスモノパスモニター調査票

最初に日頃の「お出かけ」の際の移動手段についてお伺いします。(この質問はバスモノパスを使い始める前にお答えください。)

- Q1 あなたは日頃どの程度「外出」しますか。次の中から最も近いものに○印をつけてください。(ひとつだけ○)
- 1. 週 5 日以上
 - 2. 週 3~4 日
 - 3. 週 1~2 日
 - 4. 月に 1~2 日
 - 5. 月に 1 日未満

- Q2 あなたは「外出」する場合、どのような交通手段を利用することが多いですか。(ひとつだけ○)
- 1. 自分で車を運転
 - 2. 家族が運転する車に同乗
 - 3. 友人・知人の運転する車に同乗
 - 4. タクシーを利用
 - 5. バスやモノレールを利用
 - 6. 自転車やオートバイを利用
 - 7. 徒歩
 - 8. その他(具体的に:)

- Q3 あなたはどの程度バスやモノレールを利用しますか。(ひとつだけ○)
- 1. 週 5 日以上
 - 2. 週 3~4 日
 - 3. 週 1~2 日
 - 4. 月に 1~2 日
 - 5. 月に 1 日未満

- Q4 今回のモニターに参加する前に、「バスモノパス」についてご存知でしたか。(ひとつだけ○)
- 1. 利用したことがある
 - 2. 利用したことはないが内容を知っていた
 - 3. 名前を知っていた
 - 4. 知らなかった

ここからの質問はバスモノパスを使っている間にお答えください。

- Q5 1 枚目のバスモノパスの利用についてお答えください。
- Q5-1 乗車区間はどちらですか。利用した区間と主な立寄先をそれぞれお答えください。

	利用区間	主な立寄先
最初に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
2 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
3 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
4 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
5 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
6 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
7 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
8 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
使用を終了した停留所・駅		

- Q5-2 使用を開始したのは、何日の何時ごろですか。
- | | | |
|---|-------|-----|
| 日 | 午前 午後 | 時ごろ |
|---|-------|-----|

- Q5-3 使用を終了したのは、何日の何時ごろですか。
- | | | |
|---|-------|-----|
| 日 | 午前 午後 | 時ごろ |
|---|-------|-----|

- Q5-4 この日のお出かけの目的をお知らせください。(あてはまるものに○)。
- 1. 買い物
 - 2. 食事
 - 3. 通院・リハビリ
 - 4. サークル活動・習い事
 - 5. レジャー・スポーツ
 - 6. 散歩・散策
 - 7. 趣味・娯楽
 - 8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会う
 - 9. 役所や金融機関などの手続き
 - 10. 仕事・アルバイト
 - 11. 送迎
 - 12. 散髪や美容院
 - 13. その他(具体的に:)

- Q5-5 この日のお出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(あてはまるものに○)。
- 1. 自分だけ
 - 2. 友人・知人
 - 3. 家族・親戚
 - 4. その他

- Q6 2 枚目のバスモノパスの利用についてお答えください。
- Q6-1 乗車区間はどちらですか。利用した区間と主な立寄先をそれぞれお答えください。

	利用区間	主な立寄先
最初に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
2 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
3 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
4 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
5 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
6 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
7 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
8 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
使用を終了した停留所・駅		

- Q6-2 使用を開始したのは、何日の何時ごろですか。
- | | | |
|---|-------|-----|
| 日 | 午前 午後 | 時ごろ |
|---|-------|-----|

- Q6-3 使用を終了したのは、何日の何時ごろですか。
- | | | |
|---|-------|-----|
| 日 | 午前 午後 | 時ごろ |
|---|-------|-----|

- Q6-4 この日のお出かけの目的をお知らせください。(あてはまるものに○)。
- 1. 買い物
 - 2. 食事
 - 3. 通院・リハビリ
 - 4. サークル活動・習い事
 - 5. レジャー・スポーツ
 - 6. 散歩・散策
 - 7. 趣味・娯楽
 - 8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会う
 - 9. 役所や金融機関などの手続き
 - 10. 仕事・アルバイト
 - 11. 送迎
 - 12. 散髪や美容院
 - 13. その他(具体的に:)

- Q6-5 この日のお出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(あてはまるものに○)。
- 1. 自分だけ
 - 2. 友人・知人
 - 3. 家族・親戚
 - 4. その他

- Q7 3 枚目のバスモノパスの利用についてお答えください。
- Q7-1 乗車区間はどちらですか。利用した区間と主な立寄先をそれぞれお答えください。

	利用区間	主な立寄先
最初に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
2 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
3 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
4 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
5 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
6 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
7 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
8 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
使用を終了した停留所・駅		

- Q7-2 使用を開始したのは、何日の何時ごろですか。
- | | | |
|---|-------|-----|
| 日 | 午前 午後 | 時ごろ |
|---|-------|-----|

- Q7-3 使用を終了したのは、何日の何時ごろですか。
- | | | |
|---|-------|-----|
| 日 | 午前 午後 | 時ごろ |
|---|-------|-----|

- Q7-4 この日のお出かけの目的をお知らせください。(あてはまるものに○)。
- 1. 買い物
 - 2. 食事
 - 3. 通院・リハビリ
 - 4. サークル活動・習い事
 - 5. レジャー・スポーツ
 - 6. 散歩・散策
 - 7. 趣味・娯楽
 - 8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会う
 - 9. 役所や金融機関などの手続き
 - 10. 仕事・アルバイト
 - 11. 送迎
 - 12. 散髪や美容院
 - 13. その他(具体的に:)

- Q7-5 この日のお出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(あてはまるものに○)。
- 1. 自分だけ
 - 2. 友人・知人
 - 3. 家族・親戚
 - 4. その他

■モニター調査票/「バスモノパス」シルバー半額モニター

Q8 4 枚目のバスモノパスの利用についてお答えください。

Q8-1 乗車区間はどちらですか。利用した区間と主な立寄先をそれぞれお答えください。

	利用区間	主な立寄先
最初に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
2 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
3 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
4 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
5 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
6 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
7 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
8 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
使用を終了した停留所・駅		

Q8-2 使用を開始したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q8-3 使用を終了したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q8-4 この日のお出かけの目的をお知らせください。(あてはまるものに○)。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 買い物 | 2. 食事 |
| 3. 通院・リハビリ | 4. サークル活動・習い事 |
| 5. レジャー・スポーツ | 6. 散歩・散策 |
| 7. 趣味・娯楽 | 8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会 |
| 9. 役所や金融機関などの手続き | 10. 仕事・アルバイト |
| 11. 送迎 | 12. 散髪や美容院 |
| 13. その他(具体的に:) | |

Q8-5 この日のお出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(あてはまるものに○)。

- 自分だけ
- 友人・知人
- 家族・親戚
- その他

5

Q10 6 枚目のバスモノパスの利用についてお答えください。

Q10-1 乗車区間はどちらですか。利用した区間と主な立寄先をそれぞれお答えください。

	利用区間	主な立寄先
最初に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
2 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
3 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
4 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
5 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
6 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
7 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
8 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
使用を終了した停留所・駅		

Q10-2 使用を開始したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q10-3 使用を終了したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q10-4 この日のお出かけの目的をお知らせください。(あてはまるものに○)。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 買い物 | 2. 食事 |
| 3. 通院・リハビリ | 4. サークル活動・習い事 |
| 5. レジャー・スポーツ | 6. 散歩・散策 |
| 7. 趣味・娯楽 | 8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会 |
| 9. 役所や金融機関などの手続き | 10. 仕事・アルバイト |
| 11. 送迎 | 12. 散髪や美容院 |
| 13. その他(具体的に:) | |

Q10-5 この日のお出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(あてはまるものに○)。

- 自分だけ
- 友人・知人
- 家族・親戚
- その他

7

Q9 5 枚目のバスモノパスの利用についてお答えください。

Q9-1 乗車区間はどちらですか。利用した区間と主な立寄先をそれぞれお答えください。

	利用区間	主な立寄先
最初に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
2 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
3 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
4 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
5 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
6 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
7 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
8 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
使用を終了した停留所・駅		

Q9-2 使用を開始したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q9-3 使用を終了したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q9-4 この日のお出かけの目的をお知らせください。(あてはまるものに○)。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 買い物 | 2. 食事 |
| 3. 通院・リハビリ | 4. サークル活動・習い事 |
| 5. レジャー・スポーツ | 6. 散歩・散策 |
| 7. 趣味・娯楽 | 8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会 |
| 9. 役所や金融機関などの手続き | 10. 仕事・アルバイト |
| 11. 送迎 | 12. 散髪や美容院 |
| 13. その他(具体的に:) | |

Q9-5 この日のお出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(あてはまるものに○)。

- 自分だけ
- 友人・知人
- 家族・親戚
- その他

6

Q11 7 枚目のバスモノパスの利用についてお答えください。

Q11-1 乗車区間はどちらですか。利用した区間と主な立寄先をそれぞれお答えください。

	利用区間	主な立寄先
最初に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
2 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
3 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
4 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
5 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
6 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
7 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
8 番目に使用した区間(停留所・駅を記入)	～	
使用を終了した停留所・駅		

Q11-2 使用を開始したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q11-3 使用を終了したのは、何日の何時ごろですか。

日	午前 午後	時ごろ
---	-------	-----

Q11-4 この日のお出かけの目的をお知らせください。(あてはまるものに○)。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 買い物 | 2. 食事 |
| 3. 通院・リハビリ | 4. サークル活動・習い事 |
| 5. レジャー・スポーツ | 6. 散歩・散策 |
| 7. 趣味・娯楽 | 8. 家族・親戚や友人・知人を訪問、会 |
| 9. 役所や金融機関などの手続き | 10. 仕事・アルバイト |
| 11. 送迎 | 12. 散髪や美容院 |
| 13. その他(具体的に:) | |

Q11-5 この日のお出かけは同行者がいらっしゃいましたか。(あてはまるものに○)。

- 自分だけ
- 友人・知人
- 家族・親戚
- その他

8

ここからの質問はバスモノパスを使い終わってからお答えください。

Q12 「バスナビ」のサービスを利用しましたか。(いくつでも○)

- 1. 乗り換え検索に利用した
- 2. 時刻表検索に利用した
- 3. バスの現在位置確認に利用した
- 4. 利用しなかった

Q13 あなたは「バスモノパス」は便利だと感じられましたか。(ひとつだけに○)

- 1. とても便利
- 2. まあ便利
- 3. あまり便利だと思わない
- 4. 便利だと思わない

Q14 バスモノパスを利用して、便利だと感じたのはどんなことですか。(いくつでも○)

- 1. 一日何度でも乗り降りできる
- 2. バスとモノレールの両方を乗り継ぎできる
- 3. 那覇市内なら、だいたいどの場所へ行くことができる
- 4. 乗車の際に、小銭を用意しなくてよい
- 5. 定額なので、利用するほどお得な感じがする
- 6. 施設によっては、提示すると割引がある
- 7. その他()
- 8. 特になし

Q15 バスモノパスを利用する上で、充実・改善してほしいのはどんなことですか。(いくつでも○)

- 1. 利用できるバスの路線が増える
- 2. モノレールとバスの接続の待ち時間が短縮される
- 3. バスの運行がもう少し等間隔で運行される
- 4. バスの運行回数が増える
- 5. モノレールの運行回数が増える
- 6. バスの運行時間が延長される
- 7. バスモノパスがバスの車内でも購入できる
- 8. バスモノパスがコンビニなどでも購入できる
- 9. その他()

Q16 「バスモノパス」は通常 1000 円で販売されています。あなたはこの金額についてどのように感じられますか(ひとつだけに○)

- 1. 割安
- 2. やや割安
- 3. 妥当
- 4. やや割高
- 5. 割高

Q21 以下における高齢者向けに移動を支援する制度・サービスは、外に出かけるときに役立つと思いますか。(それぞれ1つだけに○)

	現在役立つと思う	現在は役立つが、将来は役立つと思う	将来も役立つとは思わない
1)高齢者などがバス・モノレールに無料で乗れる制度	1	2	3
2)高齢者などがバス・モノレールに安い料金を乗れる制度	1	2	3
3)小型のバスで地域内の主要施設を巡回するサービス	1	2	3
4)高齢者などがタクシーに無料で乗れる制度	1	2	3
5)高齢者などがタクシーに安い料金を乗れる制度	1	2	3
6)足腰の弱い人や車椅子の人を自動車で運ぶサービス	1	2	3

最後にあなたご自身のことについて、少々お伺いします。

F1 あなたの性別は。

- 1. 男性
- 2. 女性

F2 あなたの年齢は。

- 1. 65-69 歳
- 2. 70-74 歳
- 3. 75-79 歳
- 4. 80 歳以上(具体的に 歳)

F3 あなたは自動車免許をお持ちですか。

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

F4 自動車を運転する同居の家族の方がいらっしゃいますか。

- 1. いる
- 2. いない

アンケートは以上です。ご協力どうもありがとうございました。

アンケートを記入し終わりましたら、

11月3日に当会場にお持ちください。謝金をお渡しします。

Q17 実際にバスを利用して利用前と比べてどのように感じましたか(それぞれひとつに○)

	1	2	3
1)目的地までの所要時間	予想よりも短い	予想通り	予想よりも長い
2)車内の快適さ	予想よりも快適	予想通り	予想よりも快適ではない
3)定時性	予想よりも正確	予想通り	予想よりも不正確
4)乗務員の対応	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
5)移動のしやすさ	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
6)路線の分かりやすさ	予想よりも分かりやすい	予想通り	予想よりも分かりにくい
7)運賃の妥当性	割安	妥当	割高

Q18 今回のモニター調査への参加によって、あなたが外出する機会・回数に変化がありましたか。(ひとつだけに○)

- 1. かなり増えた
- 2. 多少は増えた
- 3. 変わらない
- 4. やや減った
- 5. かなり減った

Q19 バスモノパスを利用することでよかったと感じることはありますか。(いくつでも○)

- 1. クルマを運転するストレスがなくなった
- 2. 駐車場を探す手間がなくなった
- 3. クルマより歩くので健康にいい
- 4. 家族の都合に合わせても外出できる
- 5. バスやモノレールでの移動時間を有効使える
- 6. 家族に負担をかけず外出できる
- 7. いろんな場所に立ち寄ることができる
- 8. その他()
- 9. 何も変わらない

Q20 バスモノパスを使って、今後もバスやモノレールを利用したいと思いますか。(ひとつだけに○)

- 1. ぜひ利用したい
- 2. 機会があれば利用したい
- 3. バスやモノレールの利便性が高まれば利用したい
- 4. あまり利用したいとは思わない
- 5. 利用したいとは思わない

高校生通学定期券モニター調査票

最初に日頃の「通学」の際の移動手段についてお伺いします。(この質問は「通学定期券」を使い始める前にお答えください。)

Q1. ふだん自宅から学校までの通学時間はどの程度ありますか。(ひとつだけ○)

- 1. 30 分以内
- 2. 30 分～1 時間
- 3. 1 時間～2 時間
- 4. 2 時間以上

Q2. あなたが通学にふだん利用する主な交通手段はどれですか。登校時、下校時それぞれについてお知らせください。(それぞれひとつずつ○)

登校時	下校時
1. バス	1.バス
2. モノレール	2.モノレール
3. 自家用車	3.自家用車
4. 自転車・オートバイ	4.自転車・オートバイ
5. 徒歩	5. 徒歩

Q3 自家用車による学校への送迎はどの程度ありますか。(ひとつだけ○)

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に 2～3 日
- 3. 週に 1 日
- 4. 月に 1～2 回
- 5. ほとんど利用しない
- 6. 利用したことがない

Q4 自家用車で送迎してもらう理由はどのようなことですか。(いくつでも○)

- 1. 家族が送迎を勧める
- 2. 家族の通勤のついでで送ってもらえる
- 3. バスよりも所要時間がからない
- 4. 乗換えや待ち時間がない
- 5. バス停まで歩かなくてすむ
- 6. 早朝練習や早朝授業の際にバスと間に合わないことがある
- 7. 登校時間帯のバスの運行本数が少ない
- 8. 下校時間帯のバスの運行本数が少ない
- 9. 悪天候の際にはぬれずにすむ
- 10. 荷物が多い
- 11. 事故やトラブルの心配がない
- 12. バスの運賃が高い
- 13. その他(具体的に)

1

Q5 バスでの通学はどの程度ありますか。(ひとつだけ○)

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に 2～3 日
- 3. 週に 1 日
- 4. 月に 1～2 回
- 5. ほとんど利用しない
- 6. 利用したことがない

Q6 バスを利用するときはどのようなかたちで運賃を支払っていましたか。(ひとつだけ○)

- 1. 現金
- 2. OKICA

Q7 通常の OKICA カードを利用していますか。(ひとつだけ○)

- 1. OKICA カードは持っていない
- 2. 持っているが、あまり利用していない
- 3. 通学に利用している
- 4. 通学以外の外出するときに利用している

Q8 今まで「バスナビ」を利用したことがありますか。(ひとつだけ○)

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことはないがサービス内容は知っている
- 3. 名前は聞いたことがある
- 4. 知らない

Q9. 今回の定期券の利用についてお伺いします

Q9-1 乗車区間はどこからどこまでですか。

乗車停留所	
降車停留所	

Q9-2 登校時と下校時の乗車時刻は何時ごろですか。

登校時	時ごろ
下校時	時ごろ

Q9-3 高校名をご記入ください

	高校
--	----

2

ここからは通学定期券を利用してから、お答えください。

Q10. モニター期間中、どの程度バスで通学をしましたか。(それぞれひとつずつ○)

登校時	下校時
1. 毎日	1.毎日
2. ほぼ毎日	2.ほぼ毎日
3. 週に 2～3 日	3.週に 2～3 日
4. 週に 1 日	4.週に 1 日
5. 週 1 日未満	5.週 1 日未満

Q11. バス通学をしなかったのはどのような理由からですか。(いくつでも○)

- 1. 家族の通勤のついでに送ってもらったから
- 2. 悪天候のため
- 3. 早朝練習や早朝授業の際にバスと間に合わないため
- 4. 家を出るのが遅れてバスの時間に間に合わなかったため
- 5. 荷物が多いから
- 6. その他(具体的に:)

Q12 登下校の定期券を利用してのバス通学についてはどう思いましたか。(ひとつだけ○)

- 1. 利用しやすい
- 2. まあ利用しやすい
- 3. やや利用しにくい
- 4. 利用しにくい

Q13 どんな点が利用しやすかったですか。(いくつでも○)

- 1. 友人と過ごせる時間が増える
- 2. 移動時間を有効に活用できる
- 3. バス停まで歩くので健康に良い
- 4. 買い物や習い事など学校以外の用務先にも立ち寄れる
- 5. 登下校の時間を家族の都合に合わせてなくてもすむ
- 6. バスの時間に合わせて規則正しい生活が送れる
- 7. 家族の負担にならない
- 8. 思ったほど移動に時間がからない
- 9. 事故やトラブルが少ない
- 10. 思ったほど遅れない
- 11. その他(具体的に)

3

Q14 どんな点が利用しにくかったですか。(いくつでも○)

- 1. バスよりも所要時間がゆる
- 2. 乗換えや待ち時間が長い
- 3. バス停まで歩かなくてはならない
- 4. 早朝練習や早朝授業の際にバスと間に合わない ことがある
- 5. 登校時間帯のバスの運行本数が少ない
- 6. 下校時間帯のバスの運行本数が少ない
- 7. 悪天候の際にはぬれる
- 8. 荷物が多くて不便
- 9. 事故やトラブルの心配が多い
- 10. バスの運賃が高い
- 11. その他(具体的に)

Q15 現金や OKICA による支払いと比較して、通学定期券に関してはどのように感じになりましたか。(ひとつだけ○)

- 1. 利用しやすい
- 2. まあ利用しやすい
- 3. やや利用しにくい
- 4. 利用しにくい

Q16 定期券を利用してみて、どのような点が便利でしたか。(いくつでも○)

- 1. 通常より割引率が高い
- 2. 残高不足を気にしなくてすむ
- 3. 途中下車しても出費がない
- 4. 不足分を足せば、区間外でも利用できる
- 5. その他()

Q17 定期券を利用するとしたら、どのような点を充実したら良いと思いますか。(いくつでも○)

- 1. 通常利用よりもう少し割り引きする
- 2. 同一路線ならば他のバス会社のバスも利用できる
- 3. 同一金額で乗降できる範囲を広げる
- 4. 定期券を学校などでも購入できるようにする
- 5. その他()

Q18 学生定期券は通常の運賃の 4 割引(通常の定期は 3 割り)です。あなたはどの金額をどのように感じになりましたか。(ひとつだけ○)

- 1. 割安
- 2. やや割安
- 3. 妥当
- 4. やや割高
- 5. 割高

4

Q19 実際にバスを利用して利用前と比べてどのように感じましたか(それぞれひとつに○)

	1	2	3
1)目的地までの所要時間	予想よりも短い	予想通り	予想よりも長い
2)車内の快適さ	予想よりも快適	予想通り	予想よりも快適ではない
3)定時性	予想よりも正確	予想通り	予想よりも不正確
4)乗務員の対応	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
5)移動のしやすさ	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
6)路線の分かりやすさ	予想よりも分かりやすい	予想通り	予想よりも分かりにくい
7)運賃の妥当性	割安	妥当	割高

Q20 今回のモニター期間中「バスナビ」のサービスを利用しましたか。(いくつでも○)

1. 乗り換え検索に利用した
2. 時刻表検索に利用した
3. バスの現在位置確認に利用した
4. 利用しなかった

Q21 今後もバスでの通学を続けることは可能ですか。(ひとつだけに○)

登校時	下校時
1. 実施可能	1. 実施可能
2. ダイヤ改正や運行本数増加などの利便性が高まれば実施可能	2. ダイヤ改正や運行本数増加などの利便性が高まれば実施可能
3. 割引などのサービスが向上すれば実施可能	3. 割引などのサービスが向上すれば実施可能
4. 出来ないことはないが難しい	4. 出来ないことはないが難しい
5. 難しい	5. 難しい

Q19 実際にバスを利用して利用前と比べてどのように感じましたか(それぞれひとつに○)

	1	2	3
1)目的地までの所要時間	予想よりも短い	予想通り	予想よりも長い
2)車内の快適さ	予想よりも快適	予想通り	予想よりも快適ではない
3)定時性	予想よりも正確	予想通り	予想よりも不正確
4)乗務員の対応	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
5)移動のしやすさ	予想よりも良好	予想通り	予想よりも良くない
6)路線の分かりやすさ	予想よりも分かりやすい	予想通り	予想よりも分かりにくい
7)運賃の妥当性	割安	妥当	割高

Q20 今回のモニター期間中「バスナビ」のサービスを利用しましたか。(いくつでも○)

1. 乗り換え検索に利用した
2. 時刻表検索に利用した
3. バスの現在位置確認に利用した
4. 利用しなかった

Q21 今後もバスでの通学を続けることは可能ですか。(ひとつだけに○)

登校時	下校時
1. 実施可能	1. 実施可能
2. ダイヤ改正や運行本数増加などの利便性が高まれば実施可能	2. ダイヤ改正や運行本数増加などの利便性が高まれば実施可能
3. 割引などのサービスが向上すれば実施可能	3. 割引などのサービスが向上すれば実施可能
4. 出来ないことはないが難しい	4. 出来ないことはないが難しい
5. 難しい	5. 難しい

■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

1-1 結果の概要

- ◆ モニターはA群から「パレットくもじ（りうぼう）周辺」と「サンエーメインブレイス、県立博物館・美術館周辺」をよく選んだ。B群からは「メイクマン浦添本店、浦添ショッピングセンター、サンエーマチナトシティ、港川外人住宅街、ハッピータウン周辺」「アウトレットモールあしびなー、TOMITON、ヤマダ電機、ニトリ周辺」が多かった。
- ◆ 普段のバス利用頻度：ほぼ毎日が24.0%。一方でほとんど利用しないは20.0%
- ◆ バスなび利用:時刻表検索に利用した58.0%、バスの現在位置検索に利用した54.0%
- ◆ 乗車経路を調べる方法：「バスなび沖縄」や行き方検索サイト・アプリ64.0%、目的地の案内チラシやウェブサイトやガイドブックに記載されているアクセス方法42.0%
- ◆ 時刻の調べ方：バス停の時刻表72.0%、「バスなび沖縄」や行き方検索サイト・アプリ68.0%
- ◆ 運賃の調べ方：乗車後のバス車内の表示70.0%

全乗車バス停ベース

- ◆ バス停表記でわからなかった情報：バス停付近の地図72.4%、目的地までの運賃80.9%、付近の目印になる主要施設の方向や所要時間・距離76.8%
- ◆ バス停表記でわかりにくかった：系統ごとの主要バス停が表示された路線図54.0%、路線が表記されている地図61.0%
- ◆ バス停表示で消えかけていた、見えにくくなっていた:系統番号ごとの路線図46.3%、バス停付近の地図41.5%、乗り換えに関する情報41.2%、運賃40.8%、バス停付近のランドマーク施設の方向と距離表示36.8%、バスの接近情報36.0%

- ◆ バス停表記の重視点

重視する：乗車すべき系統（路線や系統番号）80.0%、乗車すべきバスの到着予定時間66.0%、降車すべき最寄りバス停60.0%

- ◆ バス停表記の満足点

満足：乗車すべき系統（路線や系統番号）56.0%

不満：目的地までの所要時間の目安74.0%、目的地までの所要運賃の目安74.0%、バス停付近の地図74.0%、バス停付近の目印となる主要施設の方向74.0%、バス停付近の目印となる主要施設までの所要時間・距離78.0%、乗車すべきバスの到着予定時間74.0%

- ◆ バス停表記で付加すべき情報：自分が乗車するバスの接近情報が表示されること86.0%、主要施設の最寄りバス停62.0%

- ◆ バスとクルマの優れているほう：

クルマが優れている：施設間の移動のしやすさ62.0%、目的地までの移動のしやすさ70.0%、目的地までの所要時間80.0%、移動にかかる費用68.0%

- ◆ バス利用前後の評価

予想よりもよかった：路線の分かりやすさ52.0%、運賃が割安46.0%

予想通り：移動のしやすさ58.0%、定時性46.0%、車内の快適さ56.0%

予想よりもよくなかった：乗務員の対応44.0%、目的地までの所要時間38.0%

- ◆ 今後のバス利用意向：利用したい64.0%、利用したくない14.0%

1-2 調査の概要

下記のA群から2カ所以上、B群から3カ所以上（合計5カ所以上）を選び、バスを利用してそれぞれの施設を回り、それぞれの目的地周辺の利用したバス停で表示を見て、アンケート調査票に回答してもらう。

A 群	1. 首里城公園周辺 2. 牧志公設市場、てんぷす那覇、HAPINAH、桜坂劇場周辺 3. パレットくもじ（りうぼう）周辺 4. サンエーメインブレイス、県立博物館・美術館周辺 5. 奥武山公園、沖縄セルラースタジアム、漫湖公園周辺 6. 那覇空港 7. 波上宮、波の上ビーチ周辺
B 群	1. 沖縄こどもの国、コザミュージックタウン、サンエー中の町 2. コザ運動公園 3. イオンモール沖縄ライカム、プラザハウスショッピングセンター 4. ヒルトン沖縄北谷リゾート、美浜アメリカンビレッジ、イオン北谷店、サンセットビーチ、北谷公園周辺 5. コンベンションセンター、サンエーコンベンションシティ、宜野湾海浜公園、トロピカルビーチ周辺 6. メイクマン浦添本店、浦添ショッピングセンター、サンエーマチナトシティ、港川外人住宅街、ハッピータウン周辺 7. 浦添運動公園・浦添市美術館・てだこホール周辺 8. 西原きらきらビーチ、マリントウンあがりはま 9. アウトレットモールあしびなー、TOMITON、ヤマダ電機、ニトリ周辺 10. イオン南風原店周辺 11. 西崎運動公園、美々ビーチ

【調査期間】：10月1日～12月28日の間の任意の1か月の間で実施
【モニターアンケート実施対象者】50名

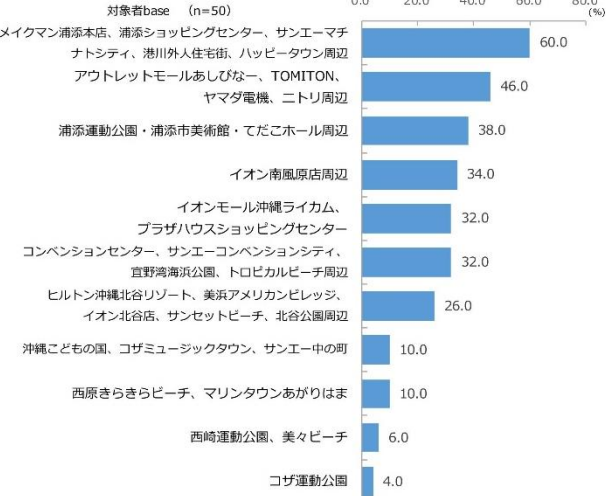
1-3 調査の結果

1-3-1 対象者の属性

A 群利用状況

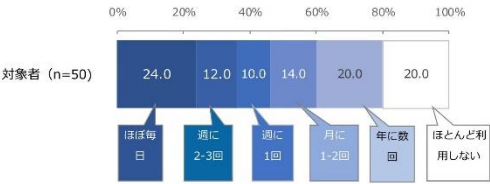


B 群利用状況

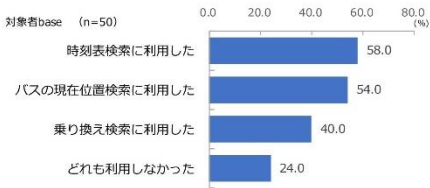


■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

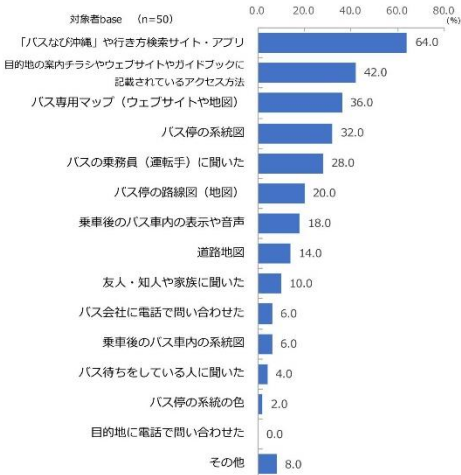
ふだんの路線バス利用頻度



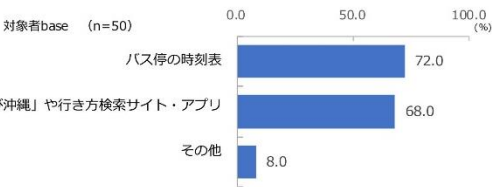
「バスなび」サービスの利用状況



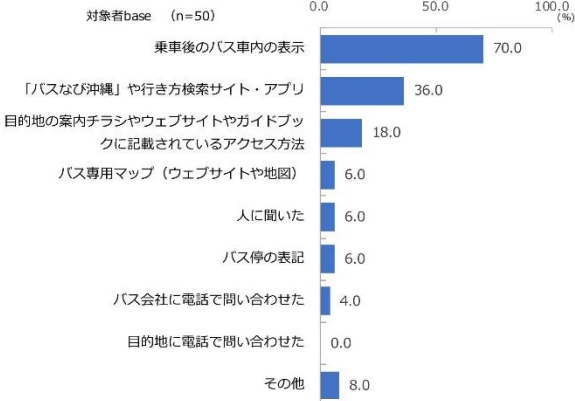
目的地までの乗車経路の調べ方



バス時刻の調べ方



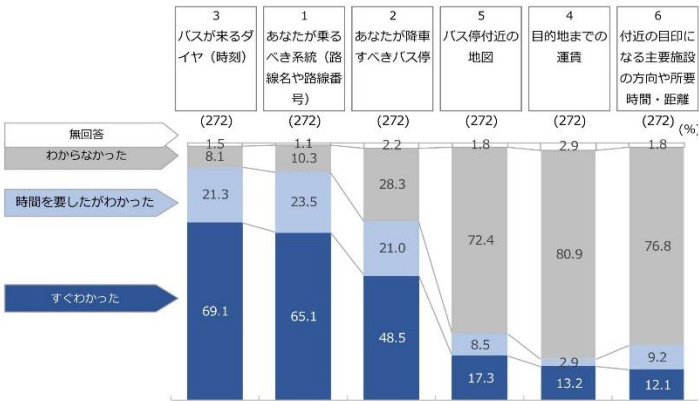
運賃の調べ方



1-3-2 バス停利用機会別の分析

- ◆ 50 人の対象者がバス停を利用した機会は延べ 272 回。
- ◆ 総利用機会 272 回で、「バス停付近の地図」「目的地までの運賃」「付近の目印になる主要施設の方向や所要時間・距離」はわからなかったという回答が 70%以上ある。
- ◆ 一方、「バスが来るダイヤ (時刻)」「あなたが乗るべき系統 (路線名や路線番号)」はすぐわかったが 65%以上と多い。

バス停表記の情報確認程度 (乗車バス停利用機会ベース)



- ◆ 利用バス停を新旧タイプ別に集計を行った。新タイプのバス停一覧は次の通り 22 カ所である。
- ◆ このバス停を乗車時に利用したのは、利用機会 272 回のうち 44 回。残りの 228 回は旧タイプのバス停となる。
- ◆ 降車時の利用は 36 回。旧タイプは 336 回となる。

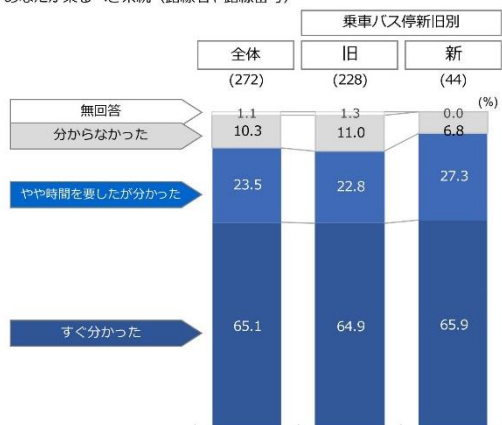
新しいタイプのバス停

1	農中金前	12	第二城間
2	若松入口	13	港川
3	泊高橋	14	牧港
4	天久	15	宇地泊
5	安謝橋	16	真志喜
6	勢理客	17	普天間
7	第一仲西	18	石平
8	仲西	19	安謝
9	宮城	20	伊佐
10	屋富祖	21	比嘉西原
11	城間	22	園田

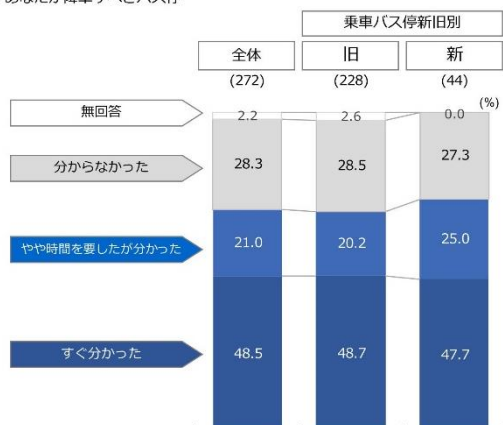
- ◆ 乗車バス停の新旧別では、「すぐ分かった」が高い「バスが来るダイヤ (時刻)」「あなたが乗るべき系統 (路線名や路線番号)」では、バス停のタイプでは差異はない。「すぐ分かった」が半数の「あなたが降車すべきバス停」でも新旧タイプ別の差異はない。
- ◆ 「バス停付近の地図」では旧タイプのバス停で「すぐ分かった」が低い。
- ◆ 「目的地までの運賃」「付近の目印になる主要施設の方向や所要時間・距離」ではタイプに関係なく「分からなかった」が高い。

■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

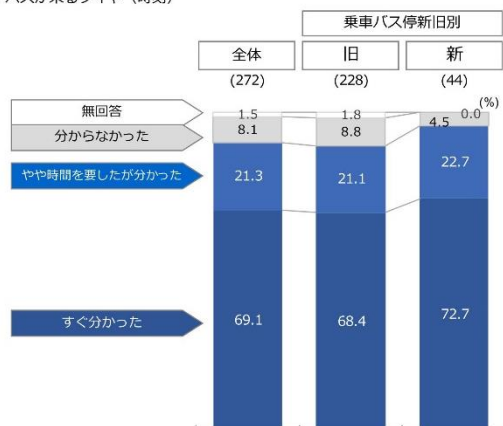
1 あなたが乗るべき系統（路線名や路線番号）



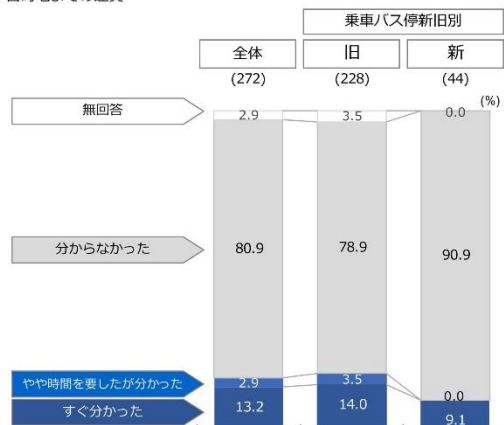
2 あなたが降車すべきバス停



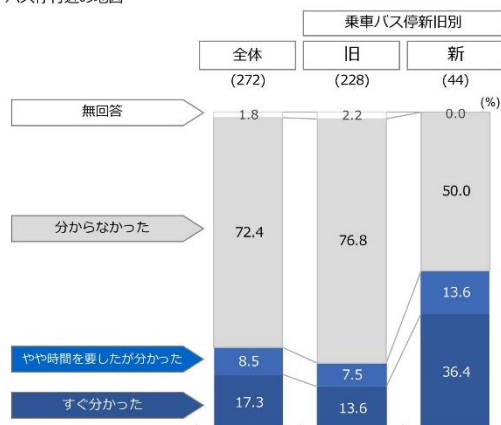
3 バスが来るダイヤ（時刻）



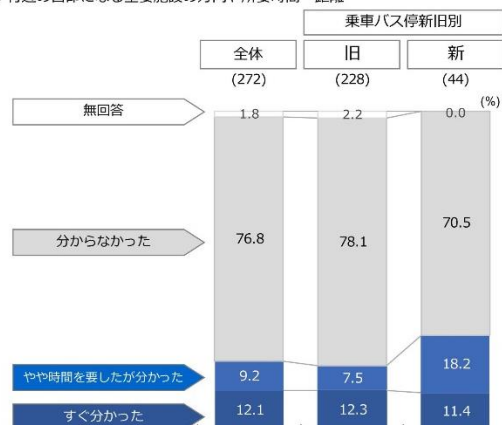
4 目的地までの運賃



5 バス停付近の地図

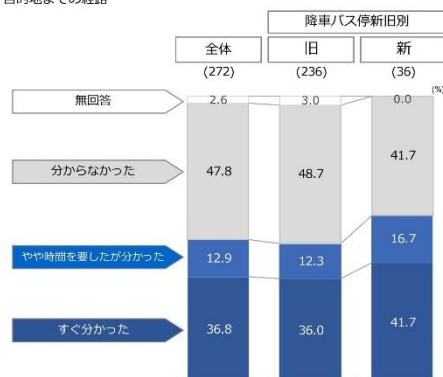


6 付近の目印になる主要施設の方向や所要時間・距離

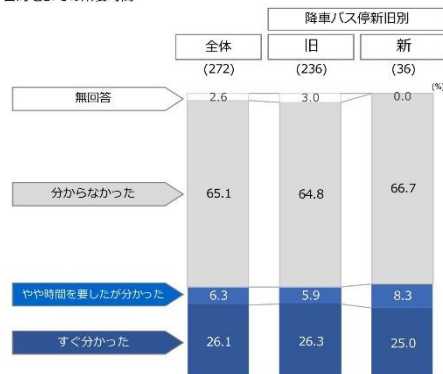


- ◆ 降車バス停での評価で、「目的地までの経路」は新タイプバス停降車利用者の間では「すぐ分かった」の割合は高い。
- ◆ 「目的地までの所要時間」はバス停のタイプの間では差異はない。

目的地までの経路



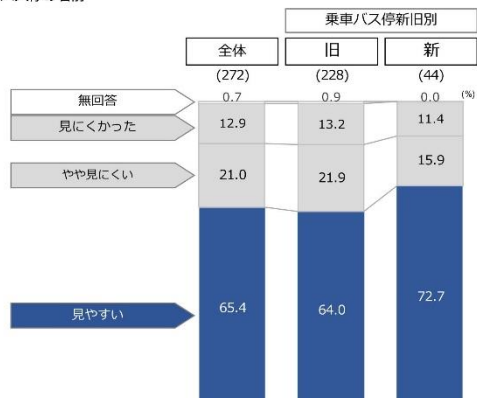
目的地までの所要時間



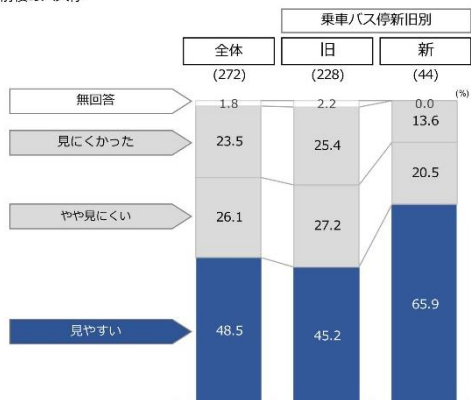
■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

- ◆ バス停のタイプ別で「停車するバスの系統番号・路線名」以外は新タイプバス停のほうが「見やすい」が高い。

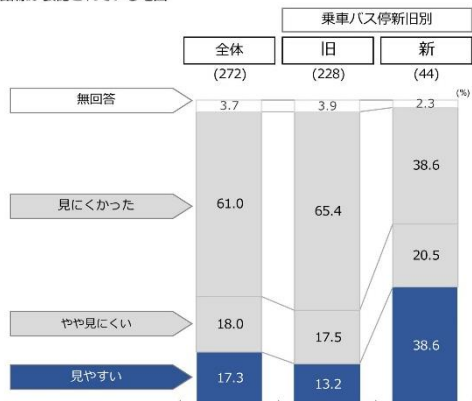
1 バス停の名前



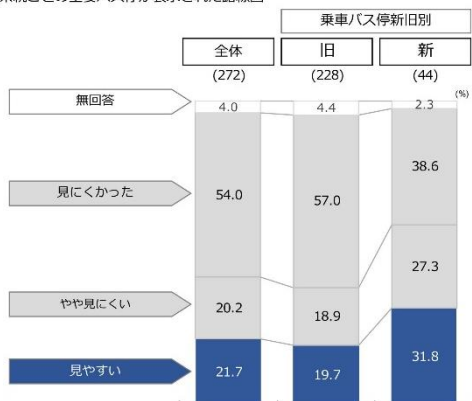
2 前後のバス停



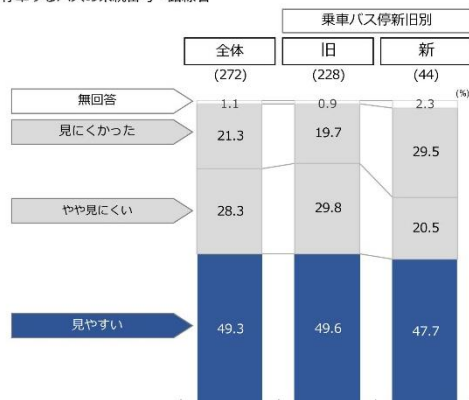
3 路線が表記されている地図



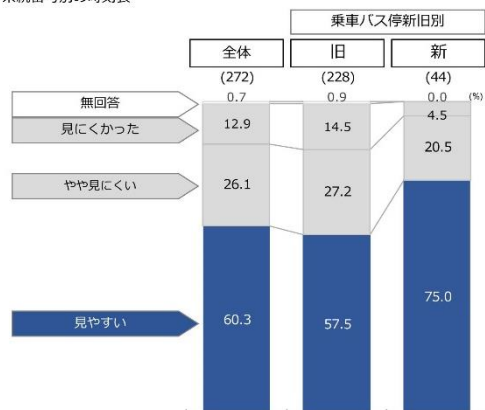
4 系統ごとの主要バス停が表示された路線図



5 停車するバスの系統番号・路線名

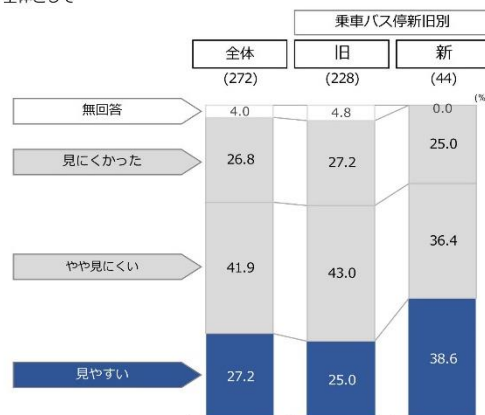


6 系統番号別の時刻表



- ◆ バス停の見やすさ：全体的評価
- ◆ 全体としてのバス停の見やすさは新タイプのバス停のほうが高い。

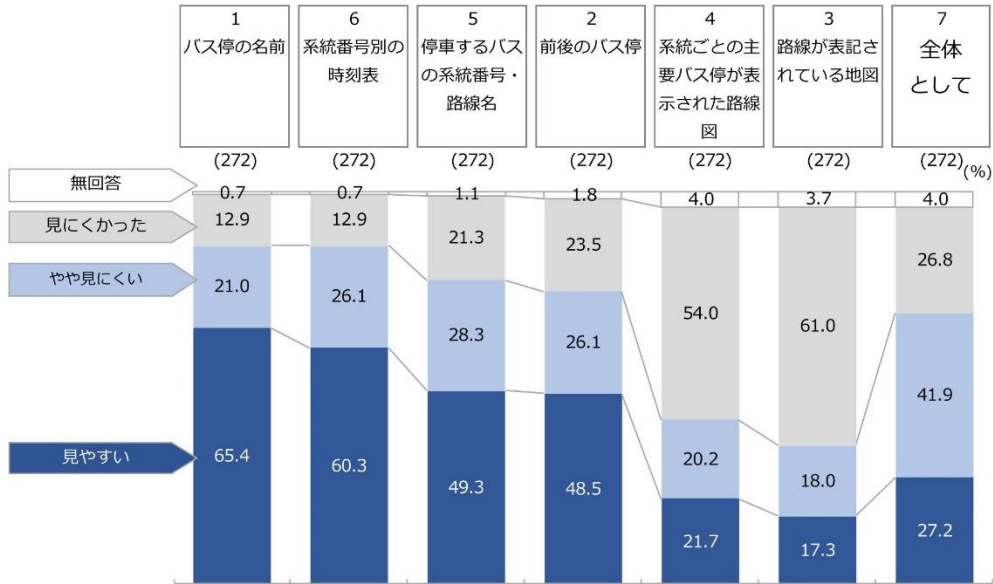
7 全体として



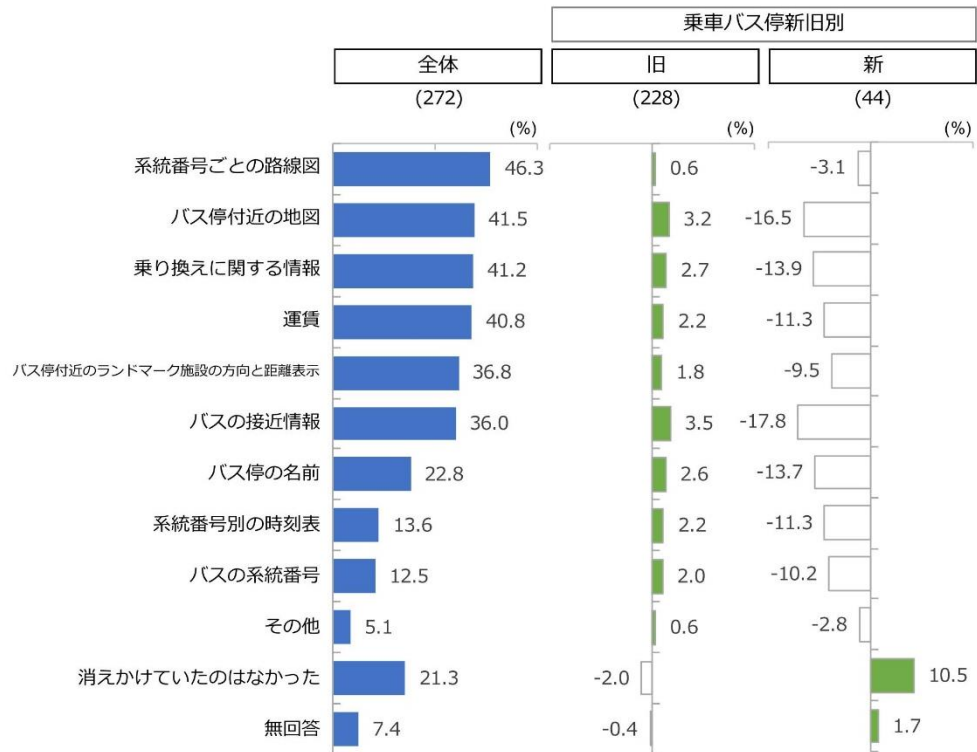
■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

- ◆ バス停表記の見やすさについて
- ◆ 「バス停の名前」、「系統番号別の時刻表」は見やすいが60%以上と高い。「停車するバスの系統番号・路線名」「前後のバス停」は見やすいが半数弱。
- ◆ 「系統ごとの主要バス停が表示された路線図」「路線が表記されている地図」は見やすいが低く、見にくかったが高い。
- ◆ 全体としての見やすさは「やや見にくい」が高い。

バス停表記の見やすさ評価(乗車バス停利用機会ベース)



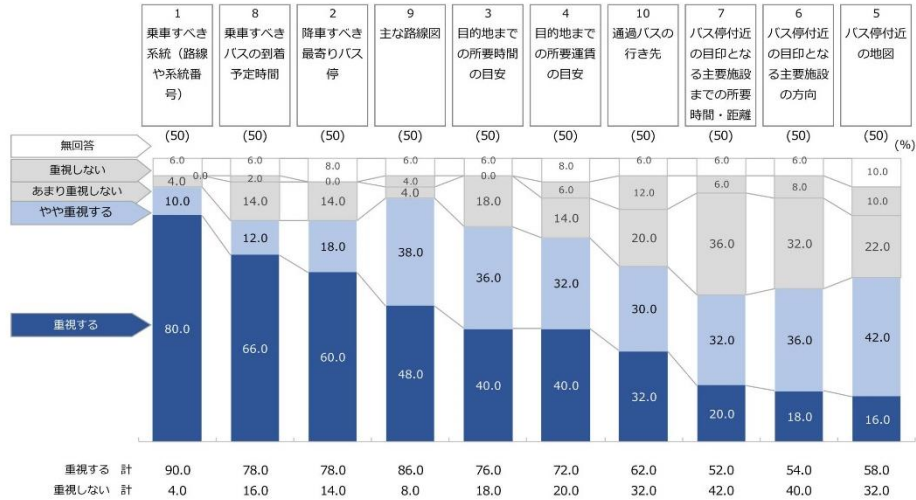
- ◆ 消えかけている、見えにくくなっていた表示情報
- ◆ バス停でなされている表示情報は旧タイプのバス停で見えにくいという評価がされている。



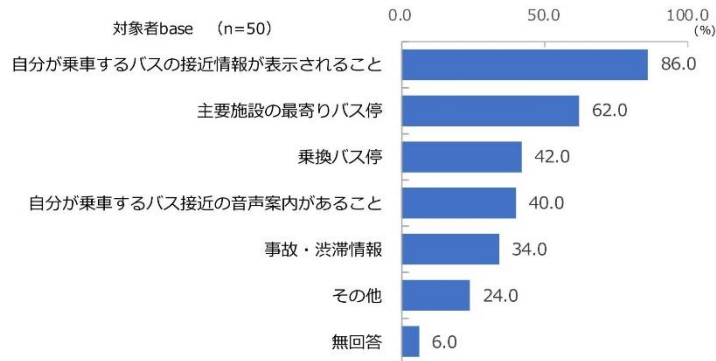
■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

1-3-3 利用後の評価

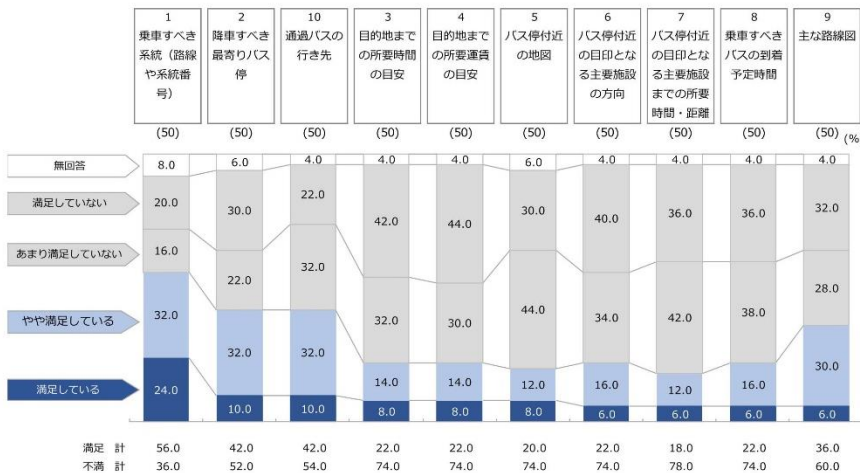
- ◆ 調査対象の地点を回り、バス停の評価をしてもらった後で、バス停における重視点を尺度で聞いている。「乗車すべき系統（路線や系統番号）」「乗車すべきバスの到着予定時間」「降車すべき最寄りバス停」は重視するが比較的高く、60%以上となっている。
- ◆ 「主な路線図」「目的地までの所要時間の目安」「目的地までの所要運賃の目安」は「重視する」がそれほど高くはないが「やや重視する」を含めた重視の合計では70%以上と高い。



- ◆ バス停で必要な表示情報は、「自分が乗車するバスの接近情報が表示されること」「主要施設の最寄りバス停」が高い。

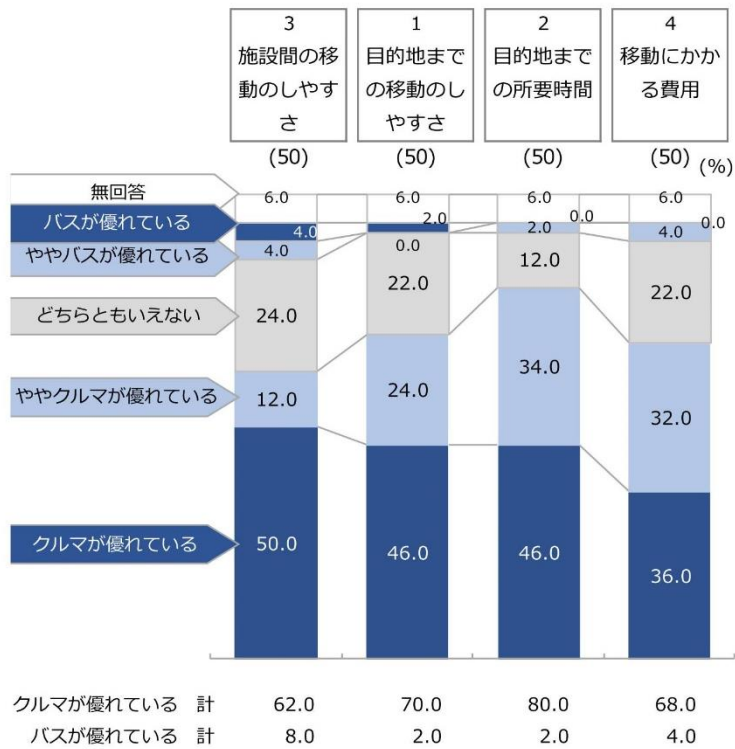


- ◆ バス停の表示情報のうち、満足度が比較的高いのは「乗車すべき系統（路線や系統番号）」で満足の合計で56.0%と過半数を超えている。その他の表示情報は不満のほうが満足を上回る。

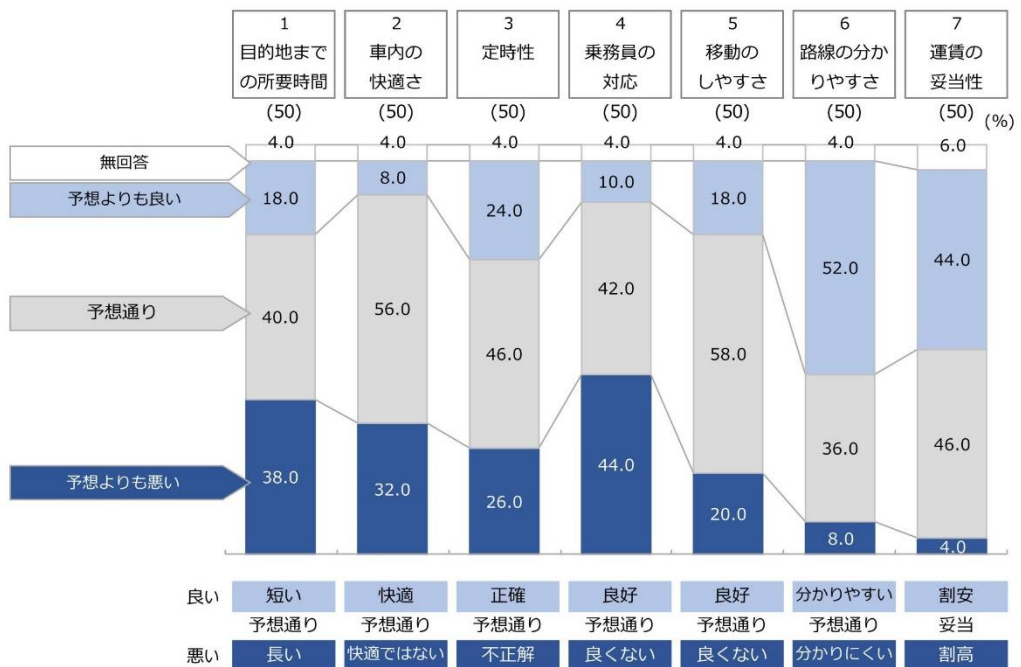


■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

- ◆ バスが優れている点、クルマが優れている点という観点から比較してもらったと、「施設間の移動のしやすさ」はクルマが優れている評価が最も高い。



- ◆ バスの利用前後の7つの評価項目のうち、「予想よりも分かりやすい」が高いのは「路線の分かりやすさ」「運賃の妥当性」で、予想よりも分かりにくい、割高という評価よりも高い。
- ◆ また、7つの評価項目のうち予想よりもよくないが最も高いのは「乗務員の対応」であった。



■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

バス停表示で気づいた点（自由回答一覧）

旧タイプバス停乗車時利用者

バス路線図の情報が古いままでした。
乗換に関する情報、運賃、バス接近情報、バス停付近の地図、バス停付近ランドマーク施設の方向と距離表示は表記なし（意思表示）してないと工事しているため乗ると前に出ていないとバスは止まりませんでした。46番のをがしてしまいました。
（那覇向けは経路同じなのだが）32・43の時刻表が別々に貼ってある。見づらくないか？と思う。112が通るはずだが、時刻表自体がない。
・時刻表が乱雑に貼られ見にくい。・路線図や周辺地図があると良い。
21番のバスの系統が分からず（どこ経由か？どこを通過）不安だった。分かりやすくしてほしい。（1時間かかった!!）
330那覇方面向けのバス停に周辺地図もなければ、英・中表記もなかった。観光客も多く利用されると思うので導入いただきたい。
3番に乗ったが、あまり人（乗客）が乗っていない、いつも前から乗って、前から降りるバスだったが、今日は後ろから降りた。（なぜだか分からなかった）
4社のバス停なので仕方がないが観光客向けに系統番号ごとの時刻表があればすぐに時刻を知る事ができる。
5.乗換に関する情報や運賃、ランドマークなどそもそもバス停に表示がなくてわからなくて不便でした。サンエーコンベンションシティ周辺の兼久原バス停を待っていたが、バスがこなかった。初日のダイヤがあるはずだが、バス会社に電話しても営業していなかったため、歩いて58号線まで行ってバスに乗った。
58号線のバス停全体に関してもいいことなのですが、時刻表というか、バス停が拡張され、時刻表も見やすくなった。路線図も系統図も見やすくていいです。あとは大まかな運賃があればs 完璧です。
7）、8）、9）はありませんでした。
95番「おもろまちへいきたいが…」と言ってバスに乗ったが、どこで降りて良いか分からなかった【運転手は「牧志」で降りたほうが良いといわれた）
LCCシャトルバスと同じ乗り場で大きな荷物を持った人がバス停前にかたまっていたため、路線バスに乗りずらかった。95番に乗ったがOKICAトラブルで使えなかった。
Q28に記入します。
アウトレットモール前のバス停はQ11の殆どにあてはまる。
アウトレットモール前のバス停は路線図が道路側の下にあった。
あしびなーまでの片道運賃がわからず、バスの中で確認した。
あまり観光客がつかとは思われないバス停なので、詳細な系統図や地図はいらないと思うが、せめて全体の路線図くらいはキレイに貼ったほうがいいのでは。
イオンモール館内の案内図のバス停位置が間違っていた。案内図で示している場所はバスおりばになっている。実際に間違っバスおりばでバスを待つ乗客あり。バス乗り場も降り場もバスのイラストがかかれており、叔母もイラストだけ見て乗り場と勘違いしている。降り場のバスイラストを消して文字だけにしてもいいのでは。
イオン南風原の名前がバス停にない。
イベントがあって運行変更のお知らせがあったが運行時間がわからなかった。
いろいろな祭りの行われる設置前のバス停にしては正直不親切かもしれない。特に、英・中表記がないのが気になった。是非導入いただきたい。
この停留所は点字ブロックのガイドがあるのはよいと思います。QRコードで乗りたいバスの情報（現在地など）がわかるものもよいです。
ゴミが多くて汚い
スペースがないことはわかるが、それでも地図などの情報を車道側に貼るのはいいかなものか。車道に出て危険を冒しながら情報をかくにんしろというのか！
バスの時刻表が破れていて半分以上見れませんでした。
バスの路線図が見やすいところがないので来たバスの運転手さんに聞くのが速いと思ってしまう。路線図を貼る位置・向きを全部統一したら良いと思う。
バス系統番号は小さく見えずらい、インパクトがない。路線図の乗換情報運賃4〜9全然貼り付けがない。初めての人や外国人にはぜんぜんわからない。土日表記文字がわからない。
バス停が小さくわかりにくい
バス停に表記する案内の統一が必要。利用者にとって優しくない（目的地までの路線バス系統図、乗り換え図とかがない。
バス停の表記からは目的地の情報は得られず、初めての方は来たバスの運転手さんに聞くしかない。
バス停の表記が雨よけ屋根上に死角
バス停の名前が古い「銘苅庁舎前」だった。バスナビでは「なは市民協働プラザ前」です。
バス停の名前の表記が一般的に小さいと思う。前後のバス停表記は小さくてもいいが、そのバス停の名前は大きいほうがいい。目立たないバス停だったので屋根をつけ、その上にバス停に表記を付ければわかりやすい。
バス停を道方向に平行でなくて上部だけでも道方向と直角にすると、よりバス停の位置が遠くからわかる。

■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

バス停前に人がいなかったらステイに気づかなかったと思う。それとバス停前にあしびなー施設の人（？）がいて、行列を誘導してくれたのも良かった。運賃も大きく表示。
バス停名の所にチラシがはってありみえない。市内バス路線図が下の方に貼ってあり読めない、見えない。
バス停名表記なし。たばこ等のゴミが多く落ちており気持ちよくない。沖縄バスの土日祝時刻表だけが別の面（側面）に貼られて探すのに時間を要した。
ベンチがあればよい
やはり路線図があると助かります。でも時刻が小さいので老人には見づらい。と思います。
ルート（系図）が分からず、時間がかかってのバスの旅。目的地に早く着く番号のバスを知りたい。
運賃・地図・施設の方面が表記されていない。
汚い
汚れている、剥がれている、表面のフィルムが剥がれている。
屋根とイス付きでゆっくり待つことができた。
何枚も貼られて見づらい。
可愛いバス停でした。
会社別に時刻表が貼られていて探さないといけな気がなる（使いづらい）→結局運転手さんに「○○いきますか？」と聞いてしまう。
会社別の時刻表になっているのは気になる。（系統番号やバス会社わかる人には問題ないのだろうが）
外国人観光客が困っていました。（見えにくい上、わかりにくいので）那覇方面に帰りたいようだったので手助けしてあげました。
観光地側にあるバス停で時刻表が破れていたり路線図が無いのは不親切ではないか。
帰りはてんぶす前から乗りましたが時刻表が下に貼られすぎて見えづらい。電工掲示板がきちんとあっているのか気になりました。
急行案内が上から貼られていた。
系統番号ごとの路線図、乗換に関する情報、運賃、バス接近情報、バス停付近の地図、バス停付近ランドマーク施設の方向と距離表示はそもそも表記されていない。
系統番号ごとの路線図が貼ってあるが色別で系統番号を区別している。消えかけではなくても、色あせしていないとしても似た色というのが多く、非常にわかりづらい。路線図として一つにまとめる必要はなく、そのバス停に止まる系統のことだけを知りたいわけであり、主な停車バス停という形ではなく全てのバス停を直線表示するものがない。乗換系統については、そのバス停のところに何番乗換えと書くのがよい。
系統番号ごとの路線図はあまり役に立たなかった。
見えにくくなるとか、消えかけてる以前に時刻表と経路図以外に何もありません。
見づらい、バス停が小さい
公園前のバス停表記が消えかけている。情報（利用者）が少ない。
降車したバス停（山川）での話しになりますが、バス停名のところにバス会社からのお知らせが貼っておりバス停名がわからなくなっていました。他に貼るスペースはあったのにもかかわらず。
今回バス停の表記をじっくりと見て見やすさの差に驚きました。
山里も停車路線が多いのと、バス停自体が古いので拡張したほうがいいと思います（乗換路線もあるので）。
市外線のバス停に目安となる運賃が書かれているとよい。
市内線と市外線の停車バス停の意味が普段から利用していないとわかりにくいです。
似たような名前のバス停が周辺に多く、わかりにくい。
字が小さくみづらい
字が小さく見づらい、わかりにくい
字も小さくて貼り方や掲示物のまわりが汚いので気持ち悪い。見づらい。城間や美術館前のバス停よりは小祿駅のバス停の向きの方が安全に見えるむき。
時間がなかったので乗り換えて行こうと思いましたが路線図がないのでわからずバスでうまく使えず持っている知識で乗換して行きました。
時刻等すべて字を拡大し見やすくしてほしい。
時刻表が屋根付きバス停の裏側に貼られていて、夜で見えにくかったのかもしれないが、運転手から死角になったのか時刻表を確認していたら素通りされた。
時刻表の文字、数字が小さく読むのに時間がかかる。
時刻表消えていた。
次のバス停が分からない。

■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

車道側に貼られている、路線図が地図のようなものは、完璧に色が抜け落ちてみすばらしいとともに惨めですらある。よくもこんなになるまで放置できたものだ。そこには「乗客ファースト」の姿勢はまるでないといえる。
周辺地図がかなり離れたところにあったが歩いている途中で見ることよりもバス停を降りてみる人が多いのでバス停近くに掲示した方がいい。屋根がかけられ、椅子を置いてあるくらいなので設置スペースは十分あると思うので活用次第だと思う。
周辺地図もあるが少し離れていたり、もう少し整理して情報表示をした方がよいのでは。あまり見やすいとは思えなかった。
小祿駅前汚い。別の日椅子に酔っ払いが寝ていたの見かけた。
消えかけていたり見にくいものもありましたが、全体的に案内表示自体がなかったです。
上りバス停は前後表示の上に時刻表が貼られていました。
上記の通り。
乗ったのは「営業所」であるが一部系統は「営業所前」で少し歩いた通り沿いにある。今まで混同していたので「営業所前」の時刻表を見てから「営業所」にいった。バス停を一本化すればいいと思う。
乗換に関する情報、運賃、バス接近情報、バス停付近の地図、バス停付近ランドマーク施設の方向と距離表示はそもそも表記されていない。
乗車したバス停の名前しか明記してないのでバスがどの方向に向かうのかわからない。
乗車するお客様何人かが行き先を尋ねていた。沖縄の玄関口としては情報の表示がない。
場所がら学生も多いが暗くて自分の子供が利用する場合も心配になる。
情報がない
新しく路線図等、全てきれいにみえやすくする方がよい。
真玉橋という名のバス停が点在している。
接近情報（電子版）が全く役立たず。張り紙が破れたまま張り付けられてた。大変見苦しい。期限切れの張り紙もあった。
前後のバス停（名前）の表示がない。
前後のバス停表記があるが、土地勘がない人には分かりづらい。表記があってもよいのでは？
前後のバス停表示が「回数券の有効期限」表示に隠されて見えづらくなっている。
全体にきれいな乗り場ですが屋根があるとなお良いと思います。
全体的に情報がない。
多くに系統のバスが走るところではないのでバス停表示はシンプルでいいが、Q18で書いた通り降りた後の乗換について乗換バス停そこから乗換られる系統番号などの情報があるとよい。
大きく系統番号、路線図、前後のバス停表記
大まかでよいので例えば58号方面とか国際通り方面とか東京のバスのように一目でわかる工夫が必要。
大変混雑する路線だったため時刻表より13分遅れで到着だった。その間バスなび沖縄で接近情報バス位置などを見ようとしたが全く使えなかった。それ以外にも乗換検索が使いつづいたため意味がない。
地図が道路側だったため見づらい。
地図が破れていた。ここに限らずバス停の地図できれいに貼られているものはあまりなく、大抵は色が薄くなって見にくくなっているか、ひどいときは破れている。
当蔵のバス停は本当に7.8番以外路線バスの時刻表なし。（今すぐ必要）
道路側に路線図や時刻表が貼付されており身乗り出せないで見れないので危ない。道路側への掲示はやめてほしい。
道路側への提示は危ないのでやめてほしい。
那覇BT工事中の暫定とはいえ、始発、執着のバス停にしてはあまりにも貧弱。最低限、「上泉」と「県庁南口」「那覇高校前」にも「開南」バス停にあるようなバス接近情報表示機を取り付けてほしい。もちろん、昼間の視認性が悪い「開南」のものより改良したものを。
那覇まつり開催で、徐社したバスがいつもと違うコースを走りましたが、乗車して運転手さんのアナウンスを聞くまで、分からず、バスも大変遅れました。乗る前にそういった情報がわかるといいなと思います
日よけがない。歩道の幅が狭い。
表記がかなり古い感じでここで本当に良いのか不安になり停車中にバスの運転手に窓越しに声をかけ確認した。
表記の統一（必要な情報が何か考えてほしい）
表記自体が汚く感じた。停留所看板？が小さくわかりづらい。
表側は字がうすくて消えている所があった。裏側はシールを何度も貼った跡があり、さびてて見苦しい。
分かりやすく表示されていてきれいだった。見やすかった。
文字が小さい。通過予定時刻表が主でその他の情報が読みづらい。主な経由、地図、文字が小さくごちゃごちゃで凄くわかりづらい。平日、土日の文字がわかりにくく間違えやすい。

■モニター調査結果/バス停表記チェックモニター

文字が小さく見にくい（時刻表）
文字が小さすぎて見づらい。乗り場隣にレンタカー会社がありバスを待つ間も洗車等で困った。
片面（道路側）には何も（210円の1.2以外）情報がありませんでした。
歩道が広いのに上屋やベンチの設置がない。
歩道の狭い所に立っているので路線図の貼ってある裏側を見ようと思ったら車道に首を出さなくてはいけなくて怖かったです。
豊崎入口にはそこを通るバスの表示が一枚だけだが（5～6種のバス）きれいに貼られていたがQ42の1）2）3）の情報だけのみ。
夕方は付近が暗かった。
落書きが目立ちました。
路線がいくつかまとまっている為外国人旅行者には大変分かりづらい。
路線図、乗り換え情報、運賃、接近情報、バス停付近の地図、バス停付近のランドマーク施設の方向と距離表示がない。
路線図がないのが気になった。
路線図が見えにくい。
路線図が車道側にあったが、レイトを見直して時刻表と共に歩道側へ表示できないか。
路線図が提示されていなかった。
路線図が貼られていなかった（探せなかっただけなのか）ので、バスの行き先が時刻表のジョブに書かれている文字のみで判断しなければならず、不安になる。
路線図が道路側にあり確認することは危険な状態である。
路線図が破れている。
路線図の文字が消えていたりはがれていた。暗い時間帯では文字が小さく見にくい太字で示すと良いと思う。

■モニター調査結果/マイカー通学高校生モニター

2-1 結果の概要

◆ ふだんの通学所要時間：30 分以内 25.0%、30 分～1 時間以内 62.5%、9 割は 1 時間以内で通学

◆ ふだんの通学手段：

登校時：バス 56.3%、自家用車 37.5%

下校時：バス 68.6%

◆ 自家用車による通学機会：ほぼ毎日 37.5%、週に 2-3 日 25.0%

◆ 自家用車利用の理由：悪天候の際にはめれずにすむ 43.8%、バス運賃が高い 37.5%

◆ バス通学の頻度：ほぼ毎日 68.8%、週に 2-3 日 25.0%

◆ 運賃の支払い方法」OKICA81.3%

定期券利用後の評価

◆ バス通学：利用しやすい68.8%

◆ 利用しやすい点：

家族の負担にならない 43.8%、登下校の時間を家族の都合に合わせてくてもすむ 37.5%

◆ 利用しにくい点：

乗換えや待ち時間が長い 37.5%、バス停まで歩かなくてはならない 37.5%、登校時間帯のバスの運行本数が少ない 37.5%、バスの運賃が高い 37.5%

◆ 便利な点：残高不足を気にしなくてすむ 93.8%

◆ 改善希望点：同一路線ならば他のバス会社のバスも利用できる 62.5%、同一金額で乗降できる範囲を広げる 62.5%

◆ 定期券価格評価：割安 50.1%、妥当 37.5%

◆ バス利用前後の評価

予想よりもよかった：路線の分かりやすさ 25.0%

予想通り：移動のしやすさ 81.3%、目的地までの所要時間 68.8%

予想よりもよくなかった：定時性 37.5%

◆ バスナビの利用：バスの現在位置確認に利用した 87.5%、時刻表検索に利用した 68.8%

◆ バス通学の可能性：登校時 75.0%、下校時 81.3%

2-2 調査の概要

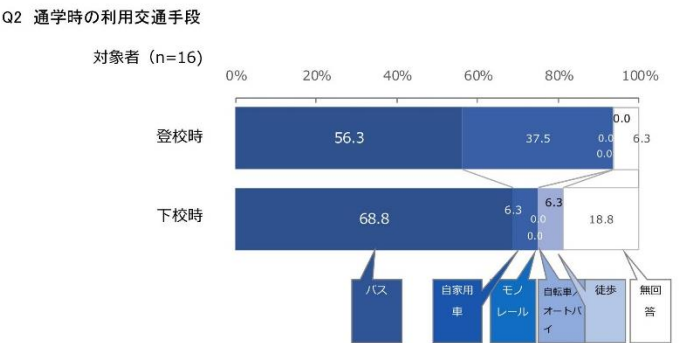
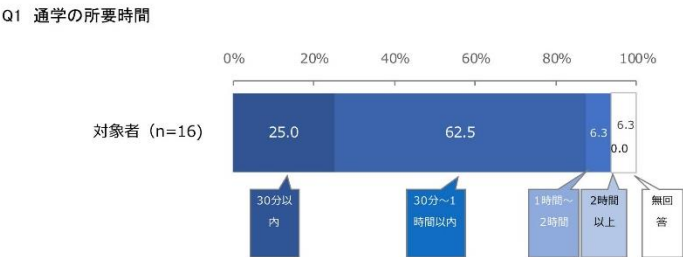
高校生に 1 ヶ月の通学定期券を渡し、利用シアンケートに回答してもらう。

- 【スケジュール】
- 10 月 1 日～12 月 28 日：モニター実施期間中の任意の 1 か月間にモニターに参加し、アンケートを実施
- 【モニターアンケート実施対象者】
- 16 名（那覇市、浦添市、西原町、沖縄市、普天間市、読谷村）

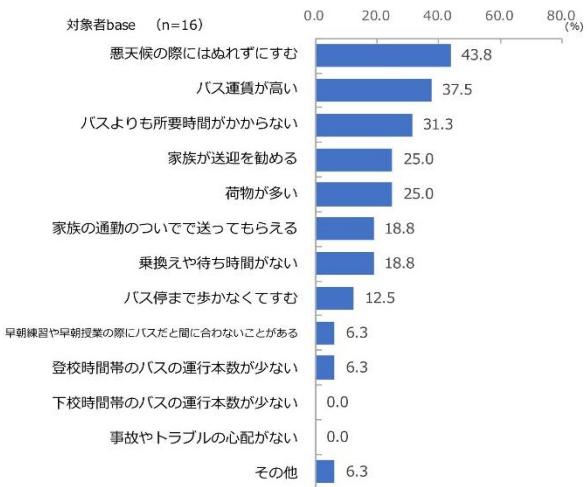
ID	乗車停留所	降車停留所	登校時（時）	下校時（時）	高校名
1	比屋根	コザ高校前	8時	17時	コザ高校
2	興南高校前	棚原入口	7時	17時	西原高校
3	坂下琉生病院前	棚原入口	7時	16時	西原高校
4	志真志	若夏学院前	7時	16時	首里東高校
5	港川	普天間	6時	18時	普天間高校
6	美里二丁目	普天間	8時	19時	普天間高校
7	与儀十字路	浦城小学校入口	7時	19時	浦添商業高校
8	北谷	伊良皆	6時40分	18時～19時	県立読谷高校
9	那覇メインプレイス	真玉橋	6時	20時	那覇国際高校
10	翁長入口	那覇高校前	6時30分	19時40分	那覇高校
11	潮平	那覇高校前	6時	4～18時	那覇高校
12	阿波根	那覇高校前	7時	22時	那覇高校
13	屋富祖	那覇高校前	7時	19時	那覇高校
14	那覇高校前	高安	7時	18時	那覇高校
15	那覇高校前	第二城間		19時20分	那覇高校
16	那覇高校前	県営屋宜原団地入口		20時	那覇高校

2-3 調査の結果

2-3-1 現在の通学状況



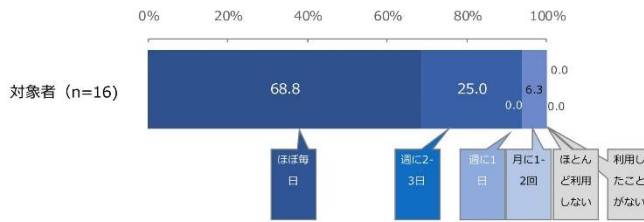
Q4 自家用車送迎をする理由



■モニター調査結果/マイカー通学高校生モニター

2-3-2 通学モニター後評価

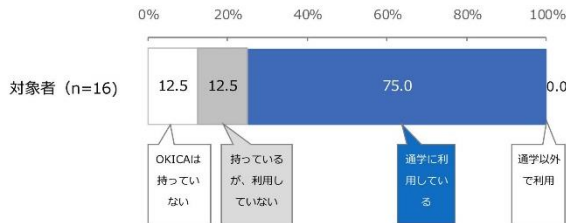
Q5 バス通学の頻度



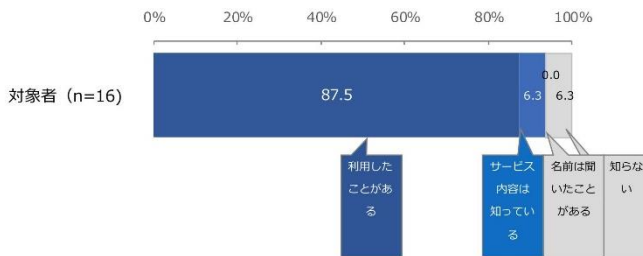
Q6 バス利用時の支払い手段



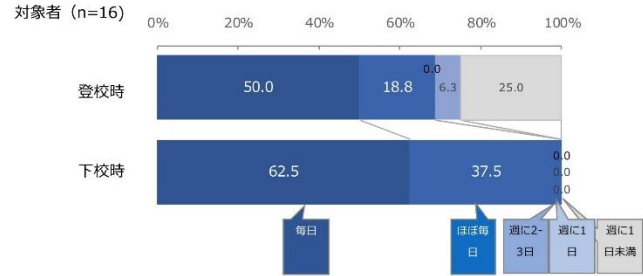
Q7 OKICA の利用状況



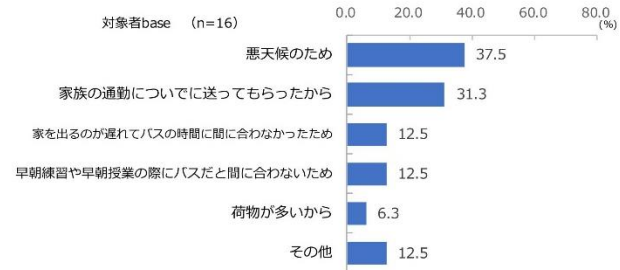
Q8 バスなびの利用経験



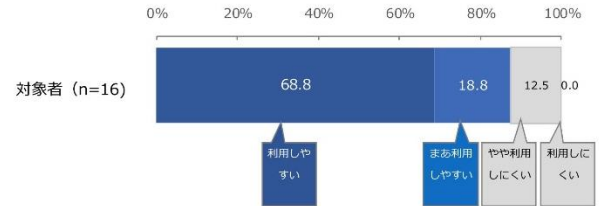
Q10 モニター時のバス通学頻度



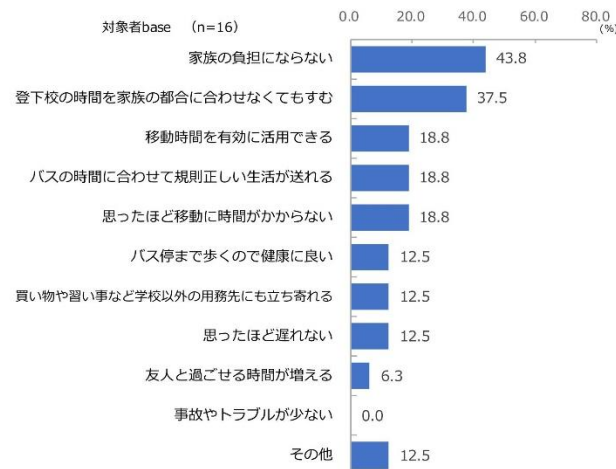
Q11 バス通学をしなかった理由



Q12 通学定期券の利用のしやすさ



Q13 利用しやすかった点

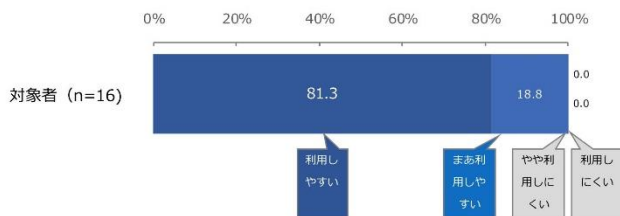


■モニター調査結果/マイカー通学高校生モニター

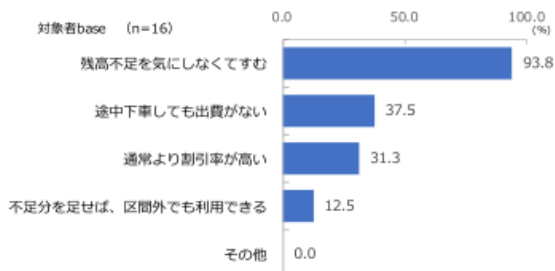
Q14 利用しにくい点



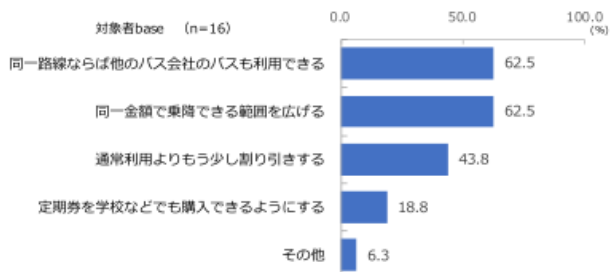
Q15 現金、OKICA と比べた定期券の利用しやすさ



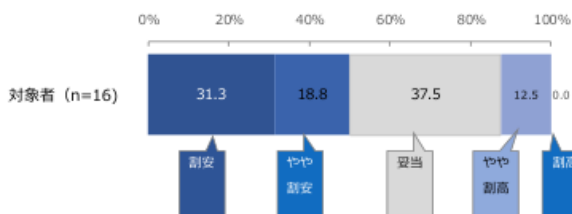
Q16 通学定期券の便利な点



Q17 もっと利用するための要望点

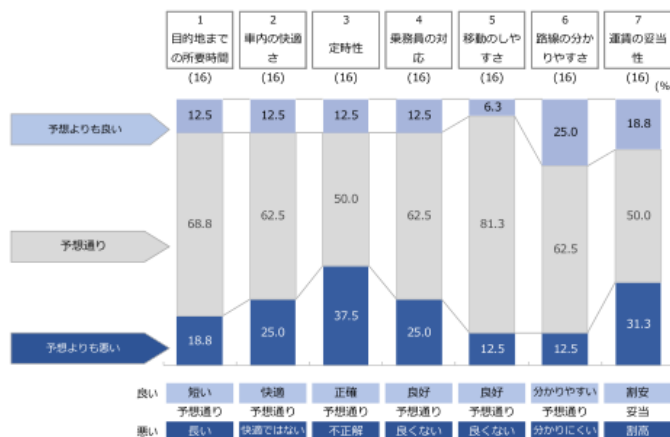


Q18 通学定期券の割引率(4 割りき)評価

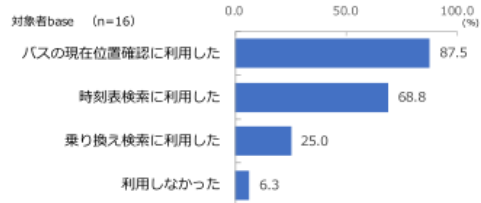


2-3-3 バス利用の総合評価

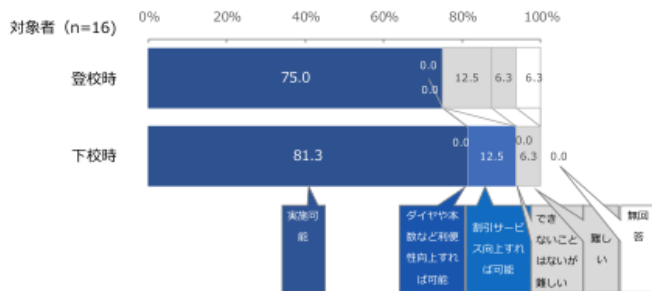
Q19 バス利用前後のバス評価



Q20 モニター期間中のバスな利用状況



Q21 今後のバス通学の可能性



■モニター調査結果/「バスモノパス」シルバー半額モニター

3-1 結果の概要

◆ 対象者は 65 歳以上 74 歳以下 8 名
◆ ふだんの外出頻度：週 5 日以上 62.5%、週 3~4 日 37.5%
◆ 外出時の交通手段：バス 62.5%
◆ バス・モノレール利用頻度：週に 3 日以上 62.5%
◆ バスモノパスの認知：知らない 50.0%

バスモノパスのモニター利用状況（利用機会ベース）
◆ 利用目的：買物 55.4%、趣味・娯楽 28.6%、サークル活動・習い事 19.6%
◆ 同行者：なし（自分だけ）78.6%

利用後のバスモノパス評価
◆ バスの便利度：とても+まあ便利 62.5%
◆ バスの便利点：一日何度でも乗り降りできる 87.5%、乗車の際に、小銭を用意しなくてよい 62.5%、定額なので、利用するほどお得な感じがする 62.5%
◆ バスの改善希望点：利用できるバスの路線が増える 100.0%、バスの運行回数が増える 87.5%
◆ バスの券面金額の評価：割高 75.0%
◆ バスの利用でよかったこと：いろんな場所に立ち寄ることができる 62.5%
◆ バスの利用で外出機会の増減：増えた 50.0%
◆ 今後の利用意向：機会があれば利用したい 50.0%、利便性が高まれば利用したい 37.5%

◆ バスなびの利用：利用しなかった 37.5%、時刻表検索に利用した 37.5%
◆ バス利用前後の評価
予想よりもよかった：移動のしやすさ 50.0%、路線の分かりやすさ 37.5%
予想通り：目的地までの所要時間 87.5%、車内の快適さ 75.0%、定時性 75.0%、乗務員の対応 75.0%

◆ 高齢者向けサービス 現在役に立つ：高齢者などがバス・モノレールに無料で乗れる制度 100.0%、高齢者などがバス・モノレールに安い料金を乗れる制度 100.0%、高齢者などがタクシーに安い料金を乗れる制度 84.5%、足腰の弱い人や車椅子の人を自動車で運ぶサービス 87.5%
--

3-2 調査の概要

65 歳以上の男女一般を対象者として、調査期間中の任意のバスモノパス 7 枚（7 日分）を使って、那覇バスやモノレールに乗車して、アンケートに回答してもらう。

【スケジュール】 10 月 1 日～11 月 30 日 ： 期間中の任意の 7 日間
【モニターアンケート実施対象者】 8 名 （65～69 歳 7 名、 70～75 歳 1 名）

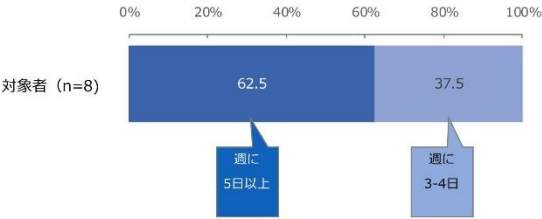
免許保有	4
非保有	4

同居家族あり	5
同居家族なし	3

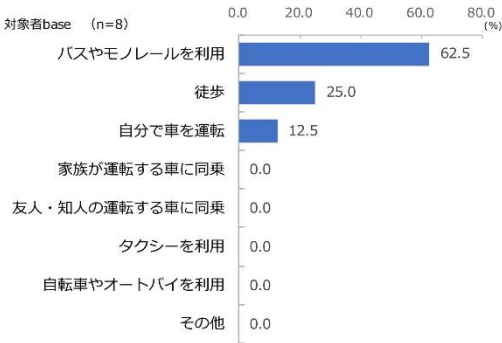
3-3 調査の結果

3-3-1 ふだんのバス利用

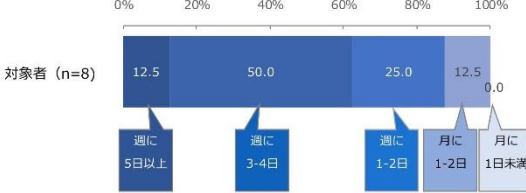
Q1 ふだんの外出頻度



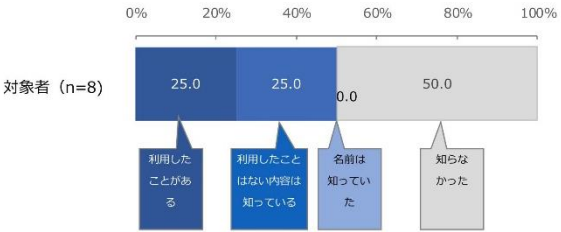
Q2 外出時の交通手段



Q3 ふだんのバス、モノレールの利用頻度



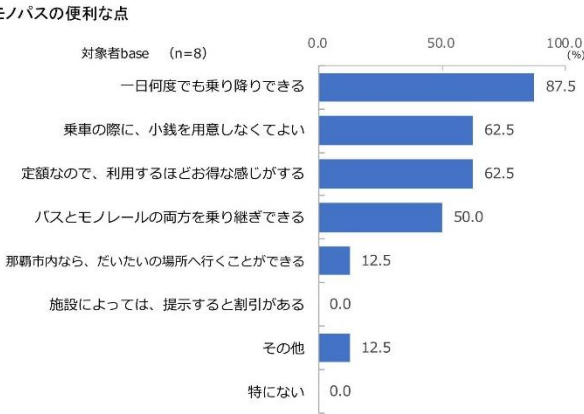
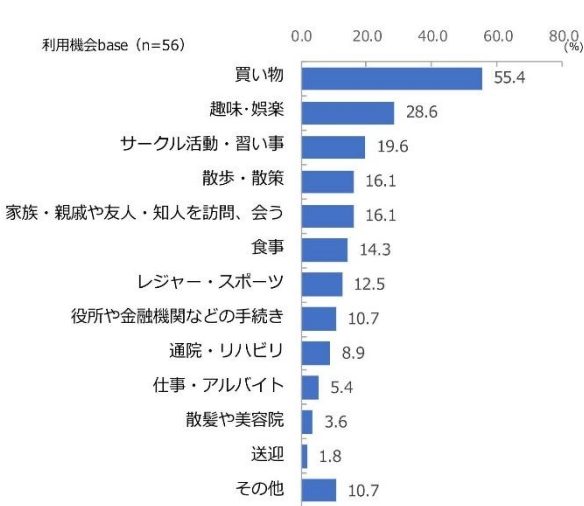
Q4 「バスモノパス」の認知



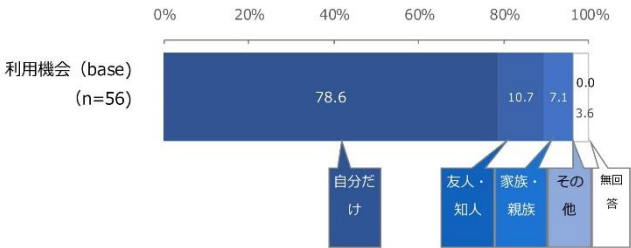
■モニター調査結果/「バスモノパス」シルバー半額モニター

3-3-2 バスの利用

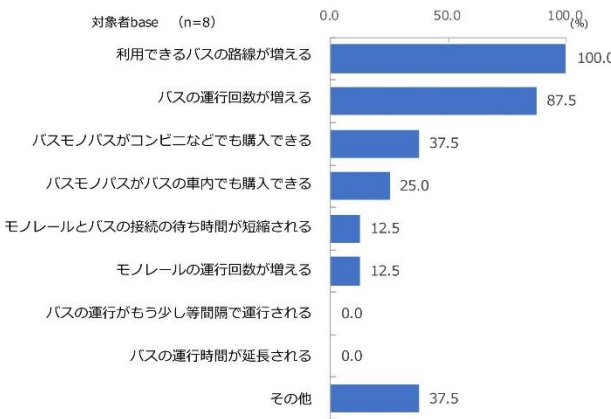
Q5-3 対象者の全利用機会の利用用途



Q11-5 外出時の同行者 (利用機会ベース)

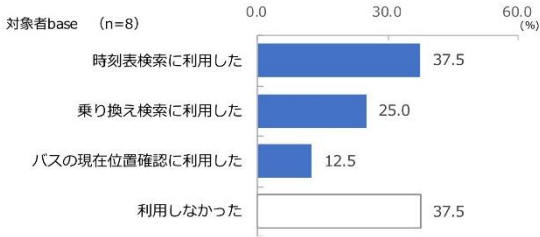


Q15 バスモノパスの改善希望点

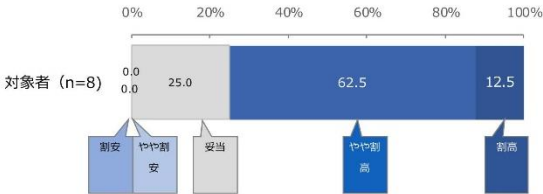


3-3-3 利用後の評価

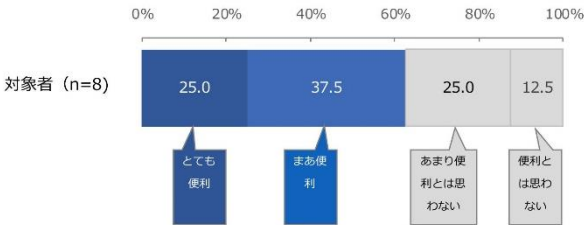
Q12 バスなびの利用状況



Q16 バスモノパス(1000 円)の金額評価

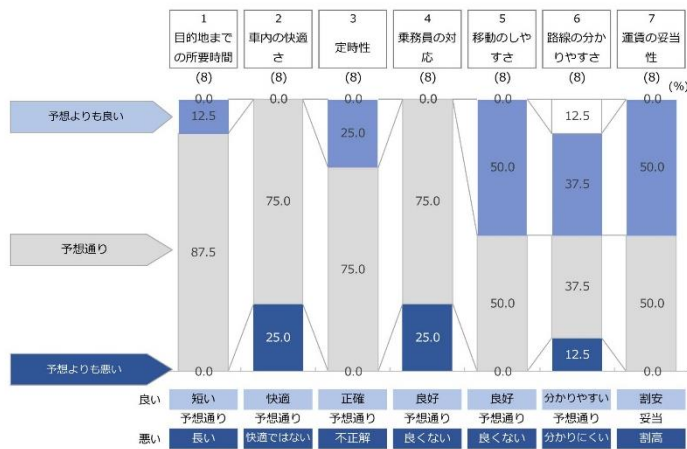


Q13 バスなびの評価

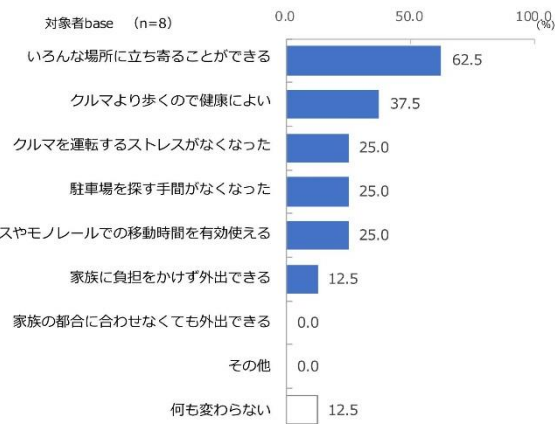


■モニター調査結果/「バスモノパス」シルバー半額モニター

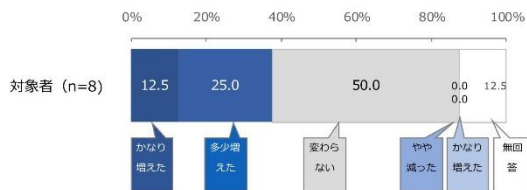
Q17 バスモノパスの利用後の評価



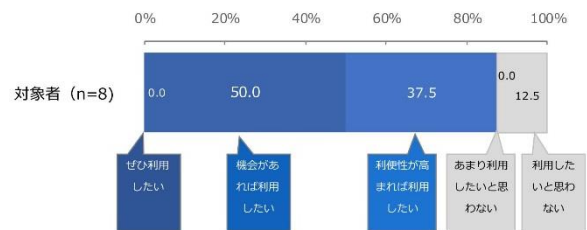
Q19 バスモノパスの利用評価点



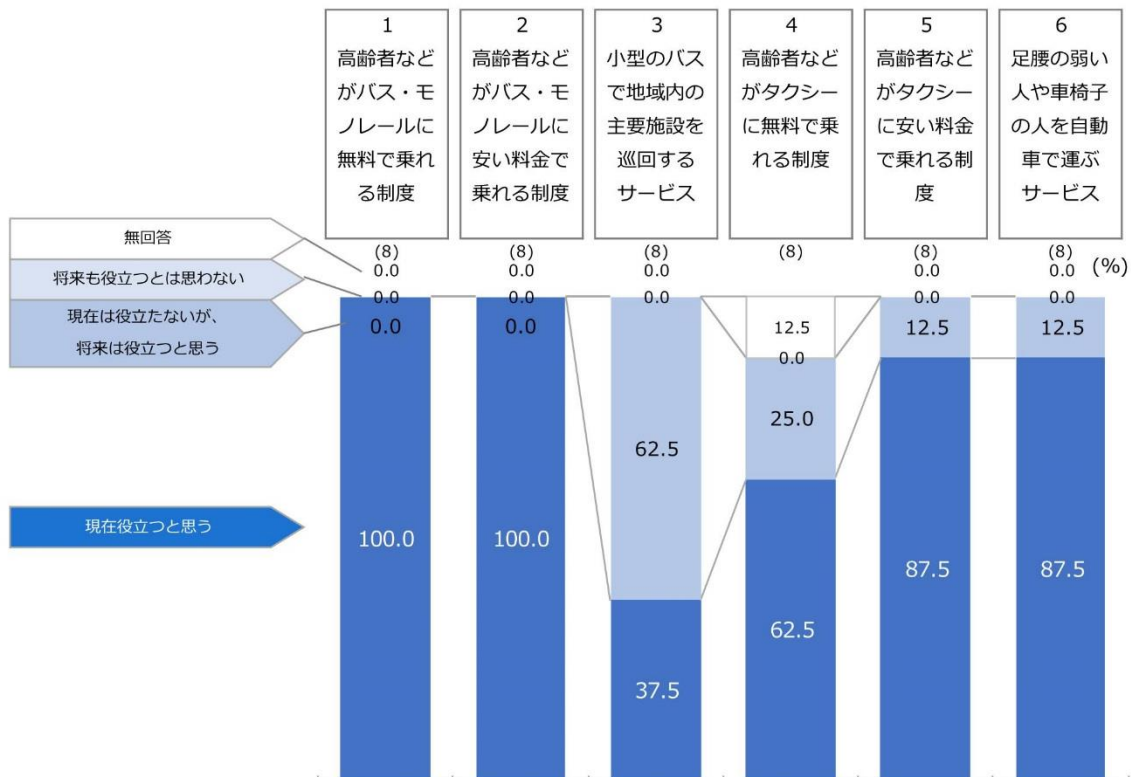
Q18 利用による外出機会の変化



Q20 今後の利用意向



Q21 高齢者向けに移動を支援する制度・サービスに対する評価



■モニター調査結果/昼間時間バス半額モニター

4-1 結果の概要

◆ 対象者は 7 名（%の表示は参考程度）
◆ 平日の昼間時間（概ね午前 10 時～午後 4 時頃）の外出頻度：週 5 日以上 5 人（71.4%）
◆ 外出時の交通手段：バス・モノレール 6 人（85.7%）
◆ 支払い手段：OKICA 6 人（85.7%）

定期券利用後の評価
◆ 利用日数：最大 30 日、最少 20 日（平均 22.8 日）
◆ 利用理由：仕事・アルバイト 4 人（57.1%）、食事 3 人（42.9%）、買い物 3 人（42.9%）
◆ 同行者：自分だけ 7 人（100.0%）
◆ 割引定期券の便利度：とても+まあ便利 5 人（71.4%）
◆ 割引定期券の便利な点：定額で一日何度でも乗り降りできる 6 人（85.7%）、途中下車が可能 3 人（42.9%）
◆ 利用しにくい点：利用区間が限定されている 4 人（57.1%）、クルマよりも所要時間がかかる 4 人（57.1%）、乗換えや待ち時間が長い 3 人（42.9%）
◆ 改善要望点：同一路線であれば他社バスでも乗れること 5 人（71.4%）、もう少し安い運賃で利用できること 4 人（57.1%）、利用時間帯のバスが時間表通りに運行している 4 人（57.1%）
◆ よかった点：通常より安い運賃で利用できる 4 人（57.1%）、クルマを運転するストレスがなくなった 2 人（28.6%）、駐車場を探す手間がなくなった 2 人（28.6%）、いろんな場所に立ち寄ることができる 2 人（28.6%）
◆ 定期券金額の評価：通常割引率（3 割引）評価 割高 2 人（28.6%）、割安 4 人（57.1%）
◆ 定期券金額の評価：5 割引評価 妥当 2 人（28.6%）、割安 3 人（42.9%）

◆ 昼間外出機会の増減：変わらない 3 人（42.9%）、増えた 3 人（42.9%）
◆ バス利用前後の評価
予想通り：移動のしやすさ 6 人（85.7%）、目的地までの所要時間 5 人（71.4%）、車内の快適さ 4 人（57.1%）、定時性 4 人（57.1%）、乗務員の対応 4 人（57.1%）、路線の分かりやすさ 4 人（57.1%）
◆ 今後の利用意向：利用したい 4 人（57.1%）
◆ 昼間用定期券の利用増意向：増やしたい 5 人（71.4%）

4-2 調査の概要

昼間の低需要時間帯（午前 10 時から午後 4 時）の定期券ニーズを調べるため、対象者モニターに 1 ヶ月間の低需要時間帯（午前 10 時から午後 4 時）に定期券を利し、アンケートに回答してもらう。

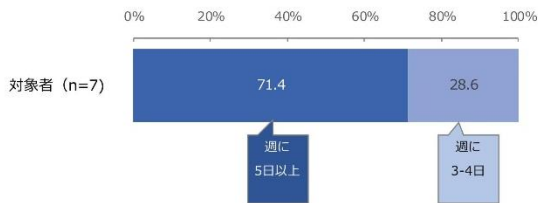
【スケジュール】

10 月 1 日～12 月 28 日：調査期間中の任意の 1 か月間にモニター実施

【モニターアンケート実施対象者】 7 名

4-3 調査の結果

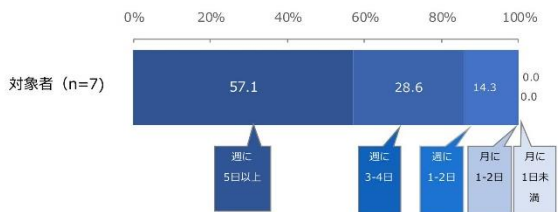
Q1 昼間時間帯（概ね午前10時～午後4時頃）の外出頻度



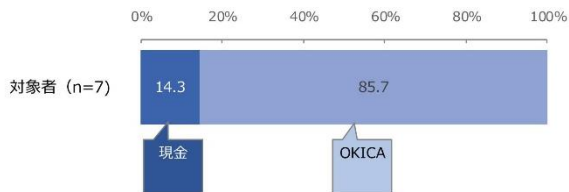
Q2 外出時利用交通手段



Q3 バス・モノレールの利用頻度

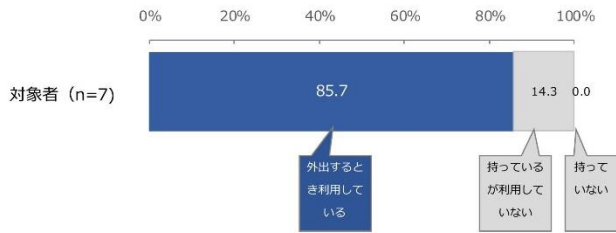


Q4 バス運賃の支払い方法

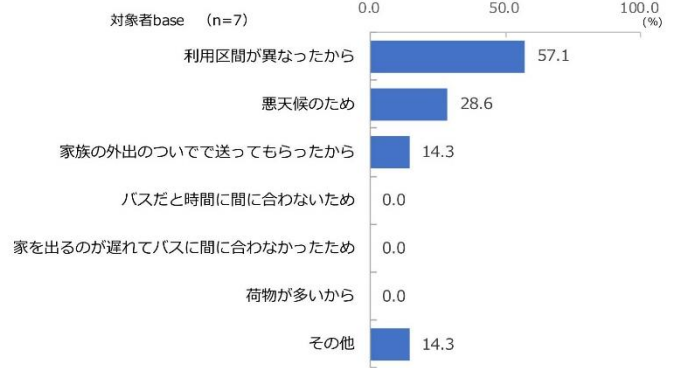


■モニター調査結果/昼間時間バス半額モニター

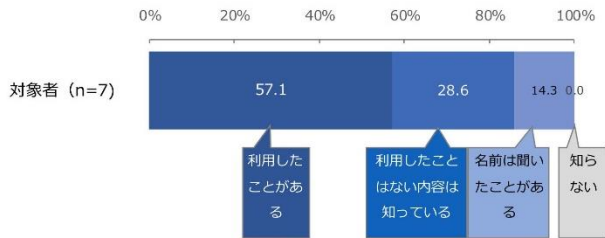
Q5 OKICAカードの利用状況



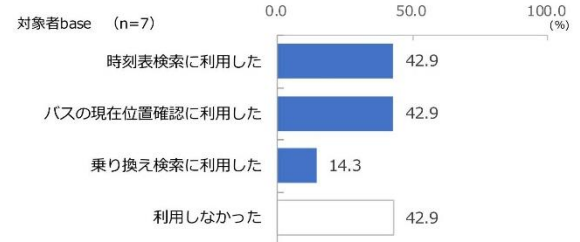
Q8-1 非利用理由



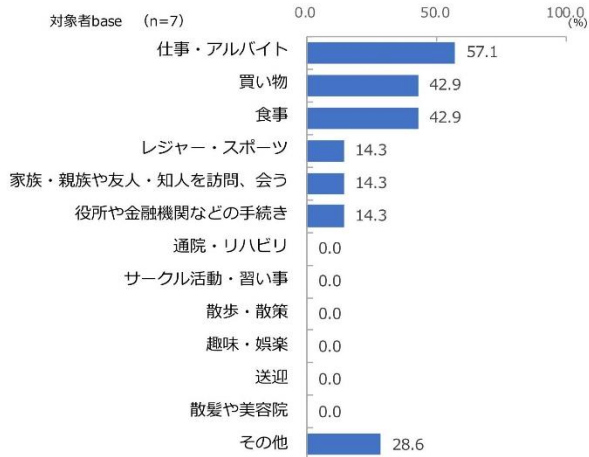
Q6 バスなびの利用経験



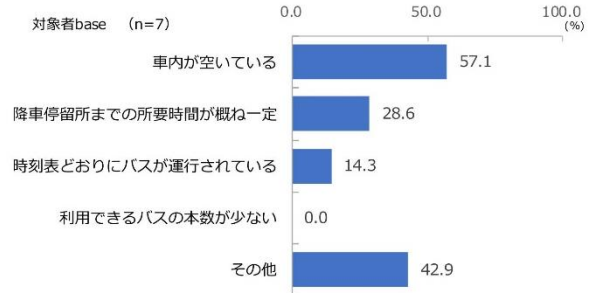
Q9 バスなびの利用状況



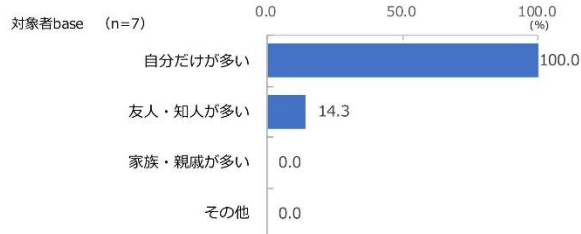
Q7-4 定期券での外出目的



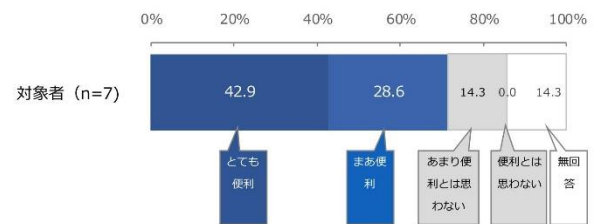
昼間時間帯利用の印象



Q7-5 外出時同行者



Q11 時間限定の割引定期券の便利度

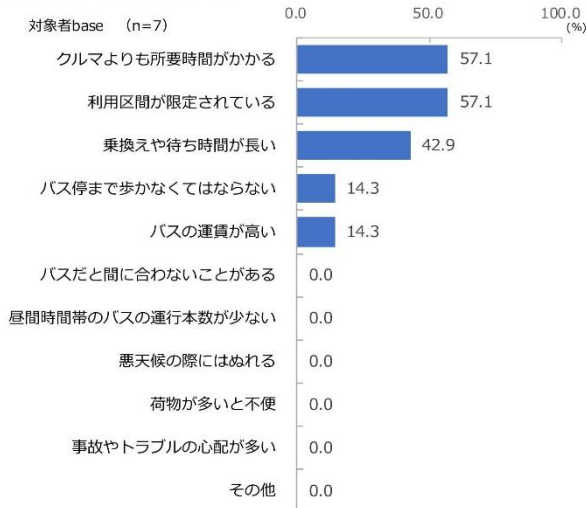


■モニター調査結果/昼間時間バス半額モニター

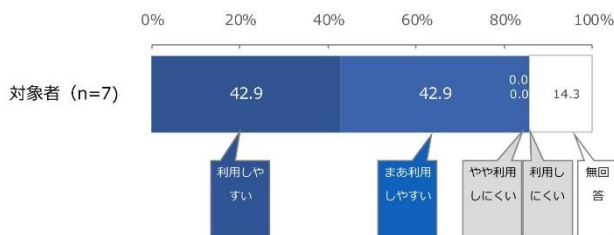
Q12 時間限定の割引定期券の便利点



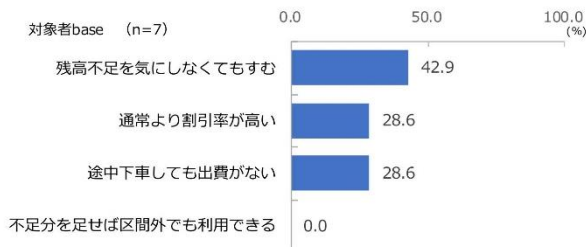
Q13 時間限定の割引定期券の利用しにくい点



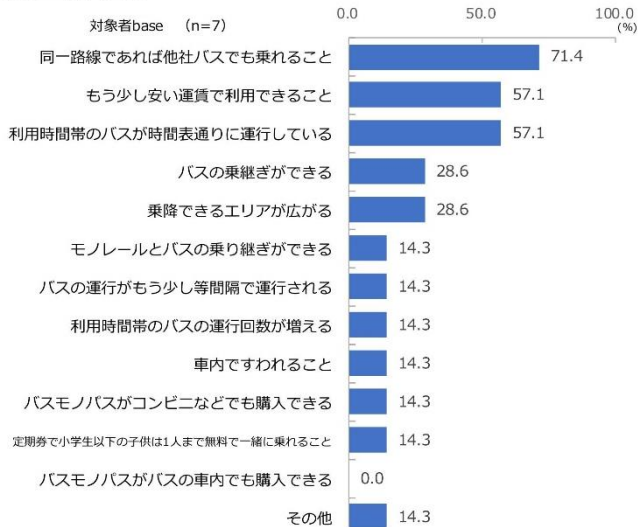
Q14 定期券の利用しやすさ



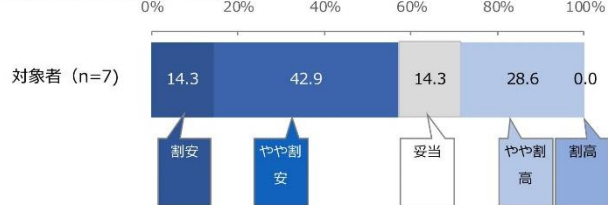
Q15 定期券の便利点



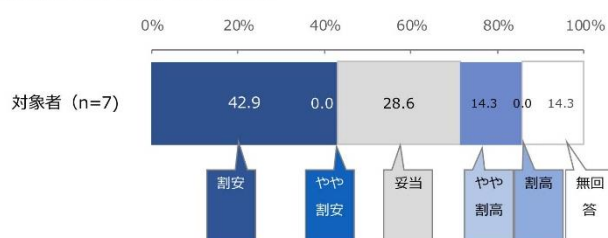
Q16 定期券の改善希望点



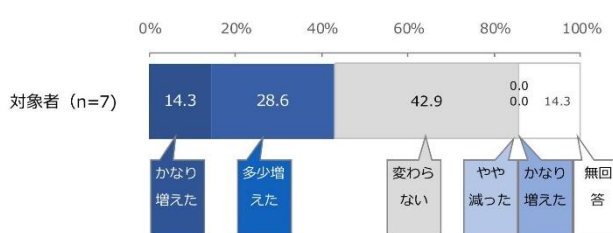
Q17 定期券の通常券面額に対する評価



Q18 定期券の割引額（半額）に対する評価



Q19 昼間時間帯の外出頻度の変化

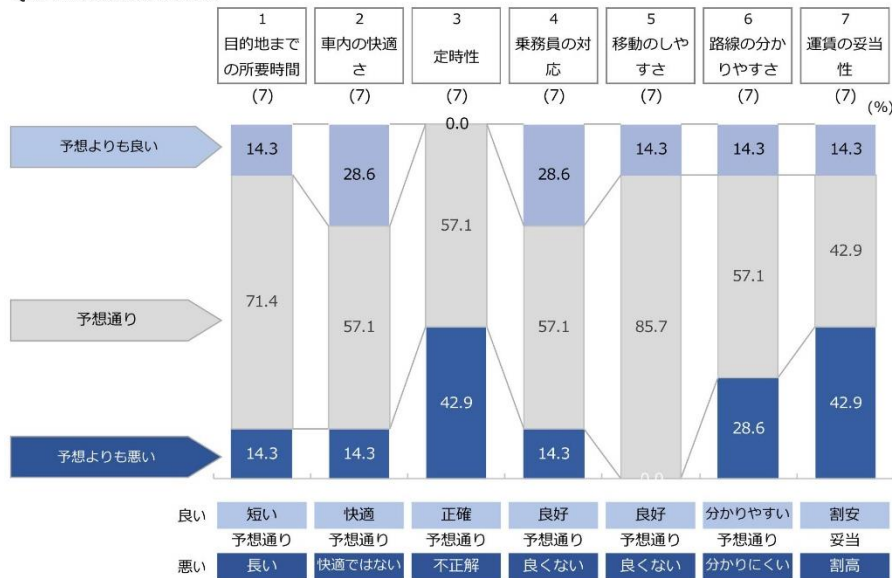


■モニター調査結果/昼間時間バス半額モニター

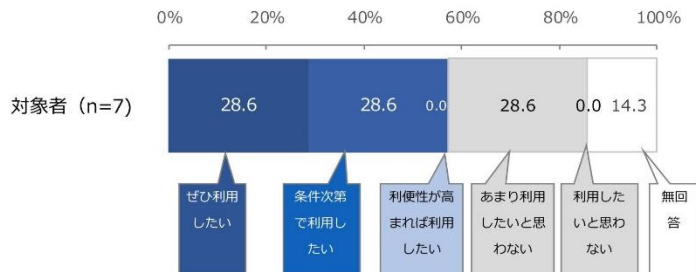
Q20 時間限定の割引定期券の良かった点



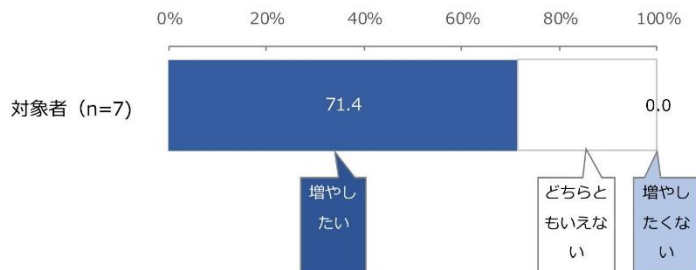
Q21 バス利用前後での評価



Q22 時間限定の割引定期券の今後の利用意向



Q23 時間限定の割引定期券による外出頻度増加意向



■第1回意見交換会/概要

●意見交換会の開催

関係自治体、公共交通事業者及び有識者による第1回意見交換会を実施した。
モニター調査の実施概要の説明、既存拠点立地前後の交通環境の推移を報告した。
※配布資料4は全書「既存拠点立地前後での交通環境の変化」参照。
※別添資料参照。「第1回意見国官界配布資料」(資料7は実施中止となったので省略)

- 開催日時 : 平成28年10月14日(金)16:00~17:30
- 開催場所 : イオンモール沖縄ライカム イオンホールA
- 進 行 : 大井尚司大分大学経済学部准教授
- 出 席 者 : 関係自治体、公共交通事業者、有識者
- 会議内容 : ①モニター調査実施概要・既存拠点立地前後の交通環境推移(沖縄相総合事務局)
②基幹バス構想、P&R、コザ胡屋交通結節点(沖縄県)
③アワセゴルフ場跡地開発(北中城村)
④沖縄都市モノレール延長事業と交通結節点(沖縄県都市モノ課・沖縄都市モノレール)
⑤与那原町説明資料(与那原町)
⑥リニアバスターミナル運用イメージ・エリア別整備イメージ(沖縄市)

主な意見交換のポイント

- 既存拠点の立地前後の交通流動の変化として
「イオンモール沖縄ライカム」開業直後より緩和したが、交通量の増加
「北谷エリア」混雑度は改善傾向
「県立南部医療センター」識名トンネルの開通があり、道路拡幅で混雑度は改善傾向
「宜野湾コンベンションシティ」車利用が中心でイベント開催時には周辺道路の渋滞が慢性化
 - ライカムを公共交通網の新拠点として可能性と役割について
・沖縄県では「那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市地域公共交通総合連携計画」中でバス網再構築ネットワークの理念があるが、効率的な方法が課題となっている。素案としては国道58号線を中心としてルートに対して輸送力が高く定時速達性を備える基幹バスを導入し、周辺地域には基幹バスと結ぶ支線バスを開設してサービスの向上を図るもの。
・アワセゴルフ場跡地は今後徳洲会病院、イオンモール沖縄ライカム、LNGサテライト設備として液化天然ガスタンクが完成予定。また、無電柱化が事業化。多目的アリーナ、隣接して村民体育館、民間のスポーツクラブとの交渉を行っている。伴って、このエリアとイオンモール沖縄ライカム、徳洲会、剣道を歩道橋で結びつける計画である。その後に家やマンションが建設予定されている。
- 路線数の少ないところでは自動車通勤が9割を占めている。ライカムを結節点として公共交通への転換へ繋げるために。利用者層、管理上のトラブル、ライカムとの利害関係について構築を考えている。
- 公共交通利用環境改善の一環として「OKICA」の導入、バスレーンの延長を行っており、現在はバス停のアップグレード化を行っている。
- ライカムの前も混雑しているが、そこに至るまでの道路に関して渋滞箇所があることで定時制の確保につながらない。一体的に拠点とすることで定時速達性が担保できる可能性が高い。
- 既存の施設とタイアップ等を考え、収入性の高いところに資源を投入できるよう、お互いできる範囲の意見を出し合いながら広域で会議を続け発展に結びつけ、今後の発展につなげる。
- 次回以降の意見交換会のテーマについて
・沖縄市コザ～胡屋間に基幹バス、支線バスの相互乗換ができる「リニアバスターミナル」について
・総合結節点と位置付けられているてだこ浦西駅に併設されるパーク&ライド駐車場、サイクル&ライド実証実験について

平成 28 年度 新拠点立地に伴う
公共交通網設定・変更の検討手法に関する意見交換会

開催日時:平成 28 年 10 月 14 日(金)16:00~17:30

場所:イオンモール沖縄ライカム イオンホール A

議 事 次 第

1. 開会
2. 開会挨拶 沖縄総合事務局運輸部企画室 室長 小柳美枝子
3. 出席者紹介
4. 報告(株)アカネクリエーション
 - ・利用促進に向けたモニター調査の実施概要
 - ・既存拠点立地前後での交通環境の推移
5. 「公共交通網のあり方」に関する意見交換 司会:大井尚司大分大学経済学部准教授
 - テーマ1「イオンライカムの交通拠点としての役割について」
 - テーマ2「その他(次回以降のテーマに関連して)」
 - 総括、今後の検討方向性(大井准教授)
6. 閉会

○ 配布資料○

- 【資料 1】 意見交換会次第
- 【資料 2】 意見交換会出席者名簿
- 【資料 3】 意見交換会配席表
- 【資料 4】 (沖縄総合事務局) モニター調査の実施概要
- 【資料 5】 (沖縄総合事務局) 既存拠点立地前後での交通環境の推移
- 【資料 6】 (沖縄県交通政策課) 基幹バス構想、パーク&バスライドについて
- 【資料 7】 (沖縄県交通政策課) コザ、胡屋交通結節点(リニアターミナル)について
- 【資料 8】 (北中城村) 今後のアワセゴルフ場跡地の整備について
- 【資料 9】 (沖縄県都市計画・モノレール課) 沖縄都市モノレール延長事業と交通結節点整備
- 【資料 10】 (浦添市) 交通結節点としての「てだこ浦西駅」について
- 【資料 11】 (与那原町) 与那原町説明資料
- 【資料 12】 (沖縄市) リニアバスターミナル運用イメージ
- 【資料 13】 (沖縄市) エリア別整備計画図

■配布資料2:出席者名簿

【資料 2】

平成28年度「新拠点」立地に伴う公共交通網の設定・変更の検討手法に関する意見交換会出席者名簿

日時：平成28年10月14日（金）16：00～17：30

会場イオンモール沖縄ライカム イオンホールA

区分	所属	役職	氏名
有識者	大分大学 経済学部	准教授	大井 尚司
沖縄県	沖縄県企画部	交通政策課陸上交通班	班長 阿波根 庸夫
	沖縄県企画部	交通政策課陸上交通班	主幹 上間 勝盛
	沖縄県企画部	交通政策課交通企画班	主任技師 平良 義尚
	沖縄県企画部	交通政策課公共交通推進室	主幹 寺本 美幸
	沖縄県土木建築部	都市計画・都市モノレール課企画班	班長 高嶺 賢巳
	沖縄県土木建築部	都市計画・都市モノレール課企画班	主任技師 照屋 洋八
自治体	那覇市	都市計画部 都市計画課	主任技師 小濱 厚志
	浦添市	都市建設部 都市計画課	係長 仲村 正夫
	浦添市	都市建設部 都市計画課	技師 神島 さゆり
	沖縄市	建築部 都市整備室 都市計画担当	技査 玉城 一司
	沖縄市	建築部 都市整備室 都市計画担当	技師 古川 領
	北谷町	企画財政課	企画調整係長 勢理客 一之
	北谷町	企画財政課	主任主事 田仲 康人
	西原町	企画財政課	主任主事 上野 良太
	西原町	都市整備課	課長 小橋川 生三
	西原町	都市整備課	主事 與那嶺 良也
	西原町	都市整備課	技師 宮平 雅広
	与那原町	企画政策課	課長補佐 山城 司
	与那原町	企画政策課	主事 山城 脩人
	北中城村	企画振興課	課長 石渡 一義
	北中城村	企画振興課	企画係長 名幸 真理
	中城村	企画課	課長 与儀 忍
	中城村	企画課	企画調整係長 新屋敷 幸龍
	（一社）沖縄県バス協会	庶務兼業務課	課長 高江洲 誠
団体・事業者等	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通		取締役部長 上地 清
	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通	業務部	部長 真栄城 朝雄
	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通	業務部	次長 大城 幸和
	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通	業務部	係長 仲間 直克
	沖縄バス(株)		常務 親川 武司
	沖縄バス(株)	運輸部業務課	係長 名嘉山 敬雄
	沖縄バス(株)	運輸部業務課	主任 屋宜 宣史
	東陽バス(株)		常務取締役 普久原 朝啓
	東陽バス(株)	運輸部	運輸次長 比嘉 良尚
	東陽バス(株)	運輸部	運輸係長 大嶺 貴史
	沖縄都市モノレール(株)	業務部延長担当	参与 仲村 守
	沖縄都市モノレール(株)	業務部	部長 崎濱 猛
	沖縄ICカード(株)		管理部長 岩尾 修二
	沖縄ICカード(株)	企画部	高嶺 綾
	イオンモール(株)	イオンモール沖縄ライカム	渉外部長 仲宗根 茂
	イオンモール(株)	イオンモール沖縄ライカム	オペレーションマネージャー 青柳 亮
内閣府沖縄総合事務局	内閣府沖縄総合事務局	運輸部陸上交通課	課長 玉城 秀夫
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	室長 小柳 美枝子
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	室長補佐 伊志嶺 友浩
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	企画第二係長 友利 早苗
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	係員 大山 一平
出席者人数			46

日時：平成28年10月14日（金） 16:00-17:30

会場：イオンモール沖縄ライカム イオンホールA

70

利用促進に向けたモニター調査の実施概要

- 公共交通ネットワークの維持に向け、「交通弱者」である学生・高齢者層や昼間時間帯の利用掘り起こし策を検討する。
- 金銭的なインセンティブ提供をきっかけとした公共交通の利用促進策の受容性を検証。
- 日常の買い物・用事や通学時の利用体験を通じて利便性を体感してもらい、利用転換の受容性を検証。

バス停表記 チェック モニター	● ICカード5000円を提供。 ● 那覇市内2カ所、市外3カ所の商業施設や観光施設を路線バスで移動。 ● バス停の表記をみて、速やかに目的地までの系統、ダイヤ、運賃、降車地などが判読できるか、利用者の視点でチェック。 ● バス停での情報提供の改善につなげるのが狙い。
---------------------------------------	---

昼間時間帯 半額 モニター	● 希望区間の1か月定期券を半額で提供。 ● 乗車率が落ちる市外線の昼間(10~16時台)の運賃を優遇し、定期的な「お出かけ促進」につなげるのが狙い。
-------------------------------------	--

シルバー層向け バスモノパス 利用モニター	● 高齢者(65歳以上)を対象に、那覇市内線バスとモノレールが1日乗り放題の乗車券を半額で提供。 ● 7日分を購入してもらい、1か月の間に利用。公共交通を利用した移動やバスとモノレールの乗り継ぎを体験してもらい、シルバー層の「お出かけ促進」につなげるのが狙い。
---	---

高校生向け 通学定期 半額モニター	● マイカー送迎通学の高校生を対象に、1か月学生定期券を半額で提供。 ● バス通学の利便性を体験してもらい、マイカー送迎からの転換につなげるのが狙い。
---	--

10~11月にかけて、モニターを実施予定

バス網再構築計画のネットワークイメージ

【資料6】

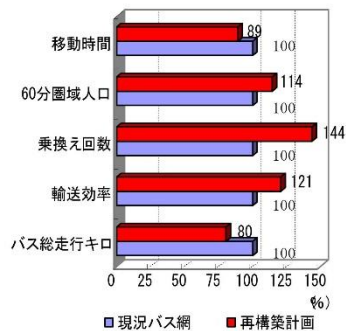
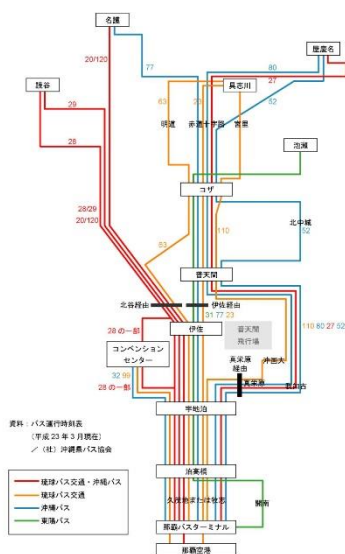
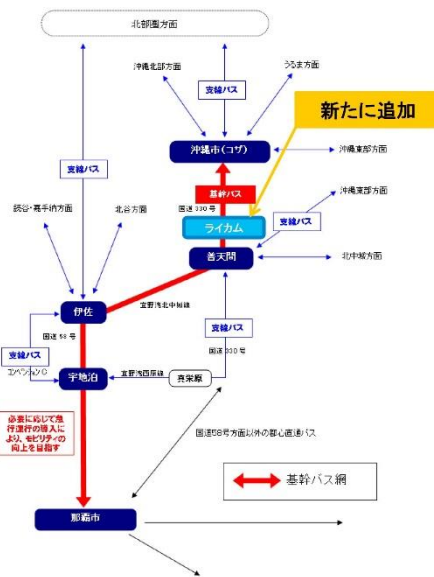


図 バス網再構築の効果
<現況を100とした場合の効果>

基幹バスシステムのイメージ



現状の国道58号方面のバス系統 (那覇～宇地泊間を通る系統)



国道58号を中心とした基幹バスシステムのイメージ

パーク&バスライドの検討

- 那覇市内への通勤時の移動手段を自家用車から公共交通利用へ転換し交通渋滞を緩和するため、宜野湾市普天間以北において、パーク&バスライドを検討している。
- 公共交通網が不十分な地域(沖縄市泡瀬近辺)を対象に、バスレーンが利用できる基幹バスルート沿線の駐車場からバスに乗り換えることで利便性の高い、快適な移動手段を確保する。

公共交通と連携したTDM施策の推進



今後のアワセゴルフ場跡地の整備について

ー北中城村アワセ土地区画整理事業ー

省CO²と防災機能を兼備した**官民一体型**の街づくり

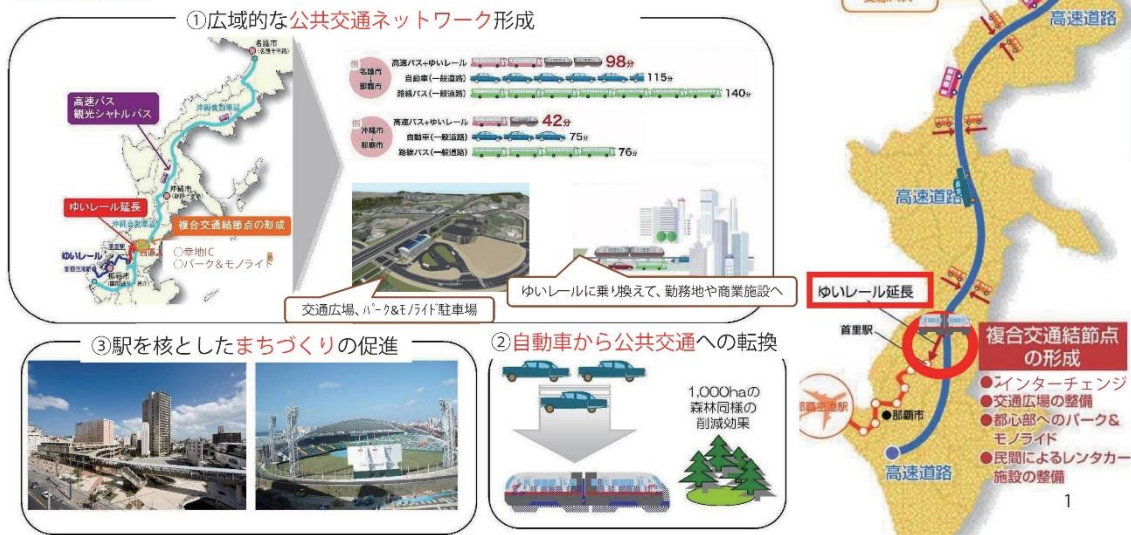


沖縄都市モノレール延長事業

延長の目的 ①中北部地域を含めた広域的な公共交通ネットワークの形成を図る。

②ゆいレールの利便性を向上させ、自動車から公共交通への交通手段転換を促進させる。

延長の効果



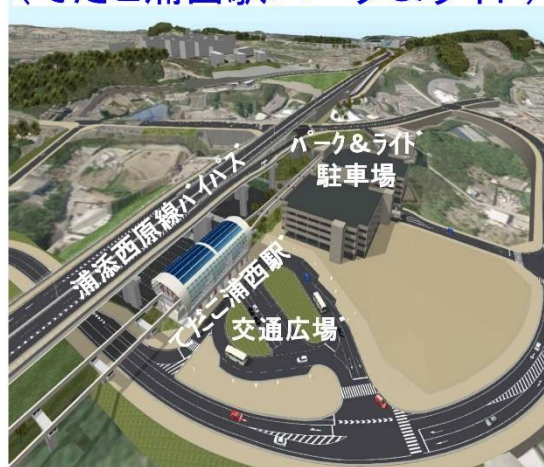
交通結節点の整備

○終点であるてだこ浦西駅は、新設する幸地インターチェンジにより沖縄自動車道結節させ、1,000台規模のパーク&ライド駐車場や交通広場を整備し、中北部からの自動車交通をモノレールに転換をすることで、那覇都市圏の渋滞緩和に寄与することを目的としています。

(幸地インターチェンジ)



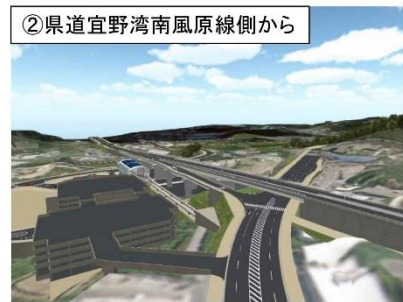
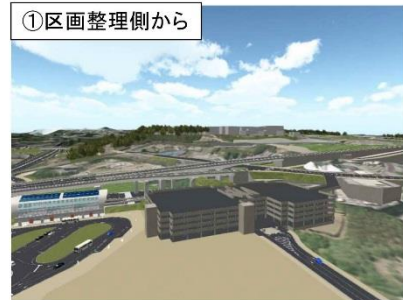
(てだこ浦西駅パーク&ライド)



- ・H28年度に駐車場実施設計
- ・H31年春、モノレール延長区間開業に合わせて供用予定

交通結節点の整備

〇てだこ浦西駅パーク&ライド駐車場 位置図及び完成予想図



交通結節点としての「てだこ浦西駅」について

平成28年10月14日(金)
浦添市都市建設部都市計画課

『浦添市交通基本計画 (H23.10)』より、浦添市内の各交通結節点の機能及び整備イメージ等をふまえた交通結節点の配置は下図の通りとなる。てだこ浦西駅は、モノレール延長区間の最終駅となることから「総合交通結節点」として位置づけられている。

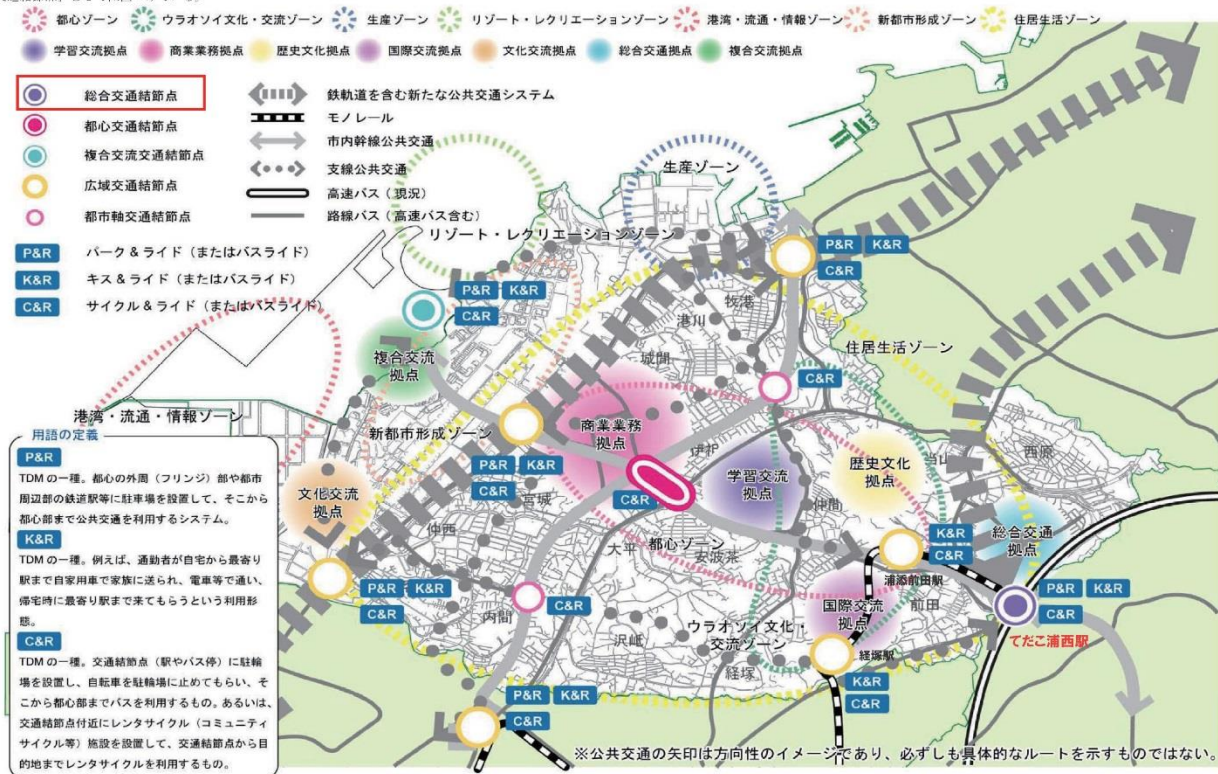
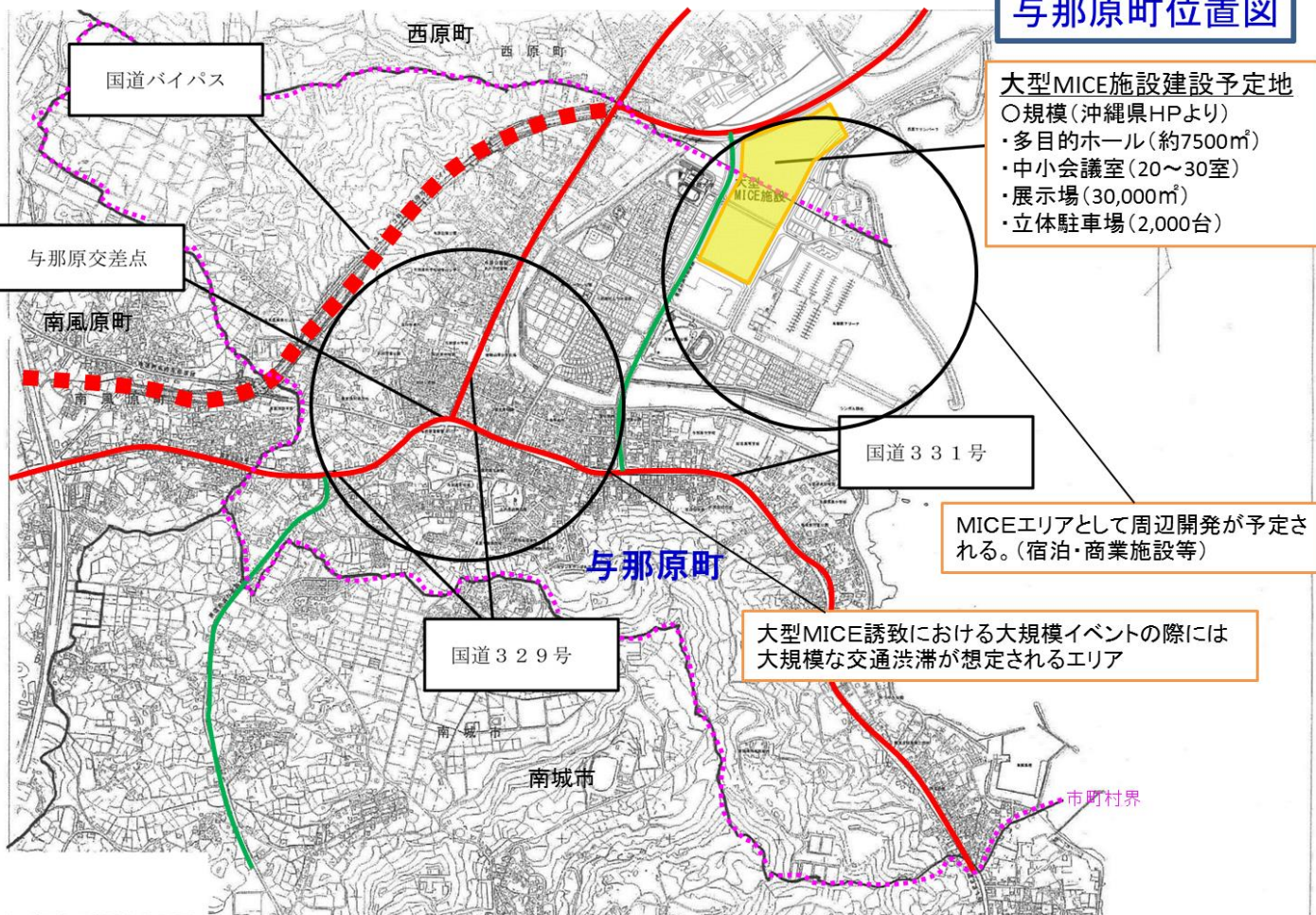


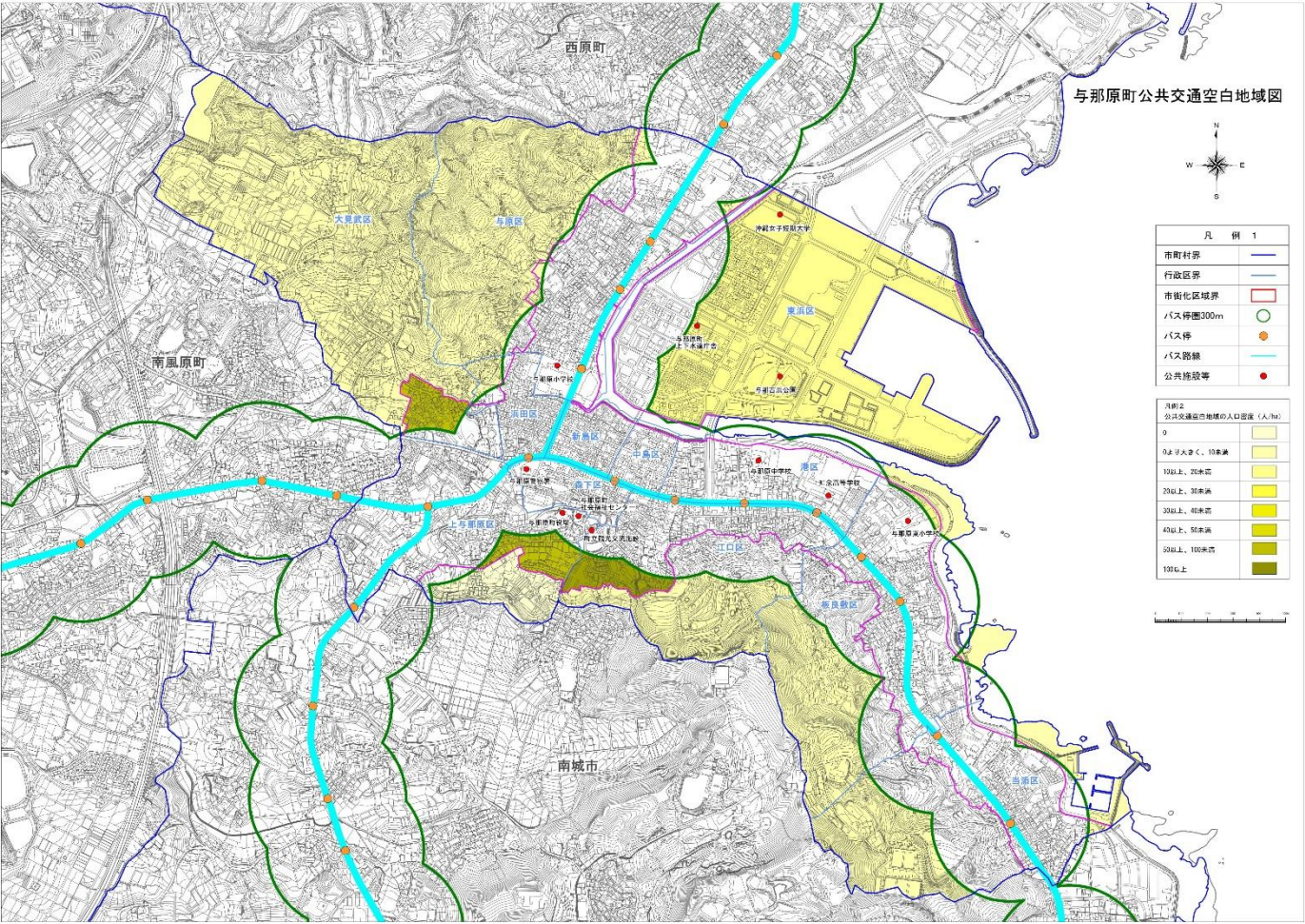
図 交通結節点 (H23 浦添市交通基本計画より)

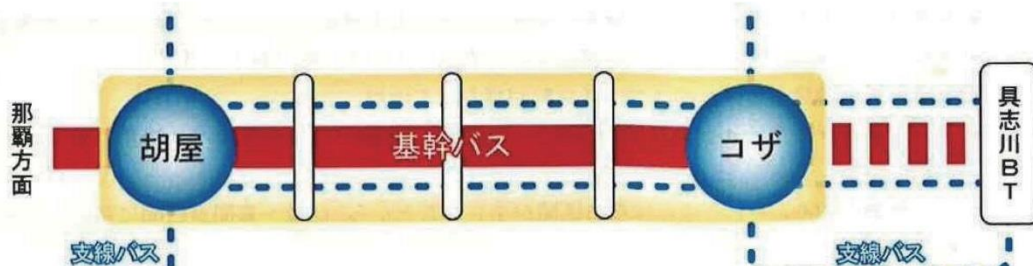
与那原町位置図



与那原町総合交通基本計画(案) I 基本計画の概要 II 現状および課題 平成 28 年 10 月 14 日 与那原町	— 目次 — I 基本計画の概要 1. 計画の目的、位置づけ、背景 1 2. 計画の目標年次 3 3. 上位・関連計画の整理 4 II 現状および課題 1. 与那原町の概要（位置、地勢、沿革等） 13 2. 与那原町の現状 16 3. 交通に係る現状 33 4. 交通に係る課題 52 * 以上、本会議での報告・議事 * 以下、第 2 回で報告・検討 III 交通に係るまちづくりの将来像 1. 基本理念・基本方針 2. 将来のまちづくりにおける交通体系の検討（町内および広域） 3. 将来交通公共ネットワーク（町内および広域） 4. 将来道路交通ネットワーク（町内および広域） 5. その他の交通体系（海上・航空等） IV 目標の設定 1. 基本目標 2. 目標と評価について V 目標達成の施策 1. 将来像の実現に向けた必要施策の検討 2. 実現に向けた取り組み 3. 評価・検証・改善の仕組み
--	---

■配布資料11:(与那原町)3.与那原町公共交通空白地域



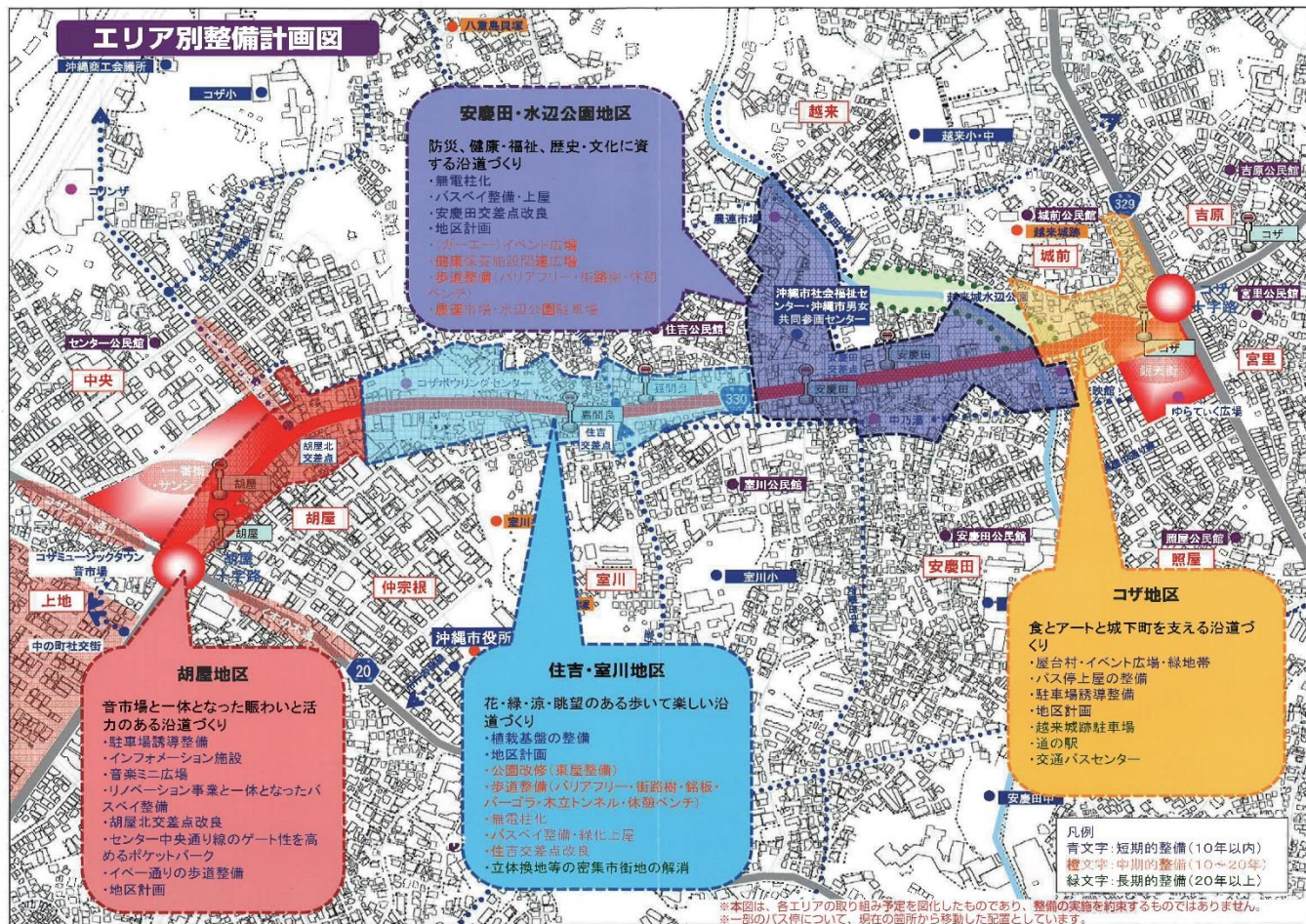


- 基幹バスは、那覇～コザ間で高いサービスレベルを確保（コザ以北は支線バスや通常バスと同水準）
- 胡屋～コザ間の全ての停留所において、相互の乗り継ぎを可能とする
- 停留所間隔は、約 300m 程度に設定
- リニアバスターミナル区間内の移動は特定料金（ワンコイン、無料等）とし、中心市街地の短距離の移動手段を確保

※リニアバスターミナルは、沖縄本島中南部都市圏総合交通戦略で位置づけ
 ※上記イメージは、現在の検討経緯を踏まえて事務局が作成

図 リニアバスターミナル運用イメージ

平成24年度 公共交通活性化に関する調査業務(平成25年3月)
 沖縄県公共交通活性化推進協議会より



■第1回意見交換記録写真



第2回意見交換会:「交通結節点の利用性向上」に関する意見交換

開催日時 : 平成29年1月18日(水)14:00~15:30
開催場所 : 浦添市産業振興センター・結の街 3F 大研修室
進行 : 大井尚司大分大学経済学部准教授
出席者 : 沖縄県交通政策課、北中城村、沖縄市、公共交通事業者、有識者
会議内容 : ①利用促進モニター調査報告(沖縄総合事務局)
②那覇空港から路線バス利用促進調事業説明(沖縄総合事務局)
③公共交通環境イノベーション事業説明(沖縄総合事務局)
⑤「わった〜バス党」座談会(沖縄県)
⑥「サイクル&バスライド」実証実験(浦添市)

主な意見交換のポイント

- 利用促進モニター調査報告
 - ・「バス停表記チェックモニター」基本的な時刻、最寄バス停は現行のバス停でおおむね判別できるがモニターが重視する路線図、目的地までの所要時間の目安は現行のバス停ではわからない。
 - ・「マイカー通学高校生モニター」利用しやすいが、乗換、待ち時間、運行回数、運賃に足して課題。
 - ・「バスモノパス」シニア半額モニター」外出機会の増加、路線のわかりやすさ、移動のしやすさに評価。乗務員の対応、快適さへの課題。
 - ・「昼間時間バス半額モニター」時間帯限定に対しての評価を得たが目的地までの所要時間に対して難点として挙げられた。
- 公共交通環境イノベーション事業説明
 - ・沖縄担当鶴保大臣が沖縄の渋滞が人々の生活や経済に悪影響を及ぼしているのではないかと危惧されて有識者懇談会を立ち上げた。
 - ・南城市ではバスの自動運転の実証実験を行った。実現に向けブラッシュアップを行い実現化に向けた技術的な取り組みを行う。
 - ・公共交通の利便性の向上として最新型交通情報端末の導入による交通結節点創出調査を考えている。

イオンモール沖縄ライカムがP&Rの結節点として機能を果たせれば地域振興にもつながるが、今後住居が建設され、車の増加が懸念される。結節点を創出することによってバスの遅延緩和、定時制の確保にもつながる。施設が増えることで起こる道路の要領に限界への対策をセットに検討する必要がある。

ゆいレールのP&R駐車場はどこも満杯。ライカムへ拠点を置くにはライカムへのメリットも考える必要がある。周辺市町村を含めて実証実験的な施策も検討中。

高速バスを使ってP&Rを視野に入れて考えると利用活性化につながる可能性がある。乗継によるバス運行について、ラッシュ時に直通、低需要時間帯はピストン運輸。または直通便を途中から急行バス化し、その後を普通便が追っていく大都市の鉄道のパターンもある。

- 「わったーバス党」座談会について
ドライバーを含めた会や、乗客に対してのマナーアップを含めた項目があると違った視点の意見が出て、利用向上につながるのではないかな。
- 総括
 - ・利用者人口が減ってきている中で、新規ユーザーへのアプローチは必須。今利用可能性のある人に向けた顧客開拓が必要。場合によっては痛みを伴うが、長期的に連携を取りながら議論を重ねていく必要がある。

【資料 1】

平成 28 年度 第 2 回新拠点立地に伴う
公共交通網設定・変更の検討手法に関する意見交換会

開催日時:平成 29 年 1 月 18 日(水)14:00~15:30

場所:浦添市産業振興センター・結の街 3F 大研修室

議 事 次 第

1. 開会
2. 報告
 - 利用促進に向けたモニター調査報告
 - 那覇空港から路線バスの利用促進調査事業説明
3. 概要説明
 - 公共交通環境イノベーション事業について
4. 「交通結節点の利用性向上」に関する意見交換
5. その他取組説明
 - 事例 1「わったーパス党」座談会について
 - 事例 2「サイクル&バスライド」実証実験について
6. 総括、今後の検討方向性
7. 閉会

○配布資料○

- 【資料 1】第 2 回意見交換会次第
- 【資料 2】第 2 回意見交換会出席者名簿
- 【資料 3】第 2 回意見交換会配席図
- 【資料 4】モニター調査報告
- 【資料 5】那覇空港からの路線バスの利用促進調査事業
- 【資料 6】最新型交通情報端末導入等による交通結節点創出調査
- 【資料 7】沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会「中間とりまとめ」の概要
- 【資料 8】公共交通利用増へ向けた座談会
- 【資料 9】浦添市サイクル&バスライド実証実験について（途中報告）

■配布資料2:出席者名簿

【資料 2】

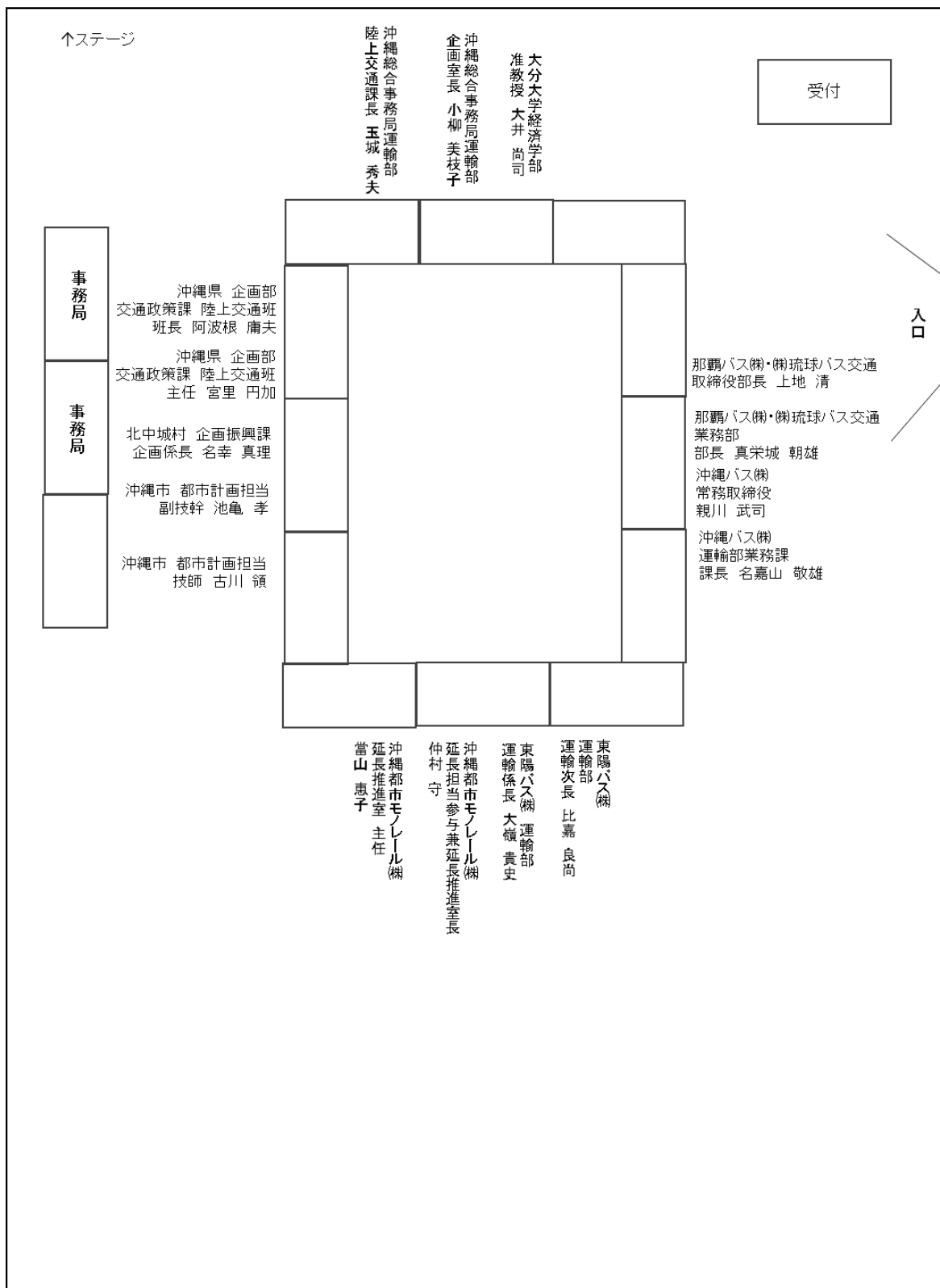
平成28年度 第2回新拠点立地に伴う公共交通網設定・変更の検討手法に関する意見交換会

日時：平成29年1月18日（水）14：00～15：30

浦添産業振興センター・結の街 3F 大研修室

区分	所属		役職	氏名
有識者	大分大学	経済学部	准教授	大井 尚司
沖縄県	沖縄県企画部	交通政策課	陸上交通班長	阿波根 庸夫
	沖縄県企画部	交通政策課	主任	宮里 円加
地方自治体	沖縄市	建築部 都市整備室 都市計画担当	技査	玉城 一司
	沖縄市	建築部 都市整備室 都市計画担当	技師	古川 領
	北中城村	企画振興課		名幸真理
	（一社）沖縄県バス協会	庶務兼業務課	課長	高江洲 誠
団体・事業者等	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通		取締役部長	上地 清
	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通	業務部	部長	真栄城 朝雄
	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通	業務部	次長	大城 幸和
	那覇バス(株)・(株)琉球バス交通	業務部	係長	仲間 直克
	沖縄バス(株)		常務取締役	親川 武司
	沖縄バス(株)	運輸部業務課	課長	名嘉山 敬雄
	東陽バス(株)	運輸部	次長	比嘉良尚
	東陽バス(株)	運輸部	係長	大嶺貴史
	沖縄都市モノレール(株)	業務部	延長担当参与兼延長推進室長	仲村守
	沖縄都市モノレール(株)	延長推進室	主任	當山恵子
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部陸上交通課	課長	玉城 秀夫
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	室長	小柳 美枝子
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	室長補佐	伊志嶺 友浩
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	企画第二係長	友利 早苗
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	係員	大山 一平
			出席者人数	22

■配布資料3:配席図



モニター調査の概要

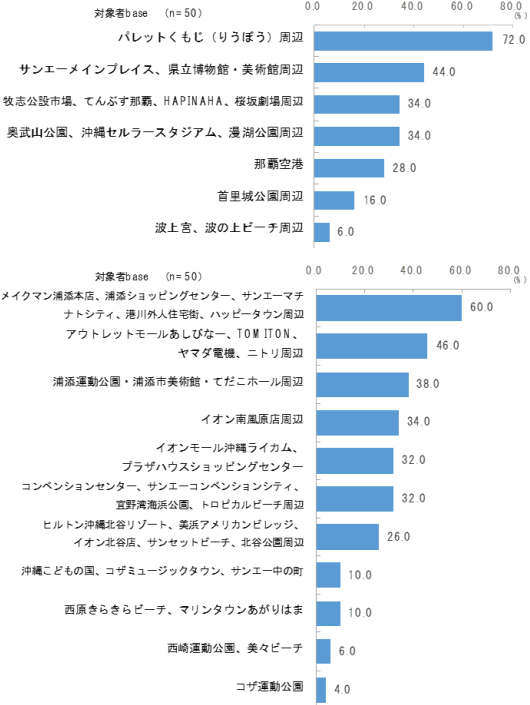
	①バス停表記 モニター	②マイカー通学 高校生モニター	③高齢者 「バスモノバス」 モニター	④昼間時間帯 モニター
目的	現存の商業施設・観光施設の 間を路線バスで移動して、バ ス停で提供されている情報、 表記の判読と利用上の便利 性を明らかにする	マイカー通学の高校生を対象 者として、通学定期券を利用 してもらい、利用促進効果の 検証を行う。	高齢者（65歳以上）を対象者 として、バスモノバス（1,000 円）を7日間利用してもらい、利 用促進効果の検証を行う	公共交通機関の低需要時間帯 （概ね10時～16時）に利用して もらい、利用促進効果の検証を 行う。
概要	那覇市内2カ所、市外3カ所の 商業施設・観光施設をOKICA を利用して、バスで移動し、バ ス停の情報・表記を見て評価 してもらう。	モニターが申告利用区間（一 方が那覇市内の発着点を持 つ区間）に対して、1ヶ月通学 定期券運賃の半額を補助し、 バスを利用してもらう。	那覇バスとゆいレールを利用 可能な地域に在住の高齢者に、 7日分の「バスモノバス」を利用 してもらう。バスモノバスは半 額を補助する。	調査対象者が申告した利用区 間（一方が那覇市内の発着点 を持つ区間）に対して、1ヶ月定 期券運賃の半額を補助し、低 需要時間帯のバスを利用して もらう。
対象者 条件	・那覇市内及び周辺市町村に 在住の20歳から69歳までの 一般住民男女。 ・バス利用経験のない方も応 募可能。	・那覇市内の高校に通う那覇 市外在住の高校生ないしは、 那覇市外の高校に通う那覇 市内在住の高校生。 ・調査期間中に15日以上利用 することを条件とする。 ・対象者となるには、保護者 の同意が必要。	・那覇市内及び周辺市町村に 在住の65歳以上の一般住民男 女。 ・一人で外出可能であることを 条件とする。	・那覇市内及び周辺市町村に 在住の20歳から69歳までの一 般住民男女。 ・調査期間中に10日以上利用 することを条件とする。

1)バス停表示モニター調査

那覇市内2カ所、市外3カ所の商業施設・観光施設をOKICAを利用して、バスで移動し、バス停の情報・表記を見て評価してもらう。

- 那覇市内では「パレットくもじ」「おもろまち」、
市外では「浦添城間」「アウトレットモールあしびなー」
「浦添運動公園」「イオン南風原」エリアの利用が多い。

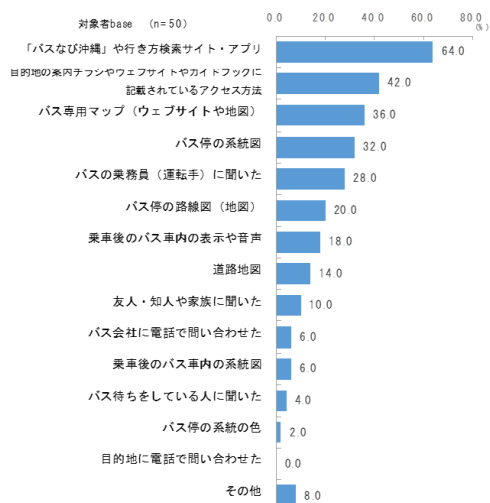
【A 群】 那覇市内 集客施設	① 首里城公園周辺 ② 牧志公設市場、てんぷす那覇、HAPINAH、桜坂劇場周辺 ③ パレットくもじ（りうぼう）周辺 ④ サンエーメインプレイス、県立博物館・美術館周辺 ⑤ 奥武山公園、沖縄セルラースタジアム、漫湖公園周辺 ⑥ 那覇空港 ⑦ 波上宮、波の上ビーチ周辺
【B 群】 那覇市外 集客施設	1. 沖縄こどもの国、コザミュージックタウン、サンエー中の町 2. コザ運動公園 3. イオンモール沖縄ライカム、プラザハウスショッピングセンター 4. ヒルトン沖縄北谷リゾート、美浜アメリカンビレッジ、イオン北 谷店、サンセットビーチ、北谷公園周辺 5. コンベンションセンター、サンエーコンベンションシティ、宜野 湾海浜公園、トロピカルビーチ周辺 6. メイクマン浦添本店、浦添ショッピングセンター、サンエーマチ ナトシティ、港川外人住宅街、ハッピータウン周辺 7. 浦添運動公園・浦添美術館・てだこホール周辺 8. 西原きらきらビーチ、マリンタウンあがりはま 9. アウトレットモールあしびなー、TOMITON、ヤマダ電機、ニト リ周辺 10. イオン南風原店周辺 11. 西崎運動公園、美々ビーチ



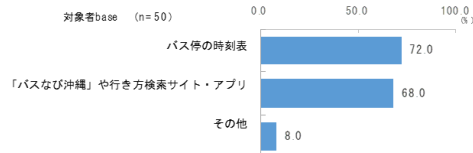
1)-1. 運行情報確認方法

- 乗車経路は「バスなび沖縄」などの検索サイト・アプリ、施設の案内ツール、バスマップの利用が多い。
- 時刻はバス停および検索サイト、運賃は乗車後の車内表示での確認が中心。
- モニターの7割強が「バスなび」サービスを利用。

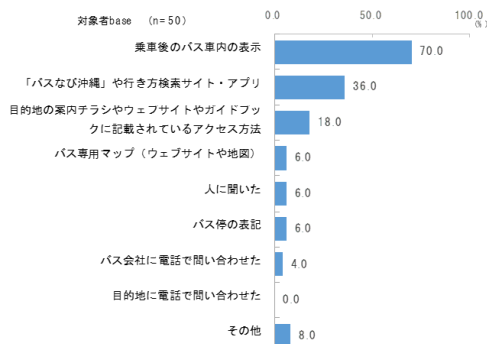
◇目的地までの乗車経路の調べ方



◇バス時刻の調べ方



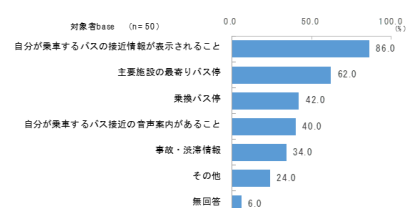
◇運賃の調べ方



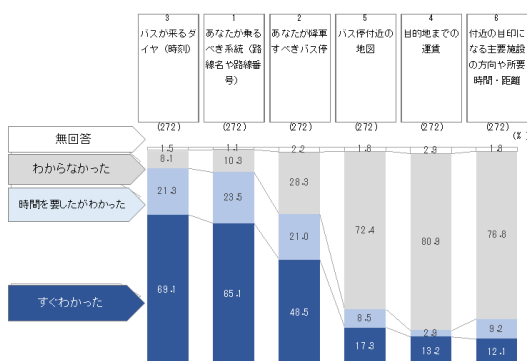
1)-2. バス停表記での情報判別・見やすさ評価

- 「運行ダイヤ」「系統・路線番号」「降車バス停」については、概ね判別できるとの評価。
- 「所要運賃」や「周辺地図」「ランドマーク情報」は判別できない。
- バス停名や前後のバス停、乗車可能な系統名・路線名と時刻表など、基本的な情報については概ね「見やすい」との評価。
- ルートや路線図など目的地への移動を確認する情報については評価が低い。
- 当然ながら、リニューアルされたバス停の方が評価は高い。
- 「バスの接近情報」「主要施設の最寄りバス停」「乗り換えバス停」へのニーズが高い。

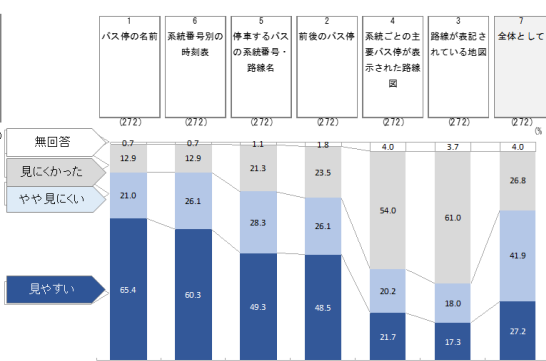
◇バス停で必要な表示情報



◇バス停表記の情報確認評価（乗車バス停利用機会ベース）

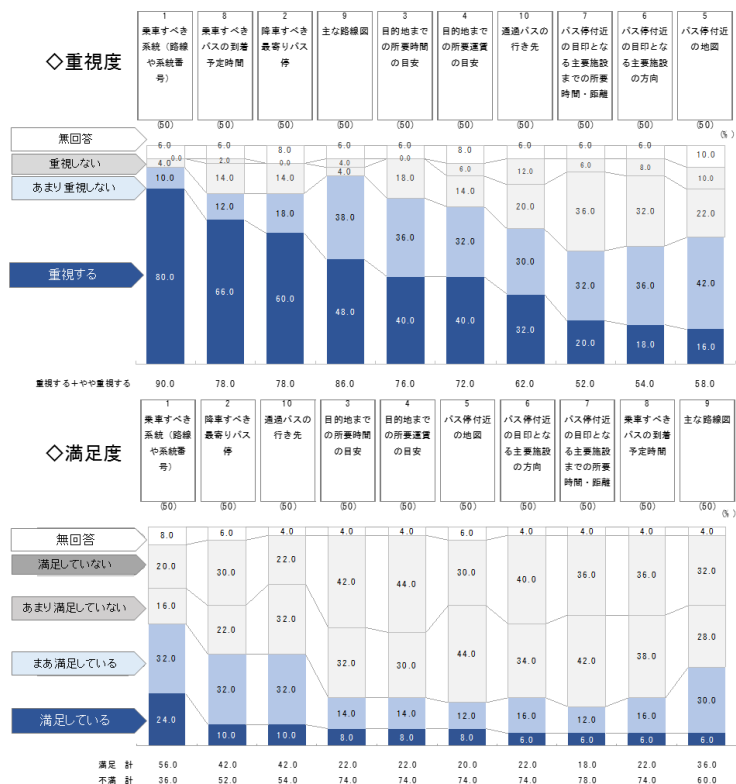


◇バス停表記の見やすさ評価（乗車バス停利用機会ベース）



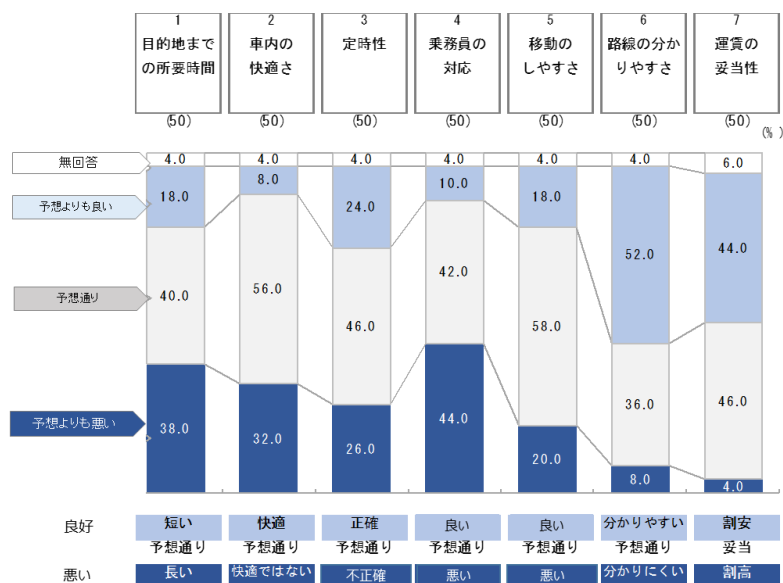
1)-3. バス停表示の満足度評価

- 重視度が高い「系統」「最寄りバス停」については一定の満足が得られている。
- 「到着予定時刻」「所要時間の目安」「路線図」「所要運賃」はニーズが存在するにもかかわらず、十分な満足が得られていない。



1)-4. 利用前後のバス利用利便性評価

- 利用前の予想よりも評価されたのは「路線の分かりやすさ」「運賃の妥当性」
- 評価が低かったのは「乗務員の対応」「所要時間」「車内の快適さ」
- 「定時性」や「移動のしやすさ」については評価が分かれる。



■配布資料4: モニター調査結果

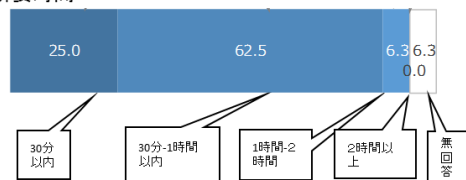
2) マイカー通学高校生モニター調査

マイカー通学(片道も含む)を行なっている高校生に対象者が申告した利用区間(一方が那覇市内の発着点を持つ区間)の定期券で1ヶ月バスを利用してもらおう。運賃の半額を補助。

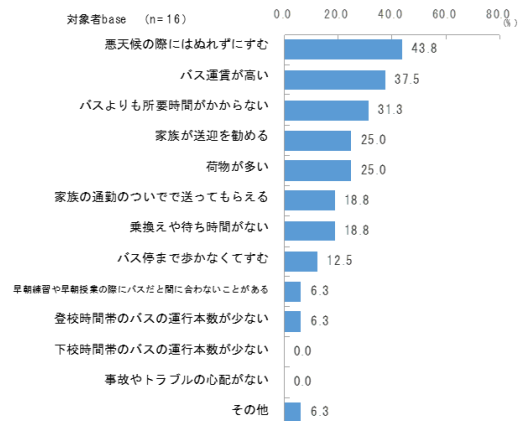
ID	乗車停留所	降車停留所	登校時(時)	下校時(時)	高校名
1	比屋根	コザ高校前	8時	17時	コザ高校
2	興南高校前	棚原入口	7時	17時	西原高校
3	坂下琉生病院前	棚原入口	7時	16時	西原高校
4	志真志	若夏学院前	7時	16時	首里東高校
5	港川	普天間	6時	18時	普天間高校
6	美里二丁目	普天間	8時	19時	普天間高校
7	与儀十字路	浦添小学校入口	7時	19時	浦添商業高校
8	北谷	伊良皆	6時40分	18時~19時	東立読谷高校
9	那覇メインプレイス	真玉橋	6時	20時	那覇国際高校
10	翁長入口	那覇高校前	6時30分	19時40分	那覇高校
11	潮平	那覇高校前	6時	4~18時	那覇高校
12	阿波根	那覇高校前	7時	22時	那覇高校
13	屋富祖	那覇高校前	7時	19時	那覇高校
14	那覇高校前	高安	7時	18時	那覇高校
15	那覇高校前	第二城間		19時20分	那覇高校
16	那覇高校前	県営屋宜原団地入口		20時	那覇高校

◇通学の所要時間

対象者 (n=16)

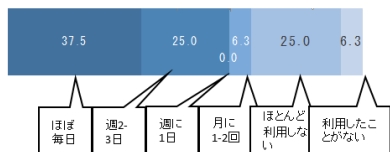


◇自家用車送迎をする理由(複数回答)



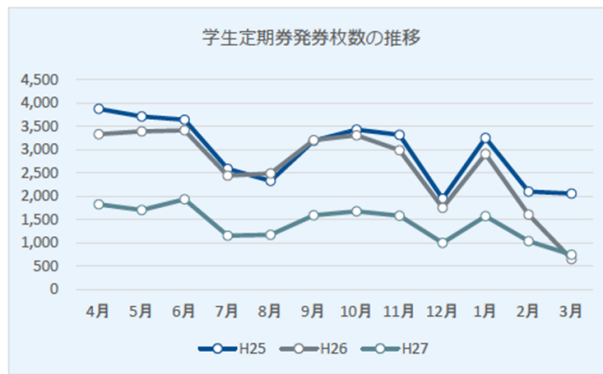
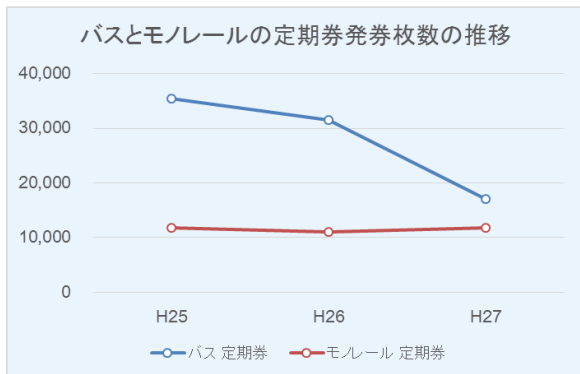
◇通学時に家族の自家用車送迎を利用する頻度

対象者 (n=16)



2)-1. 現行の学生定期券利用状況

- バスではOKICA導入後、利用者が減少している。
- 一方、モノレールは上向きに転じている。
- いずれも学期初めでの購入が多い。

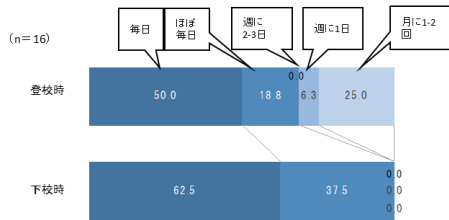


■配布資料4: モニター調査結果

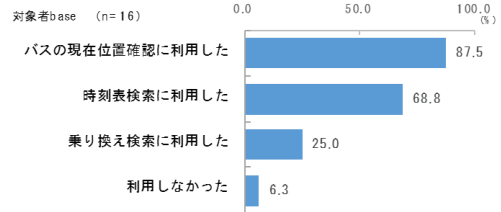
2)-2 バスの利用頻度・サイト・SFの利用状況

- モニター期間中は概ねバス通学だが、登校時は悪天候や親の送迎によりマイカー通学を利用。
- バス利用時には大半が「バスナビ」を利用。

◇モニター時のバス通学頻度

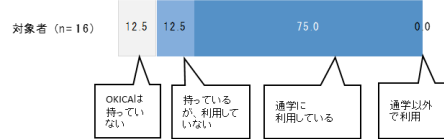
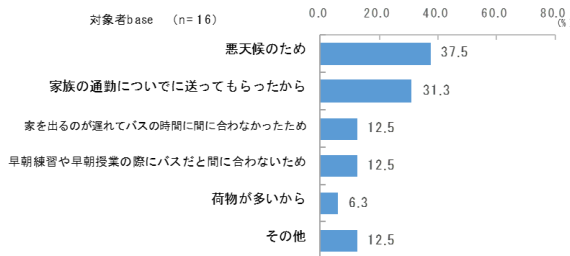


◇モニター期間中のバスナビ利用状況



◇OKICAの利用状況

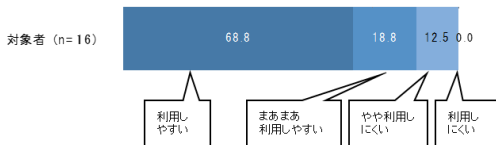
◇バス通学をしなかった理由



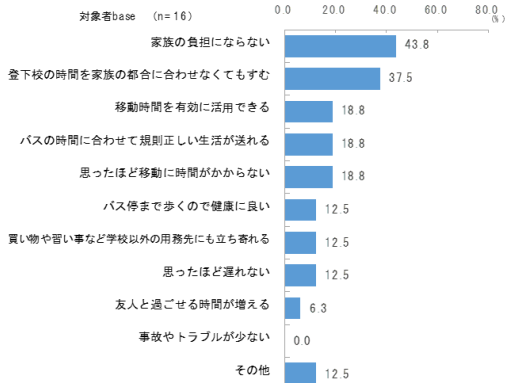
2)-3 バス通学の利用のしやすさ・しにくさ

- 「家族負担軽減」「家族都合に合わせてくすむ」などのバス通学メリットは認識。
- 乗り換え・待ち時間、運行回数、運賃などの利便性改善が課題。

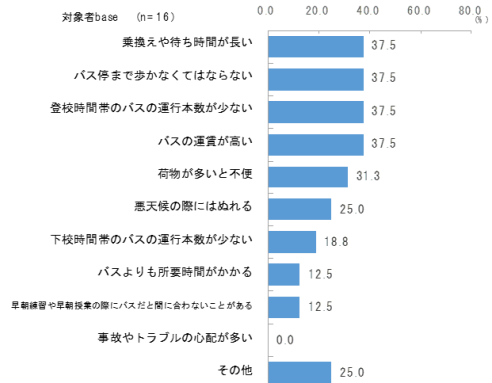
◇バス通学利用のしやすさ



◇利用しやすかった点(複数回答)



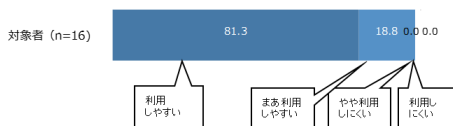
◇利用しにくい点(複数回答)



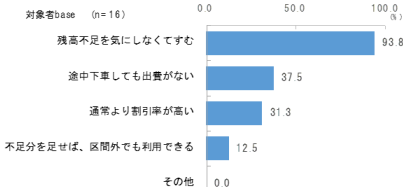
2)-4 通学定期券の評価、改善点

- 「残高不足の心配がない」点など定期券のメリットは認識。
- 運賃の割安感、妥当性も認識。
- 同一路線・同一金額での複数バス会社利用、乗降範囲の拡大などの利便性向上による利用意向が示された。

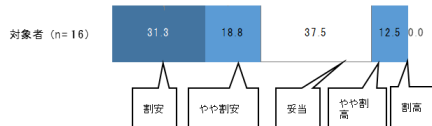
◇現金、OKICAと比べた定期券の利用しやすさ



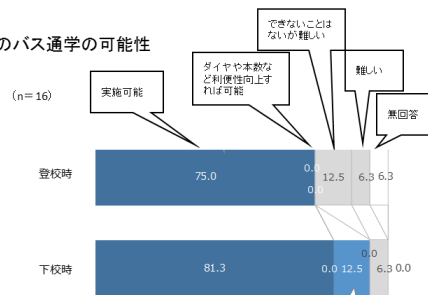
◇通学定期券の便利な点(複数回答)



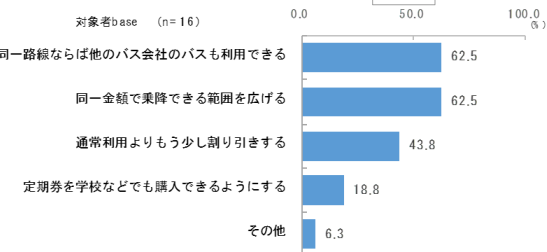
◇通学定期券の割引率(4割引き)評価



◇今後のバス通学の可能性



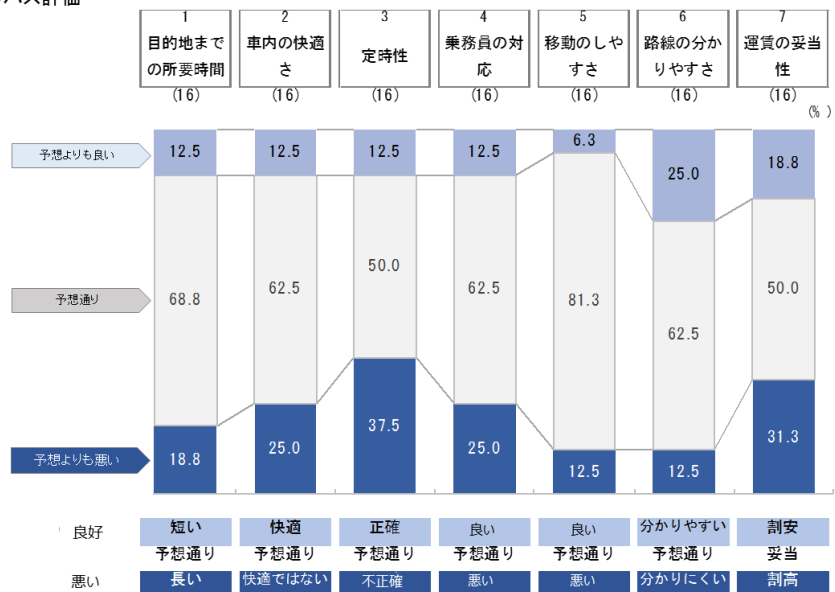
◇もっと利用するための要望点(複数回答)



2)-5 利用前後のバス利用利便性評価

- 利用前の予想よりも評価されたのは「路線の分かりやすさ」
- 評価が低かったのは「定時性」「乗務員の対応」「車内の快適さ」
- 「所要時間」「運賃の妥当性」「移動のしやすさ」については評価が分かれる

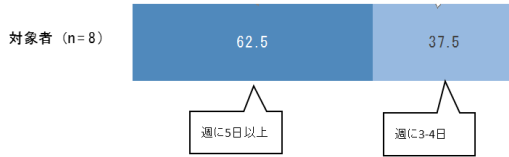
◇バス利用前後のバス評価



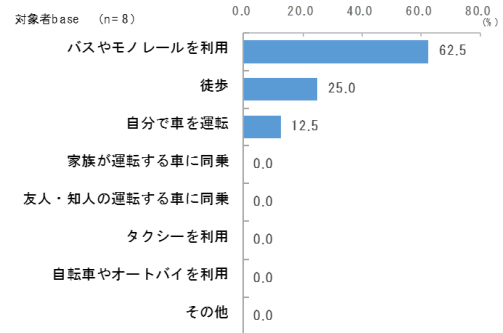
3) 高齢者利用モニター調査

65歳以上の男女一般を対象者として、調査期間中バスモノパス7枚(7日分)を使って、バスやモノレールに乗車してもらう。運賃の半額を補助。

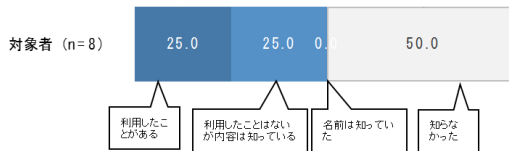
◇普段の外出頻度



◇外出時の交通手段



◇「バスモノパス」の認知

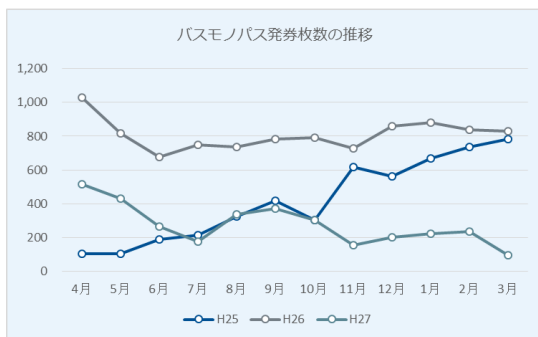


◇バス・モノレールの利用状況

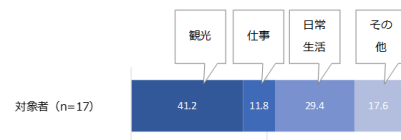


3)-1. 現行のバスモノパス利用状況

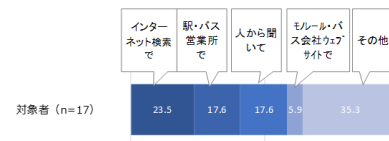
- 観光目的での利用が多いが、県民での日常生活利用も一定数存在。
- H26年までは「ゆいゆい号」運行と合わせての利用プロモーション機会が存在したが、H27年度は運行を休止した関係で、利用者が低下した。



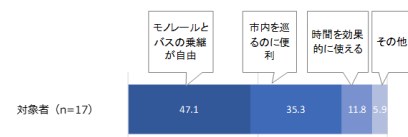
◇利用目的



◇認知経路



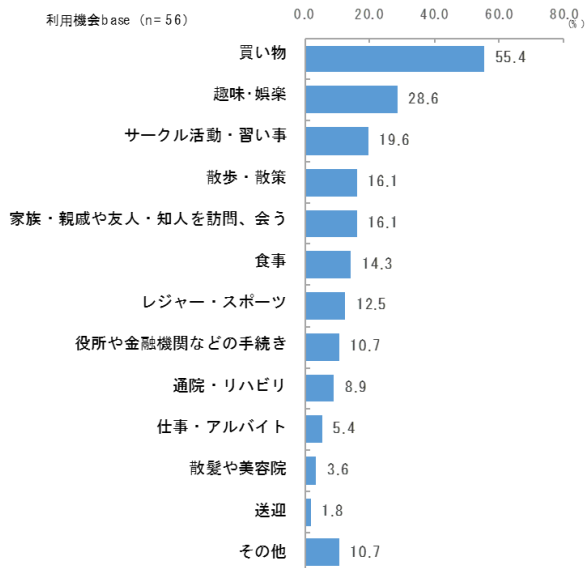
◇利用利点



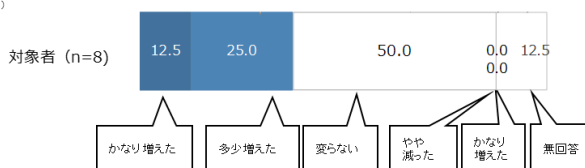
3)-2. バスモノパス利用による外出機会

- 「買い物」での利用が多いほか、趣味・サークル・習い事でも利用された。
- 利用により外出機会が増加。

◇「バスモノパス」の利用用途

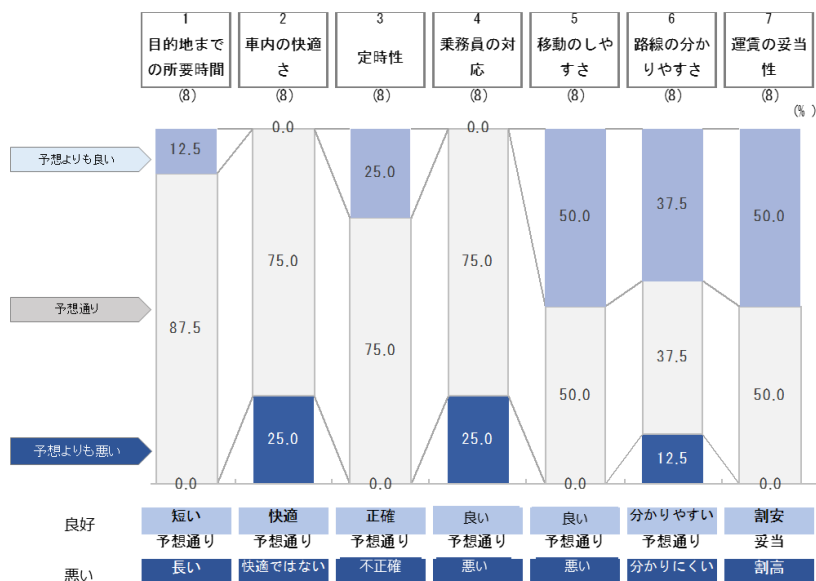


◇利用による外出機会の変化



3)-3. 利用前後のバス利用利便性評価

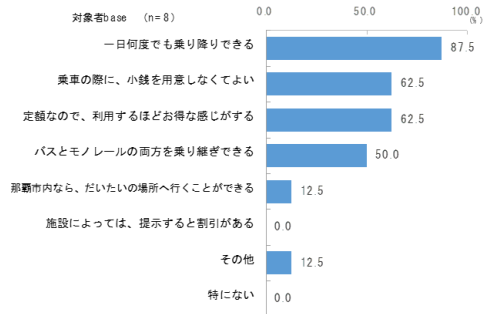
- 利用前の予想よりも評価されたのは「路線の分かりやすさ」「運賃の妥当性」「移動のしやすさ」「定時性」
- 評価が低かったのは「乗務員の対応」「車内の快適さ」



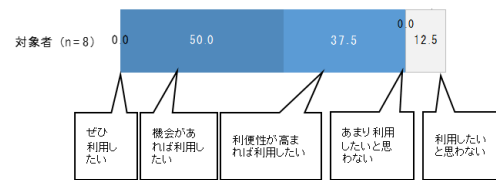
3)-4. バスモノパスのメリット・利用意向・改善要望点

- フリー乗車が最大のメリット。
- 路線拡充、運行回数増加による利便性向上が望まれている。
- 現行の1000円という価格設定には割高感が示された。
- 利便性改善や機会提供での利用意向が示された。

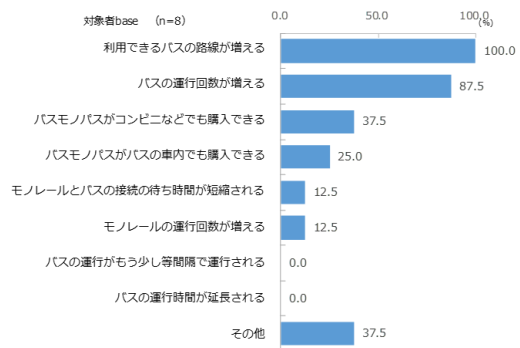
◇バスモノパスの便利点



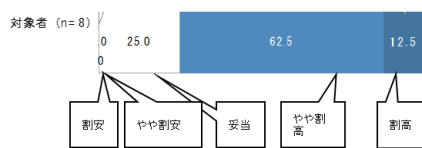
◇今後の利用意向



◇バスモノパスの改善希望点



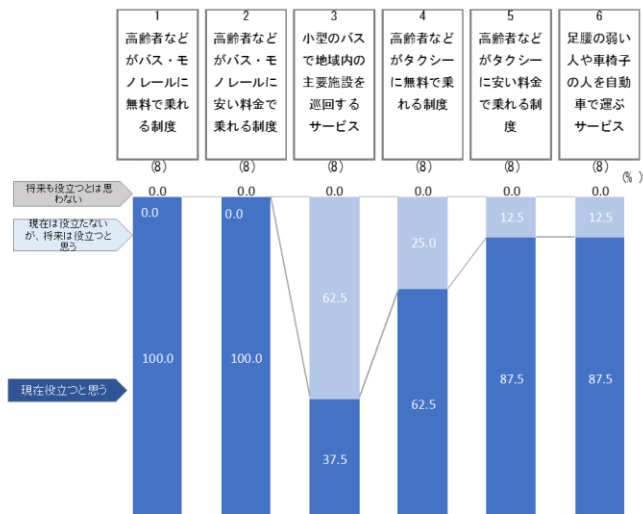
◇バスモノパス(1000円)の金額評価



3)-5. 高齢者向け移動支援サービスに関する評価

- 公共交通機関の無料もしくは優待利用への受容性は高い。
- 介護支援移動サービスについても受容性は高かった。

◇高齢者向けに移動を支援する制度・サービスに対する評価

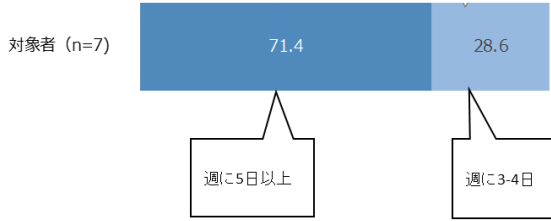


■配布資料4: モニター調査結果

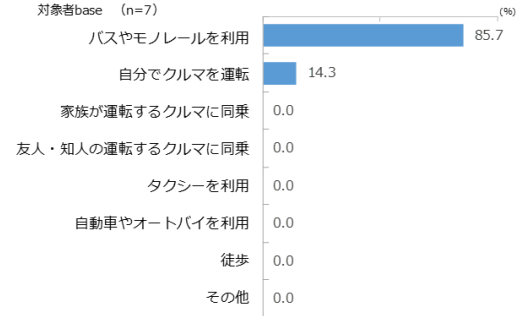
4) 昼間時間帯モニター調査

公共交通機関の低需要時間帯(10時～16時)に対象者が申告した利用区間(一方が那覇市内の発着点を持つ区間)の定期券で1ヶ月バスを利用してもらう。定期運賃の半額を補助。

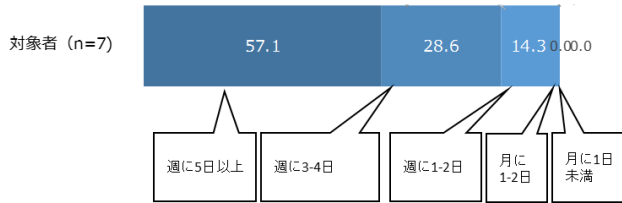
◇昼間時間帯(概ね午前10時～午後4時頃)の外出頻度



◇外出時の交通手段



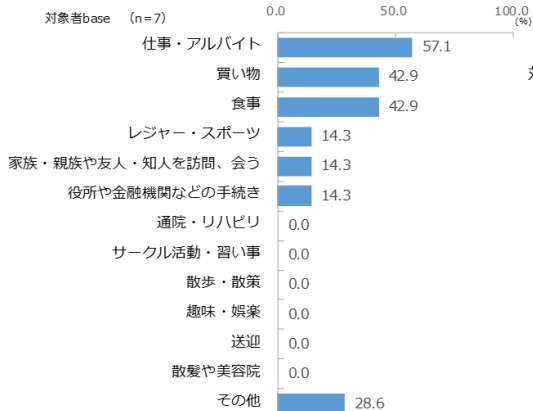
◇バス・モノレールの利用頻度



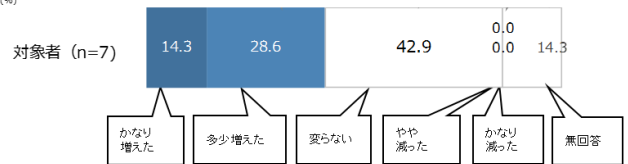
4)-1. 昼間時間帯の外出機会

- 仕事・アルバイトでの利用者が多い。これに次いで買い物・食事。
- 利用による外出機会は増加。

◇昼間時間帯の利用用途



◇利用による外出機会の変化

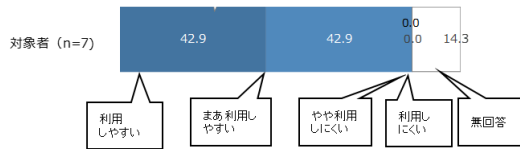


■配布資料4: モニター調査結果

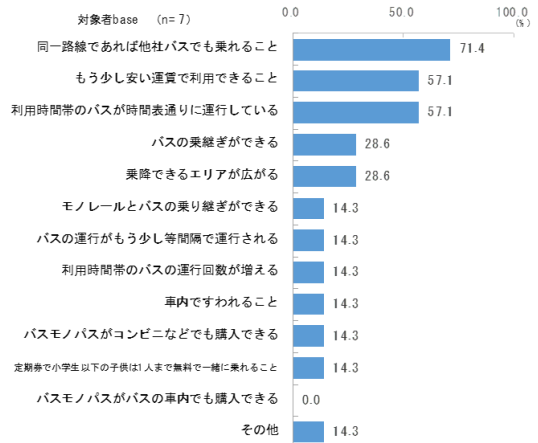
4)-2. 定期券利用の利便性評価・利用意向

- 「残高不足の心配がない」点など定期券のメリットは認識。
- 運賃の割安感、妥当性も認識されているものの、一層の割引ニーズも高い。
- 同一路線での複数バス会社利用、定時性などの利便性向上が望まれている。

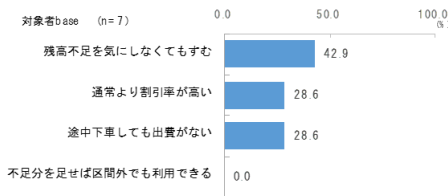
◇定期券の利用しやすさ



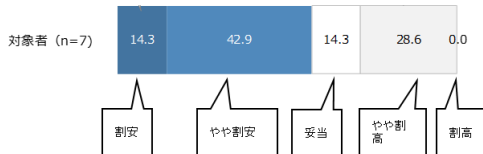
◇改善要望点(複数回答)



◇定期券の便利点(複数回答)



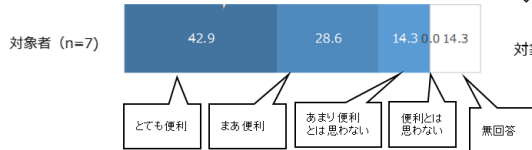
◇定期券の割引率評価



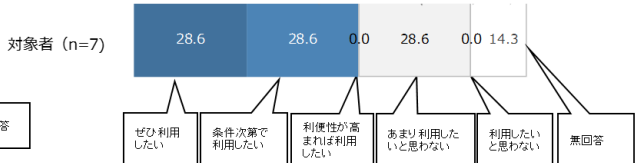
4)-3. 時間限定割引定期券のメリット・利用意向・改善要望点

- 一日で何度も使える点や、途中下車が可能な点が評価された。
- 利用意向も半数近く存在するが、バスそのものの速達性改善に加え、利用区間拡充など利便性向上が望まれている。

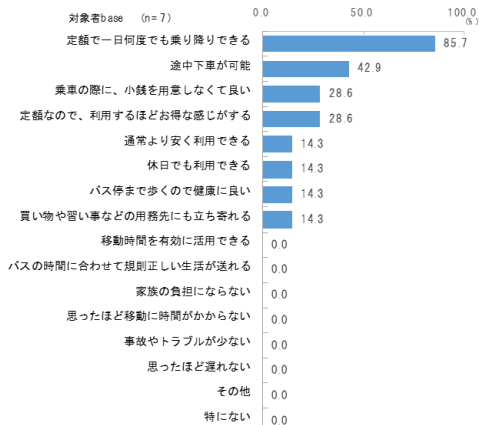
◇時間限定割引定期券の利便性評価



◇今後の時間限定割引定期券の利用意向



◇時間限定割引定期券の便利点(複数回答)

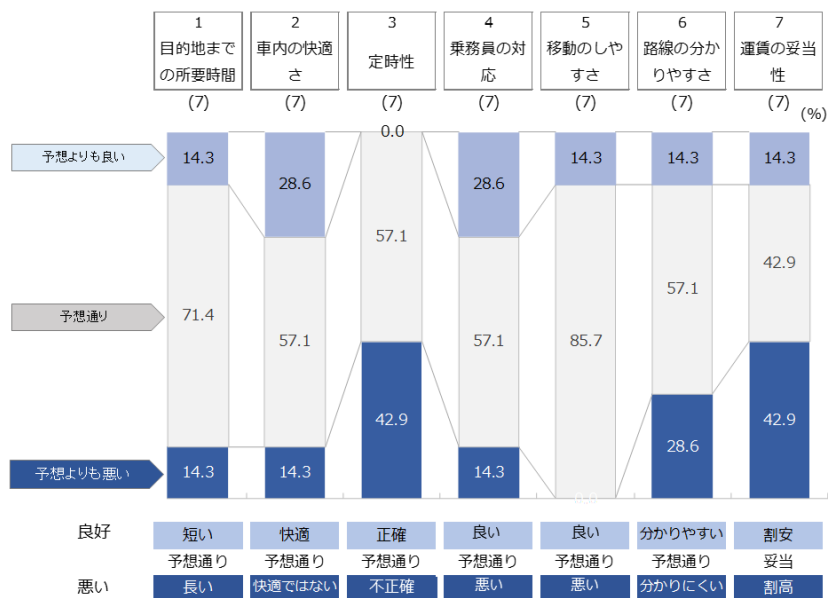


◇時間限定割引定期券の改善希望点(複数回答)

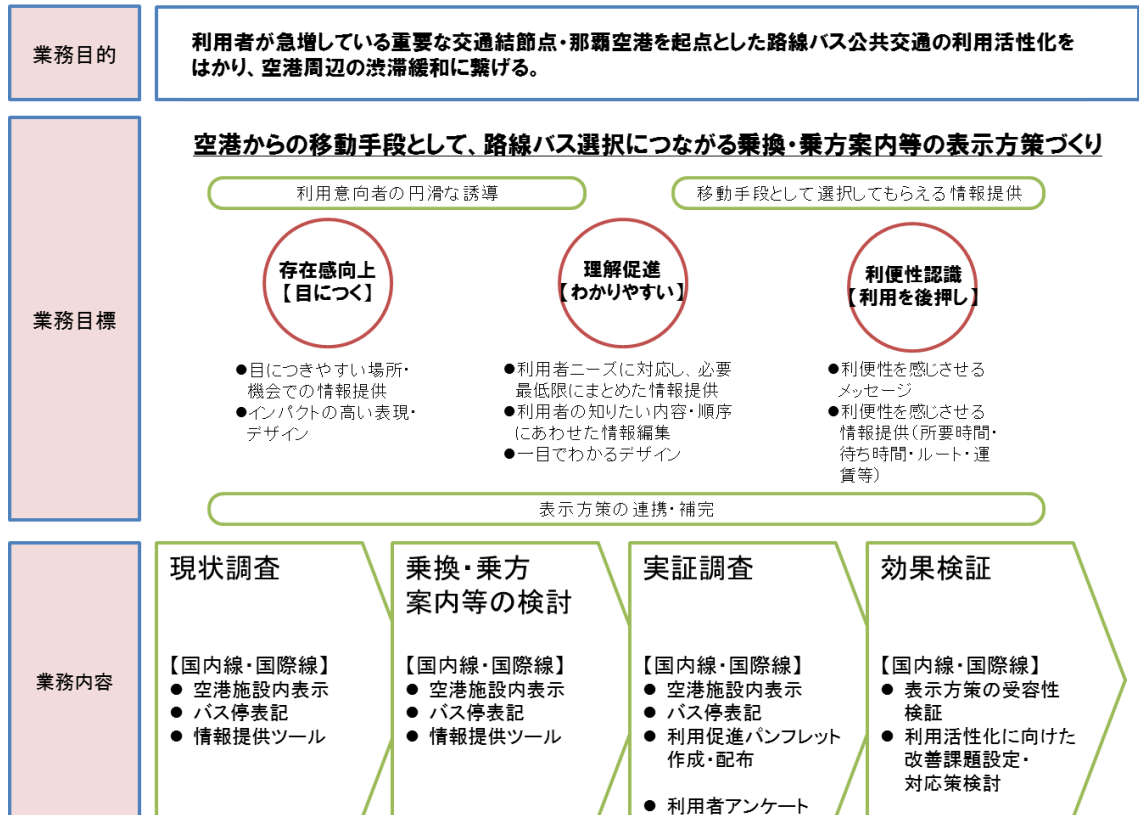


4)-4. 利用前後のバス利用利便性評価

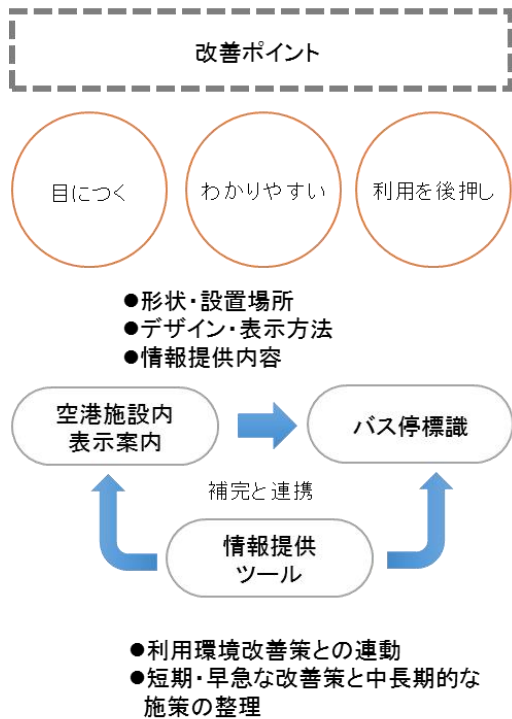
- 他のインセンティブ施策モニターとは評価が異なった。
- 利用前の予想よりも評価されたのは「乗務員の対応」「車内の快適さ」
- 評価が低かったのは「運賃の妥当性」「定時性」



■配布資料5: 那覇空港から路線バスの利用促進調査事業



■配布資料5:那覇空港から路線バスの利用促進調査事業



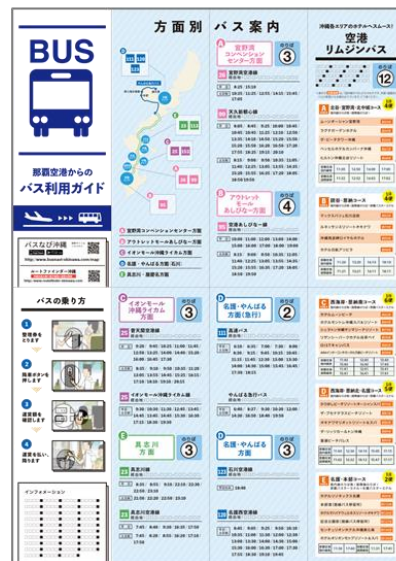
＜施設内サインのイメージ＞



＜バス停標識サのイメージ＞



＜配布リーフレットのイメージ＞



最新型交通情報端末導入等による交通結節点創出調査

沖縄本島内のバス路線は広範囲にわたり運行しており、特にその路線・需要が集中する国道58号線から330号線にかけては、バス同士の乗り継ぎやP&Rの結節拠点整備が課題。
特に当該ルート上には商業施設が集中しており、これら施設と連携し結節点を創出することが有用。

事業イメージ・具体例

- 既存の県内バス路線を踏まえ、結節点となりうるべき場所を検討。
※ 既存商業施設や今後建設予定の商業施設を活用した結節点機能の創出等、将来的な投資コストが効率的になるよう留意。
- 上記結節点において必要な機能及びその実現方法を検討する。
例) バス現在地や道路渋滞をリアルタイムで発信
デジタルサイネージや分かりやすいバスマップの掲示
近隣商業施設と連携したバス割引の実施、
駐車場を活用したP&R等

現状の沖縄県内の商業施設のバス停



商業施設内でバスの接近情報を確認できるサイネージ(多言語)を設置



商業施設の無料駐車場を活用したP&R



バス乗継時間を活用したショッピング割引



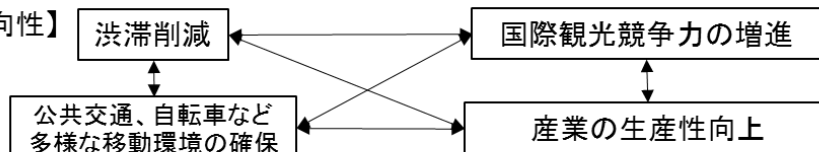
沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会「中間とりまとめ」の概要

【資料 7】

【検討の背景】

全国一の渋滞	極端なマイカー依存	観光客の急増	高齢化の進展
全国県庁所在地で最低 ピーク時の速度: 15.9km/h	自家用車依存率: 90.4% 公共交通利用率: 3.2%	H27年度: 約800万人 観光収入H23→H27で約1.6倍	今後5年間で超高齢社会に [高齢化率22.9%(H32)]

【目指すべき方向性】



【取り組むべき施策(主な対策例)】

道路ネットワーク整備等

ハシゴ道路ネットワーク等、幹線道路網の整備(浦添北道路、南部東道路など)
 渋滞ボトルネック箇所における交差点改良および立体化(安次嶺、旭橋など)
 インターチェンジの整備推進(幸地)、インターチェンジの整備の検討(池武宮、喜舎場など)
 沖縄自動車道の有効活用(高速道路の利用促進に向けた割引制度の継続・拡充の検討)

地域の公共交通システムの再編・活性化

1)公共交通の整備・再編

都市モノレール運用の効率化(増便など混雑対策の推進)
 基幹バス(BRT等)の導入、バス網の再編
 自動運転の導入(自動運転の社会実験実施)

2)交通結節点の整備(異なる交通モード間の接続[モーダルコネクト]の強化)

各地域の結節点の創出に向けた戦略的展開

- ・てだこ浦西駅におけるパーク&ライド駐車場整備[H30春を目標に整備中]
- ・旭橋バスターミナルの整備[H30春を目標に整備中]
- ・商業施設等既存施設(ライカム等)や新たな拠点を活用したバスターミナルの整備の検討
- ・まちの拠点や道の駅で公共交通機関などを利用できる結節点の全県的な整備の検討

3)歩行者や自転車などにも優しい道路空間の再編・創出

国際通りの再編(トランジットモールの展開やフリンジパーキングの整備、違法駐車対策など道路空間の再編の検討)、自転車利用の促進

公共交通の使いやすさの向上

1)使いやすさの向上に向けた情報提供システム等の整備(結節点でのIoTを活用した観光客や外国人への情報提供)

2)ICカード等を活用した公共交通利用促進策

ICカード利用による各種割引等(ICカード利用による乗り継ぎ割引、時間帯割引、シニア割引など公共交通利用のインセンティブを高める仕組みの導入の検討)

3)観光客の公共交通活用対策

交通結節点の有効活用(てだこ浦西駅でのレンタカー施設の整備等)

分かりやすい情報提供、ビッグデータやIoT活用など最先端の取り組み

(ETC2.0等のビッグデータによる分析に基づいた道路渋滞対策や観光客関連の交通安全対策)

クルーズ船の観光客の受け入れ体制の整備

4)賢い道路の利用

県民意識への効果的な働きかけ(企業の自家用車から公共交通への転換に対応するインセンティブ(手当等)の付与の検討)、交通需要の分散、平準化(県・市・企業への時差出勤の拡大)

【新たな交通環境の実現に向けて】

フォローアップ体制の整備

新しい交通環境を導入するためのビッグデータ等を活用した調査・分析の推進

自動運転など全国モデルとなる先進的取組の導入

公共交通利用増へ向けた座談会 1



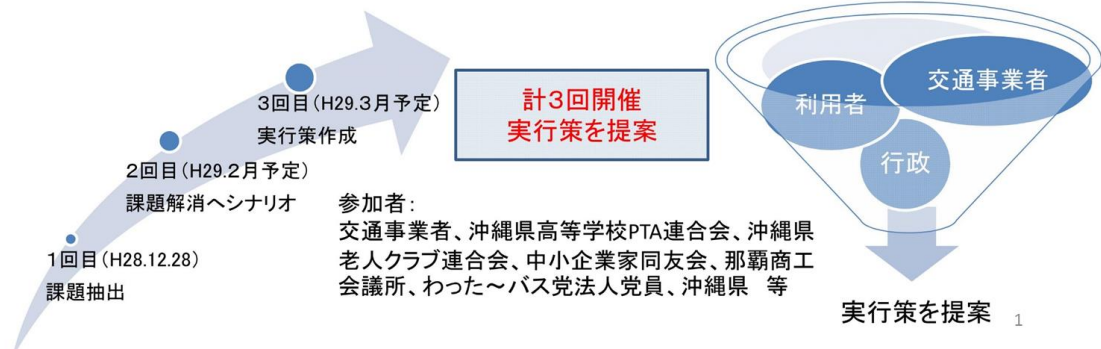
1.開催経緯

学生主体の実現型ディスカッション企業が主催した、「夏の政治キャンプ2016」で学生からバス利用に関する請願が沖縄県議会に提出。

請願内容は、公共交通利用増へ向け運賃割引の適用範囲拡大、企業・学校との連携や特典付与等が盛り込まれていたことから、沖縄県主催でバス利用者側とサービス提供側が話し合う「場」として「座談会」を企画。

2.目的

公共交通利用における利害関係者が集まり、利用促進に向けた今後の取り組みを議論し、実行策を模索。



公共交通利用増へ向けた座談会 2



座談会意見

- ☐ 運転手のマナー向上
- ☐ バスの定時性確保
- ☐ バス料金が低い(高齢者や学生)
- ☐ バス案内板やナビの充実





浦添市サイクル&バスライド実証実験について(途中報告)

1. 背景

浦添市では、過度な自動車利用が問題としてあげられており、500m 未満の移動でさえ 3 割以上が車を利用している状況である。

そこで、一般的に短中距離の移動手段として優位性の高い自転車を活用することが求められている。

2. 目的

今回の実証実験は、市内の慢性的な渋滞解消に向け、公共交通の活用を促すことや、バス利用と組み合わせた自転車の可能性を探ることが目的となっている。

実施にあたっては、基幹バスの導入が検討されている国道 58 号沿線の勢理客バス停付近に駐輪場を設け、利点や課題の把握を行う。

3. 実証実験内容

- **実施期間** : 平成 28 年 10 月 5 日 (水) ~ 平成 28 年 12 月 28 日 (水) の平日のみ
- **運営時間** : 午前 6 時 ~ 午後 9 時
- **場 所** : 国道 58 号 安謝高架橋下 (勢理客交差点側)
- **内 容** : レンタル自転車 20 台 (うち電動アシスト 10 台)、駐輪スペース 20 台 (各無料)
- **管理方法** : 有人管理
- **利用対象者** : 浦添市民及び浦添従業者



図 1-利用イメージ

4. 登録・利用状況

実証実験参加者は、レンタル利用が 15 名、個人の自転車を持ち込み駐輪する駐輪スペースの利用は登録、利用ともに 0 人となっている。

表 1-登録・利用状況

種別	登録	利用
レンタル自転車	16 人	15 人
駐輪スペース	0 人	0 人



図 2-利用状況 (左: 駐輪場、右: 貸し出し状況)

■配布資料9: (浦添市)浦添市サイクル&バスライド実証実験について(途中報告)

平成 29 年 1 月 18 日 (水)
浦添市都市建設部都市計画課

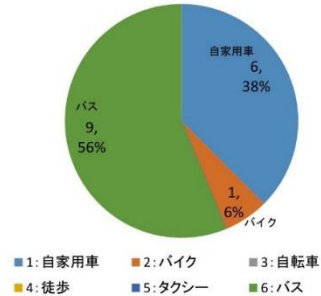
5. 利用者の個人属性について

実証実験参加者への事前アンケートより、個人属性は以下となっている。

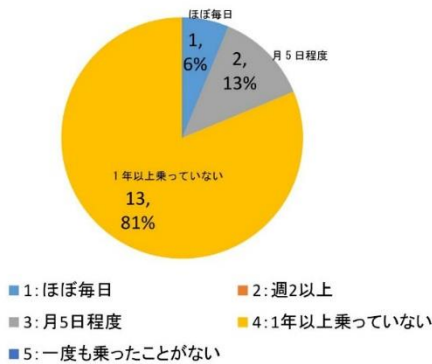
(1) 参加者の居住地



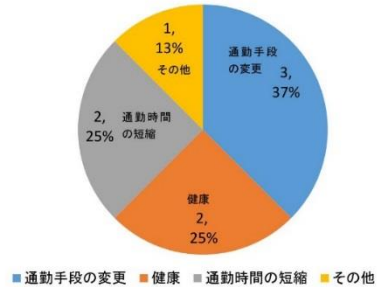
(2) 実証実験参加前の通勤手段



(3) 実証実験参加前の自転車利用頻度



(4) 実証実験参加理由



6. 総括アンケート内容

利用者のニーズ把握、運営上の課題検証、改善点の整理等を行い、今後の取組に反映させていくことを目的に、利用者へアンケートを実施しており、現在分析中である。

表2-実証実験に関する主なアンケート内容

項目	質問内容	
■駐輪場運営	・スタッフの対応、・夜間照明について	等
■レンタル自転車の利便性	・自転車の大きさ、・自転車の操作、・付属物の取り扱い	等
■駐輪施設の利便性	・駐輪場とバス停の距離、・駐輪場の位置	等
■実験参加しての効果	・健康面の改善、・通勤時間の変化、通勤費の変化	等
■駐輪場の利便性 (本格実施へ向けての項目)	・施設の必要な場所、・自転車の種類、・利用金額	等

■第2回意見交換記録写真



第3回意見交換会:「新拠点における交通結節点の機能」に関する意見交換

開催日時 : 平成29年3月15日(水)16:00~17:30
開催場所 : ダイワロイネットホテル那覇国際通り 1F会議室
進行 : 大井尚司大分大学経済学部准教授
出席者 : 沖縄県交通政策課、浦添市、浦添市土地開発公社、公共交通事業者、有識者
会議内容 : ①那覇空港路線バス利用促進調査結果(沖縄総合事務局)
②浦添市サイクル&バスライド実証実験について(浦添市)
③浦添市の交通結節点の位置づけについて(浦添市)
④サンエー浦添西海岸計画について(浦添市)
⑤でだこ浦西駅土地区画整理事業について(浦添市土地開発公社)
⑥ゆいレールでだこ浦西駅について(沖縄都市モノレール)

主な意見交換のポイント

➤ 那覇空港からの路線バス利用促進調査について

- ・那覇空港への利用者が急増しており、交通アクセスの需要の高まりにより那覇空港を起点とした路線バスの利用活性化を図る目的。
- ・路線バス利用につながるような表示方法の検討。現状調査を行った後、改善方法を検討する協議を行った。また、効果検証として利用者向けにアンケート調査を行った。

事業の一環として取り組んだ空港の現状調査やリーフレットに関しては高い評価を得たが、利用者目線から見ての再現性として疑問視される意向も出た。また、那覇空港の現状の案内所や案内表示、バス乗り場についての意見が挙げられた。

那覇空港の公共交通の利用促進に向け、大都市の空港のように到着口と隣接してバス等の公共交通機関の案内所があるべき。

リムジンバスに関して、割高にはなるが、快適な点を挙げて促進につなげられないか。

インバウンドが増加傾向にある中で国際線にもバス停を配置する必要性があるのではないか。

➤ 浦添市サイクル&バスライド実証実験について・浦添市内の交通結節点の位置づけについて・西海岸再開発エリアにおける交通結節点について・付則資料【(仮称)サンエー浦添西海岸計画新築工事全体平面図・でだこ浦西再開発エリアにおける交通結節点について・ゆいレールでだこ浦西駅について

バス路線再編に関して各バス会社のバス運転手の人員の確保や人員を再投資できるような仕組みが必要である。現在の状況では現状維持すら難しい。

新設される拠点について駐機場の確保や、乗り入れ口に関して、協議の際に各バス事業者も参加したい意向があり、協議の場への参加に関しては施工側との話し合いが必要。

ノンステップバスの乗降に対応すべく縁石への配慮を整備事業者と調整を行う。

観光地へ観光バスの駐車ができない場所がある。路線バス停の問題と併せて観光バスの駐車スペースの検討も行っていきたい。渋滞解消も含めてシャトルバスの運用を事業者側と検討する。

➤ 総括

再編に関して、気を付けることは新拠点を作ってから、路線再編をスタートさせないこと。人は目的があれば集まる。再編というのは現状を改善することである。また、行政、事業者間、商業施設でも連携を取り合っていただきたい。この会議に参加された皆様が総力戦で臨んでいただけた体制をつくるきっかけになったのではないかと。空港に関して特に行政は積極的に中核的な役割を果たしてほしい。

【資料 1】

平成 28 年度 第 3 回新拠点立地に伴う
公共交通網設定・変更の検討手法に関する意見交換会

開催日時：平成 29 年 3 月 15 日（水）16：00～17：30

場所：ダイワロイネットホテル那覇国際通り 会議室 1F

議 事 次 第

1. 開会
2. 報告
 - 事例 1 那覇空港からの路線バス利用促進調査について 沖縄総合事務局
3. 取組み説明
 - 事例 2 浦添市サイクル&バスライド実証実験について 浦添市
 - 事例 3 サンエー浦添西海岸計画について 浦添市
 - 事例 4 てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業について 浦添市・沖縄都市モノレール
4. 意見交換
 - テーマ：「新拠点における交通結節点の機能、役割」
5. 総括
6. 閉会

○配布資料○

- 【資料 1】第 3 回意見交換会次第
- 【資料 2】第 3 回意見交換会出席者名簿
- 【資料 3】第 3 回意見交換会配席図
- 【資料 4】那覇空港からの路線バスの利用促進調査事業について
- 【資料 5】浦添市サイクル&バスライド実証実験について
- 【資料 6】浦添市内の交通結節点の位置づけについて
- 【資料 7】サンエー浦添西海岸計画について
- 【資料 8】てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業について
- 【資料 9】ゆいレールてだこ浦西駅について

■配布資料2:出席者名簿

【資料 2】

平成28年度 第3回新拠点立地に伴う公共交通網設定・変更の検討手法に関する意見交換会

日時：平成29年3月15日（水）16：00～17：30

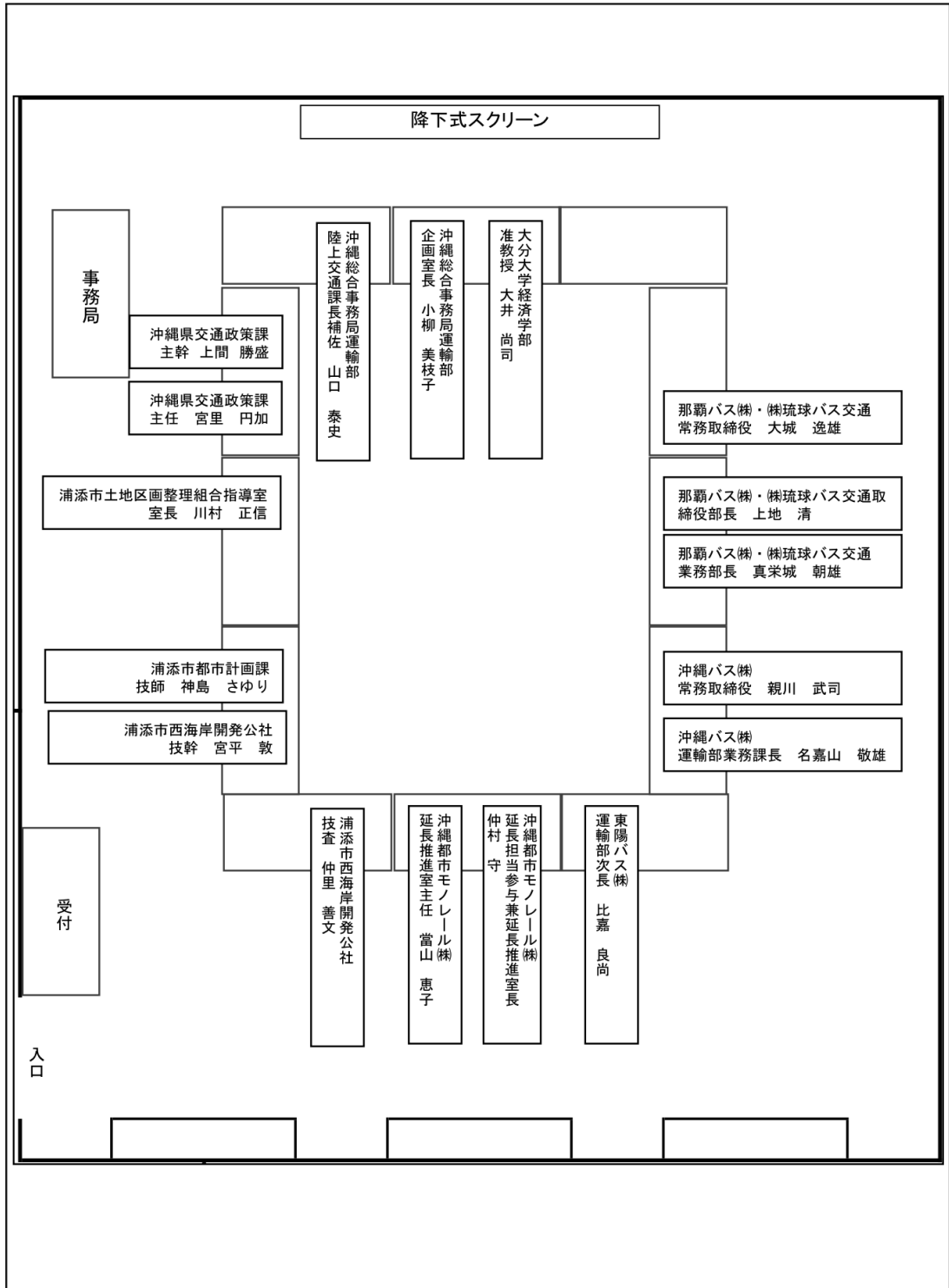
ダイワロイネットホテル那覇国際通り 会議室

区分	所属		職位	氏名
有識者	大分大学	経済学部	准教授	大井 尚司
沖縄県	沖縄県企画部	交通政策課	主幹	上間 勝盛
	沖縄県企画部	交通政策課	主任	宮里 円加
地方自治体	浦添市都市建設部	土地区画整理組合指導室	室長	川村 正信
	浦添市都市建設部	都市計画課都市交通企画係	技師	神島 さゆり
	浦添市企画部西海岸開発局	西海岸開発公社	技幹	宮平 敦
	浦添市企画部西海岸開発局	西海岸開発公社	技査	仲里 善文
団体・事業者等	那覇バス(株)・琉球バス交通		常務取締役	大城 逸雄
	那覇バス(株)・琉球バス交通		取締役部長	上地 清
	那覇バス(株)・琉球バス交通	業務部	部長	真栄城 朝雄
	沖縄バス(株)		常務取締役	親川 武司
	沖縄バス(株)	運輸部業務課	課長	名嘉山 敬雄
	東陽バス(株)	運輸部	次長	比嘉良尚
	沖縄都市モノレール(株)		延長担当参与兼延長推進室長	仲村守
	沖縄都市モノレール(株)	業務部	主任	當山恵子
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部陸上交通課	課長補佐	山口 泰史
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	室長	小柳 美枝子
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	室長補佐	伊志嶺 友浩
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部企画室	企画第二係長	友利 早苗
			出席者人数	19

平成28年度 第3回新拠点立地に伴う公共交通網設定・変更の検討手法に関する意見交換会

日時：平成29年3月15日（水）16：00～17：30

会場：ダイワロイネットホテル那覇国際通り 会議室



平成28年度那覇空港からの路線バスの利用促進調査業務

平成29年3月

業務目的

沖縄本島の公共交通は、モノレール及び路線バスに依存しているが、路線バスの利用者はここ数年横ばいの状況となっており、高齢者等の交通弱者への対応、環境保全、円滑な道路交通の実現を目指す観点からもバス路線の維持活性化は重要な課題となっている。
また、重要な交通結節点である那覇空港の乗降客数は平成27年度1,854万人と過去最高を記録するなど利用者が急増しており、市街地への交通アクセスの需要の高まりにより那覇市を中心とする近隣都市部での交通渋滞に拍車をかけている状況にある。
以上のような課題解決に向けて、那覇空港を起点とした路線バス公共交通の利用活性化を図り、空港周辺の渋滞緩和に繋げることを目的として、本調査を実施する。

事業フレーム

業務目的

利用者が急増している重要な交通結節点・那覇空港を起点とした路線バス公共交通の利用活性化をはかり、空港周辺の渋滞緩和に繋げる。

空港からの移動手段として、路線バス選択につながる乗換・乗方案内等の表示方策づくり

利用意向者の円滑な誘導

移動手段として選択してもらえる情報提供

業務目標

存在感向上
【目につく】

理解促進
【わかりやすい】

利便性認識
【利用を後押し】

- 目につきやすい場所・機会での情報提供
- インパクトの高い表現・デザイン

- 利用者ニーズに対応し、必要最低限にまとめた情報提供
- 利用者の知りたい内容・順序にあわせた情報編集
- 一目でわかるデザイン

- 利便性を感じさせるメッセージ
- 利便性を感じさせる情報提供(所要時間・待ち時間・ルート・運賃等)

表示方策の連携・補完

業務内容

現状調査

- 【国内線・国際線】
- 空港施設内表示
- バス停表記
- 情報提供ツールの現況を確認する

乗換・乗方案内等の検討

- 【国内線・国際線】
- 空港施設内表示
- バス停表記
- 情報提供ツールの改善検討案の作成と関係機関との意見交換

実証調査

- 【国内線・国際線】
- 空港施設内表示
- バス停表記
- 利用促進パンフレット作成・配布
- 利用者アンケート

効果検証

- 【国内線・国際線】
- 表示方策の受容性検証
- 利用活性化に向けた改善課題設定・対応策検討

現状調査

- 到着ロ～バス停への動線上の情報提供状況を確認。
- 「視認性」「わかりやすさ」「利便性認識」の視点から評価。
- モノレール等の交通機関の案内についても確認。

最低限の「のりば案内」表示はあるが、路線・所要時間・運賃などの乗方情報はほとんど提供されておらず、バス利用につながる情報が不足している。

- 国内線・国際線ターミナルともに、「バス停案内表示」のみにとどまる。リムジンバスのバス停案内表示はない。
- 移動目的地(ホテル・中心市街地・観光スポット)へのバス利用につながる情報提供(路線・所要時間・運賃など)がほとんどない。観光案内窓口のサイネージで主要観光地へのアクセス情報が提供されている程度。
- バス停の位置関係を熟知していない人にとっては、出入口を出てしまうと、どちらに進めばよいかを案内するサインがない。
- バス停標識には系統名はあるが、ルートは時刻表に小さく表示されているだけなので、わかりにくい。以前はマップもあったようだが、現在は表示がない。
- インフォメーションでも提供される情報は限りがあり、ツール類は不足している。



乗換・乗方案内等の検討

- 現状調査をもとに改善ポイントを検討。
- バス事業者、空港ビルディング会社とも意見交換を行い、提供情報および設置場所を協議。



情報提供の仕組み
案内サイン、バス停標識、情報提供ツールで「補完と連携」がとれる。

サイン設置場所
旅行者動線上に多く配置。モノレール時刻表の近くにも設置する等、なるべく目につくようにする。

提供情報
移動に必要な「どののりばで」「どのルートを通る系統で」「どのくらいかかるといった」「必要最低限」の情報を「わかりやすく」提供。

バス停標識
のりばで乗車できる系統と主要な行き先を記載したルートマップを掲示。

デザイン
文字だけでなく「ピクトグラム」「マップ」「カラー」などを活用し、一目で「わかりやすく」、外国人旅行者へも対応できる工夫をする。

案内ガイド
方面別ののりば、系統名、主な経由地を案内。マップには空港からバス1本で行ける主要スポットごとに乗車に必要な情報を記載。のりば案内、バスの乗車方法、お得な運賃、検索サイトや問合せ先を記載。

平成29年3月

平成29年2月23日(木)～3月14日(火)

- バスが利用しやすいような「空港施設内表示案内」サイン設置と「バス停標識」を改善。
- サイン設置場所は、空港ビルディング会社の他交通機関への配慮意向もあり、国内線ターミナル施設内2カ所、前面道路2カ所、国際線旅客ターミナルは1カ所のみとなった。

【国内線旅客ターミナル】



A～B 出入口ゆいレール時刻表横柱

内容:路線マップ+のりば案内
サイズ:H1250XW400
材質:ウッドラックパネル



C~D 中之島欄

内容:リムジンバス誘導横断幕
サイズ:H1400 x4010
材質:ターポリン(ハトメ)



E～G バス停標識(2番～4番)

内容:路線マップ+系統案内
材質:電飾シート、塩ビシート

【国際線旅客ターミナル】



H 出入口付近柱

内容:バス停誘導矢印
サイズ:H420XW594(A2)
材質:塩ビシート



| バス停標識

内容:バス停標識(路線マップ+系統案内)
材質:電飾シート、塩ビシート



U.S. DEPARTMENT OF JUSTICE

右手の横断歩道から→



リーフレット「那覇空港からのバス利用ガイド」



〈概要〉

施設案内表示およびバス停標識での情報提供を補完する路線バス利用促進パンフレットを作成、空港インフォメーション、観光案内所、バス会社で配布。

＜制作のポイント＞

- 主に旅行者の利用を想定。空港施設内で目を通し、利用サポートにつながるガイドとして、必要最小限の情報に集約・簡略化。詳細はウェブサイトや乗車案内アプリ等に委ねる。
 - 外国人でも使えるよう、イラスト等を活用し、目で見てわかるデザイン
 - 携行性・保存性に考慮したサイズとする。
- ＜仕様＞

判型:A3

に配置可能なサイズ) コート110K

部数:10,000部

4月からの空港リムジンバスのダイヤ改正に対応し、
 新定価(3月)1,000円、旧定価(4月)900円

言語対応:日英繁韓(3月まで) 日英簡韓(4月以降)

＜情報提供内容＞

【表面】

- 乗車検索サイト紹介
- バスの乗り方
- バスのお得な乗車券
- 方面別路線バス案内のりば・系統・主な経由地
- 空港リムジンバス案内のりば・系統・降車地までの所要時間 運行便数 発車時刻 乗車券販売場所

【裏面】

- 空港発路線バスマップ
- 主要観光スポットの降車バス停・所要時間・運賃
- 空港路線バスのりば案内マップ

配布先	部数
那覇空港内観光案内所	50
那覇空港ビルディング(インフォメーション)	150
那覇バス・琉球バス	150
沖縄バス	150
東陽バス	50
バス協会	50
那覇市観光協会	100
沖縄総合事務局	300
合計	1,000

※バスターミナルには那覇バスがマップを備え置き。

配布先	部数
那覇空港内観光案内所	3,000
那覇空港ビルディング(インフォメーション)	2,000
那覇バス・琉球バス	1,500
沖縄バス	1,300
東陽バス	400
バス協会	300
那覇市観光協会	200
沖縄総合事務局	300
合計	9,000



■配布資料4: 那覇空港からの路線バスの利用促進調査事業について

平成28年度那覇空港からの路線バスの利用促進調査業務

平成29年3月

効果検証

- 利用者アンケートにより、期間中のバス利用状況や「空港施設内表示案内」「バス停標識」「パンフレット」の内容評価を通じて、利用者に必要十分な情報提供、利用促進につながったかを検証する。
- 利用者ニーズをふまえて、今後の課題と対応策を整理した。

- アンケート回答者の大半は観光客、外国人旅行者も多い。高速バスを含めた「名護方面」および「リムジンバス」といった長距離路線と「あしびなー」への利用が中心。
- バス利用動機は「目的地近くへの移動メリット」「運転しなくてすむ」「他の交通手段と比べた割安感」となっており、利用の多い「拠点」までの所要時間や運賃の目安などの情報提供を行えば、利用促進につながる事が検証できた。
- 今回の実証実験ではサイン設置場所数の制約はあったものの、設置サインは一定の認知を獲得した。
- 利用者のニーズが高い「手荷物受取エリア」「出入口ドア」「観光案内・インフォメーション付近」へ設置があれば、さらなる効果につながると思われる。

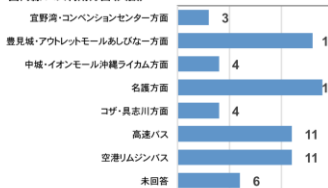
【課題と対応策】

- 設置場所拡充
混雑緩和および空港利用客の利便性向上の観点から空港ビルディング会社への設置理解を求める。
- 都心部への利便性訴求
定時速達性担保がしやすい、運賃の割安感も訴求できる都心部までの利用を促すことで乗車率向上につなげる。
- インバウンド需要への対応
海外旅行者のバス利用が伺えたことから、国際線ターミナルでの情報提供強化に加え、リムジンバスの国際線ターミナルでの発券や空港あしびなー線の国際線発着および国内線のりば変更(LCCシャトルバスへの誤乗車回避)等の運行対応も検討。
- バスによるアクセス案内情報提供
事前の移動手段検索段階で、空港からのバス利用の利便性をアピールできる機会を増やす。
・バス事業者ウェブサイト
・旅行会社、旅行情報誌
・施設のアクセス案内

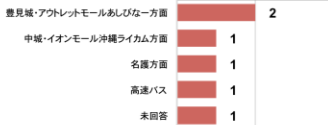
路線バス利用者向けアンケート調査

【調査対象および有効回収数】
国内線旅客ターミナルバス利用者 66名(うち海外16名)
国際線旅客ターミナルバス利用者 6名(うち海外6名)
【調査方法】
●調査員による直接面接法(乗車待ちバス利用者へ協力を依頼)
●外国人向けには英文アンケートを実施
＜調査実施場所＞
那覇空港国内線旅客ターミナル前 路線バスのりば 2番 3番 4番
リムジンバスのりば 12番
那覇空港国際線旅客ターミナル前 路線バスのりば 2番
【実施時期】
平成29年3月8日(水)
【調査項目】
●属性:居住地(県外、県内、海外)
●バス利用理由(利便性認識)
●バス利用先(市内、市外、リムジン、高速)
●バス表示案内認知状況
●バス表示案内のわかりやすさ(スムーズに移動できたか)
●バス表示案内による利用促進
●バス案内サイン設置希望場所
●便利だと思うバス案内情報内容
●表示・情報提供に関する改善要望点

国内線バス利用方面(人数)



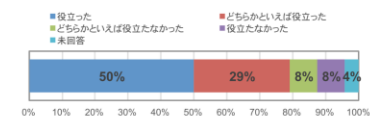
国際線バス利用方面(人数)



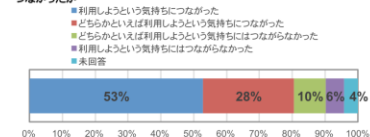
バスを利用する理由(複数回答、人数)



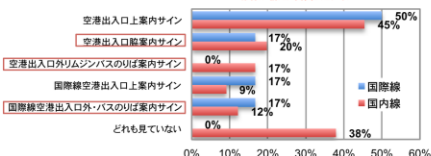
案内サインやバス標識が目的地確認に役立ったか



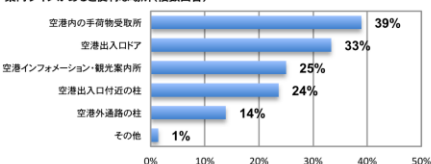
案内サインやバス標識がバス利用しようという気持ちにつながったか



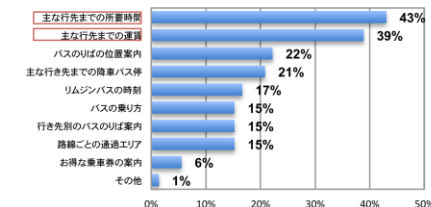
利用客が見たバス案内サイン(複数回答)



案内サインがあると便利な場所(複数回答)



バス利用ガイド・サイン・バス標識で便利だと感じた点(複数回答)



平成 29 年 3 月 15 日 (水)
浦添市都市建設部都市計画課

浦添市サイクル&バスライド実証実験について

1. 背景・目的

浦添市では、過度な自動車利用が問題としてあげられており、500m 未満の移動でさえ 3 割以上が車を利用している状況である。

今回の実証実験は、市内の慢性的な渋滞解消に向け、公共交通の利用促進のため、バス利用と組み合わせた自転車の可能性を把握することが目的となっている。

実施にあたっては、基幹バスの導入が検討されている国道 58 号沿線の勢理客バス停付近にサイクルポートを設け、自転車利用の利点や課題の把握を行った。

2. 実証実験の内容

実証実験の実施箇所（サイクルポート）は、図 1 に示す箇所に設置し、サイクルポート内（図 2）には、レンタル自転車 20 台及び駐輪場 20 台のスペースを確保した。

表 1 実証実験概要

名称	浦添市サイクル&バスライド実証実験
期間	平成 28 年 10 月 5 日 (水) ～平成 28 年 12 月 28 日 (水) ※平日のみ
時間	午前 6 時 ～午後 9 時
場所	国道 58 号 安謝高架橋下（勢理客交差点側）
内容・料金	①レンタル自転車 20 台<うち電動アシスト 10 台> (保証金 1,000 円)、②駐輪場 20 台 (無料)
管理	有人管理
対象	通勤利用者



図 1 位置図

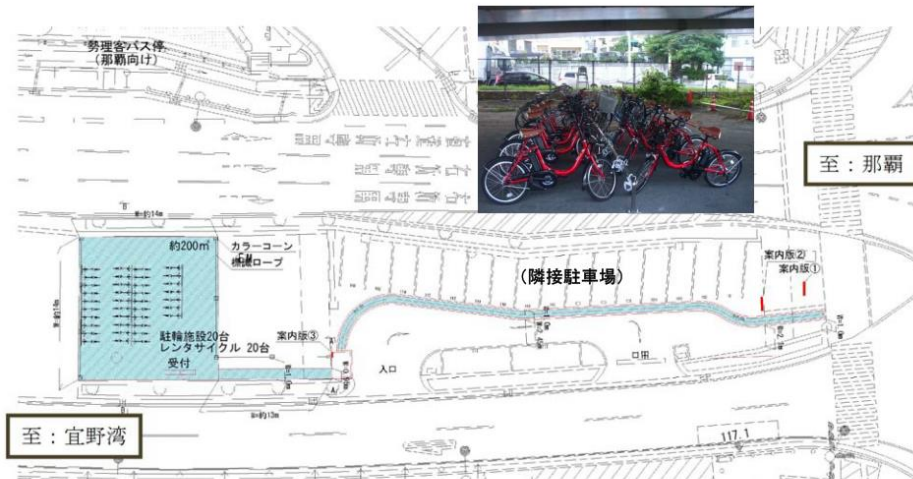


図 2 サイクルポート平面図

■配布資料5:浦添市サイクル&バスライド実証実験について

平成 29 年 3 月 15 日 (水)
浦添市都市建設部都市計画課

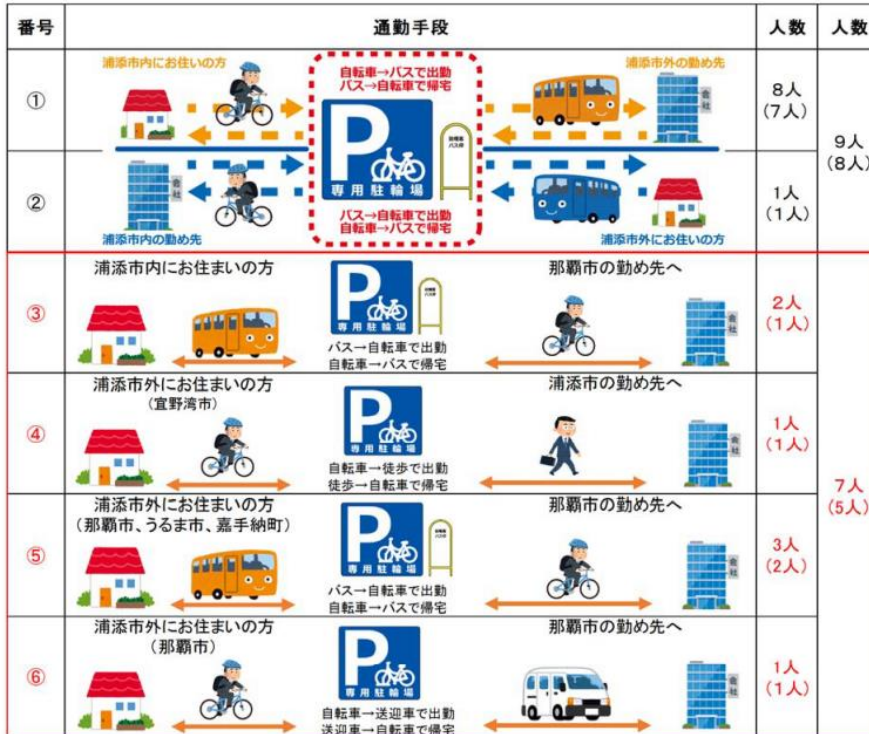
3. 利用実態

(1) 利用者数

実証実験への申込は、レンタル自転車の 16 人となっているが、継続的に利用したのは 11 人となった。

駐輪場利用者の申込は今回の実証実験においては 0 人となった。

また、レンタル利用者の利用形態は、下図の通りとなっており、隣接市からの利用も伺えた。



* 赤枠内が追加対象、表右側の () 内の数値は、レンタル自転車利用が 3 回以上

図 3 レンタル自転車の利用形態

(2) レンタサイクルの利用実態

実証実験期間中において、自転車の延べ提供台数は 1,140 台となり、利用台数は 500 台となっている。

利用台数から提供台数を除した値 (回転率) は 44% となった。

表 2 利用実態

①	運営日数	57 日	晴 : 35 日、曇 : 15 日、雨 : 7 日
②	提供台数	1,140 台/3 ヶ月	① 57 日×20 台 (配車台数)
③	利用台数	500 台/3 ヶ月	10 月 99 台、11 月 221 台、12 月 180 台 *利用は片道 1 台と計上
④	回転率	44%	③利用台数/②提供台数
⑤	日平均利用台数	8.8 台/日	③利用台数/①運営日数

平成 29 年 3 月 15 日（水）
浦添市都市建設部都市計画課

4. 自転車利用における効果

実証実験参加による利用者の通勤への変化を以下に示す。

(1) バス停圏域の拡大

参加者の中には、実験前は勢理客バス停から約 1～2.6km 離れたバス停を利用していた参加者もあり、その他には、5.8km～6.2km を自転車通勤している参加者もいた。
このことから、勢理客バス停利用者の居住地の範囲の広がりがみられ、サイクルポートによるバス停圏域の拡大が伺える。

表 3 実験前の利用バス停

参加前の乗車バス停	参加中の乗車バス停	バス停間距離
仲西	勢理客	約 1.1km
宮城入口		約 2.2km
屋富祖		約 1.9km
宮城		約 1.6km
小湾		約 1.9km
泊高橋		約 2.6km



(2) 通勤時間変化

実証実験に参加した 5 人の通勤時間が短縮し、4 人の通勤時間が増加した。
時間短縮は最大 15 分程度、増加は最大 30 分以上となった。

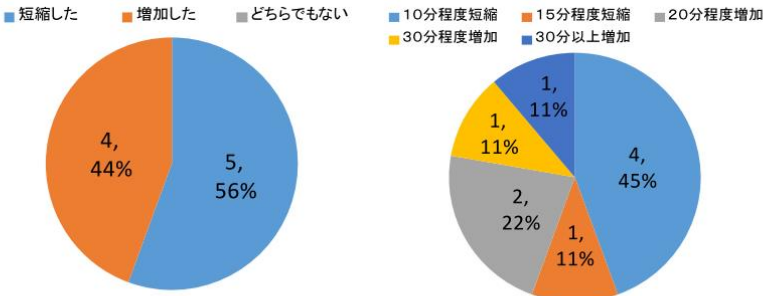


図 4 通勤時間の変化

実験前からバス通勤の利用者は、通勤時間の短縮が見られるが、バイク、車及び一部のバスを通勤手段としていた利用者の通勤時間は増加した。

表 4 通勤手段別の通勤時間の変化

当初の通勤手段	時間短縮	時間増加
バス	5 人	1 人
バイク	—	1 人
車	—	2 人

■配布資料5: 浦添市サイクル&バスライド実証実験について

平成 29 年 3 月 15 日（水）
浦添市都市建設部都市計画課

5. 自転車利用における効果

今回の実証実験の結果について、以下に取りまとめた。

表 5 実証実験の結果の評価

検証項目	検証内容	まとめ
① 運営の対応、体制	対応人数	・ 午前 6 時～午後 9 時の間に常時 1 人を配置し、3 交代制とした。朝の利用の集中時以外は、問題なく利用者への対応ができた。
	有人管理	・ 有人管理に対し利用者は「有人管理が良い（70%）」と評価しており、今後においても有人管理が推奨できる。
	連絡体制	・ 運営事務所、実施本部、浦添市及びその他警察等関係機関を含めた連絡体制を整えて実験に望んだ。緊急連絡が必要な事態は発生しなかったため、今回の連絡体制に基づく連絡は実施されなかった。
	実施時期及び期間	・ 10 月 5 日～12 月 28 日（土日祝日除く）の期間実施した。実施時期・期間についてはいずれも「適切と思う（約 60%）」と利用者の意向が示されたので適切な時期、期間の実施だったと評価できる。
	利用時間帯	・ 午前 6 時～午後 9 時までの利用時間帯であった。問題なく利用できた方（70%）が多かったので適切な利用時間帯の設定だったことが評価できる。一方で利用時間の拡大を望む意向も 40%あったことから利用時間帯の見直しの必要性もうかがえる。
	その他（傷害保険）	・ 利用者一人一人を対象とした傷害保険の加入を行った。費用負担は浦添市。コミュニティサイクルの実施においては、不特定多数の方の利用を想定するので実証実験実施主体の法的な対応を明確にする必要がある。
② 運営所	サイクルポート適地	・ 国道 58 号勢理客交差点高架下の空き地に運営所を設営。最寄りバス停まで約 200m。この距離に対して「遠い」という意向を示した利用者はいなかったため、サイクルポート適地選定の条件として有用な情報である。 ・ 今回の場所は、両側を国道に面し、騒音、排気ガス、ふん塵等により常時マスク着用の環境にあったことから有人管理において今後沿道環境に配慮が必要である。
③ 運営の機材	自転車管理	・ 電動アシスト用バッテリーの充電、盗難対応として持ち帰りを行ったため作業負担が増えた。
	メンテナンス対応	・ 今回においては、パンクやブレーキの故障など利用者からの対応要請はなかった。 ・ 自転車の故障に対応する業者が非常に少ないのが現状であり今後はメンテナンス対応を検討する必要がある。
	受付機材	・ 受付機材としてノート型 PC、携帯電話を用いたが、手続き上の支障はなかった。
	自転車の種類	・ 電動アシストが良いとの回答が 50%以上となっており、電動アシストの利便性が認知された。
	ヘルメット着用	・ 利用者へ着用を推奨した。「必要と思う」が 60%を占めたが「利用したい」は 22%にとどまり、意向と行動の乖離がみられた。
	照明施設	・ バッテリー式の照明器具を用いたが夜間の作業において支障をきたした。
④ 台風等異常気象時の対応	台風時の施設機材等への対応	・ 今回、実証実験開始前に台風接近の予報を受け、事前に運営所内の機材撤収を行った。作業員 10 人（約 1 時間を要した）
⑤ 自転車走行空間	道路上の走行位置（車道・歩道）	・ 利用者の走行ルート（車道、歩道）を記載した地図をみると、ほとんど歩道通行であり、理由として交通量や大型車の多さを挙げている。車道通行の場合は歩道幅員の狭さを理由に挙げていた。また、自転車乗車中に「車と接触しそうになった」が 63%を占め、自転車走行環境の改善の必要性が浮き彫りになっている。
	自転車乗車中	
⑥ 交通ルール	自転車の走行ルール	・ 自転車原則車道通行を知っていたのは 81%であった。自転車通行方法についての周知については 63%が行き届いていないとしており、今後の周知の取り組みの必要性がうかがえる。
⑦ その他	自転車購入意向	・ 利用者の 90%は自転車をもっていなかった。実験に参加して「自転車を購入したい（70%）」の意向を示した。自転車を利用するきっかけづくりが今後も必要であることがうかがえる。

平成 29 年 3 月 15 日 (水)
浦添市都市建設部都市計画課

6. 今後の展開の検討

(1) C&BR 施策のバス利用促進、端末交通としての利活用の可能性

今回の実証実験において通勤をターゲットとした理由の一つに、C&BR 施策のバス利用促進、バスの端末交通としての自転車利活用可能性の検証が挙げられる。

実証実験参加者の参加前の通勤手段の内訳は、自家用車利用が 6 名、バイク利用が 1 名、バス利用が 9 名であった。

自家用車利用から転換した参加者 6 名の内、3 名が実証実験期間中 (10 月～12 月) の継続利用を行っており、自家用車からバスへの転換といった需要は存在すると考えられる。

参加者のバス利用者については、これまで自宅近くのバス停を利用していたが、勢理客バス停でのレンタサイクルや駐輪施設設置に伴い、自宅近くのバス停よりも遠く離れた勢理客バス停を起点にバスを利用していることから、バス停利用圏域の広がりが伺える。各バス停付近に駐輪施設を整備することで、バス利用者の圏域拡大が期待できる。

以上のことから、バス停周辺での駐輪施設については需要が想定され、C&BR 施策のバス利用促進、端末交通としての利活用の可能性はあるものと考えられる。

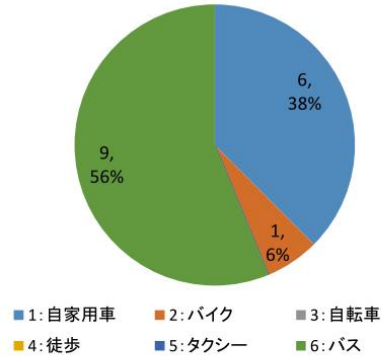


図 5 実験参加前の通勤手段

(2) 今後の展開

浦添市では、今回の実証実験の結果、国や県の関連施策の動向を踏まえながら、国や県の関連施策と連携し、コミュニティサイクルの本格導入に向けた取り組みを進めるものとする。

次の段階は、モノレール延長区間の開業やコミュニティバス検討等があるため、沖縄県 TDM 施策と十分に連携し検討を進めるものとする。

また、STEP4 については STEP3 での様々な検討が必要となることから、STEP3 の検討状況を見ながら本格導入へ移行するものとする。

図 6 コミュニティサイクルの段階的整備方針



■配布資料6: 浦添市内の交通結節点の位置づけについて

資料6

浦添市内の交通結節点の位置づけについて

平成 29 年 3 月 15 日 (水)
浦添市都市建設部都市計画課

『浦添市交通基本計画 (H23.10)』より、浦添市内の各交通結節点の機能及び整備イメージ等をふまえた交通結節点の配置は下図の通りとなる。

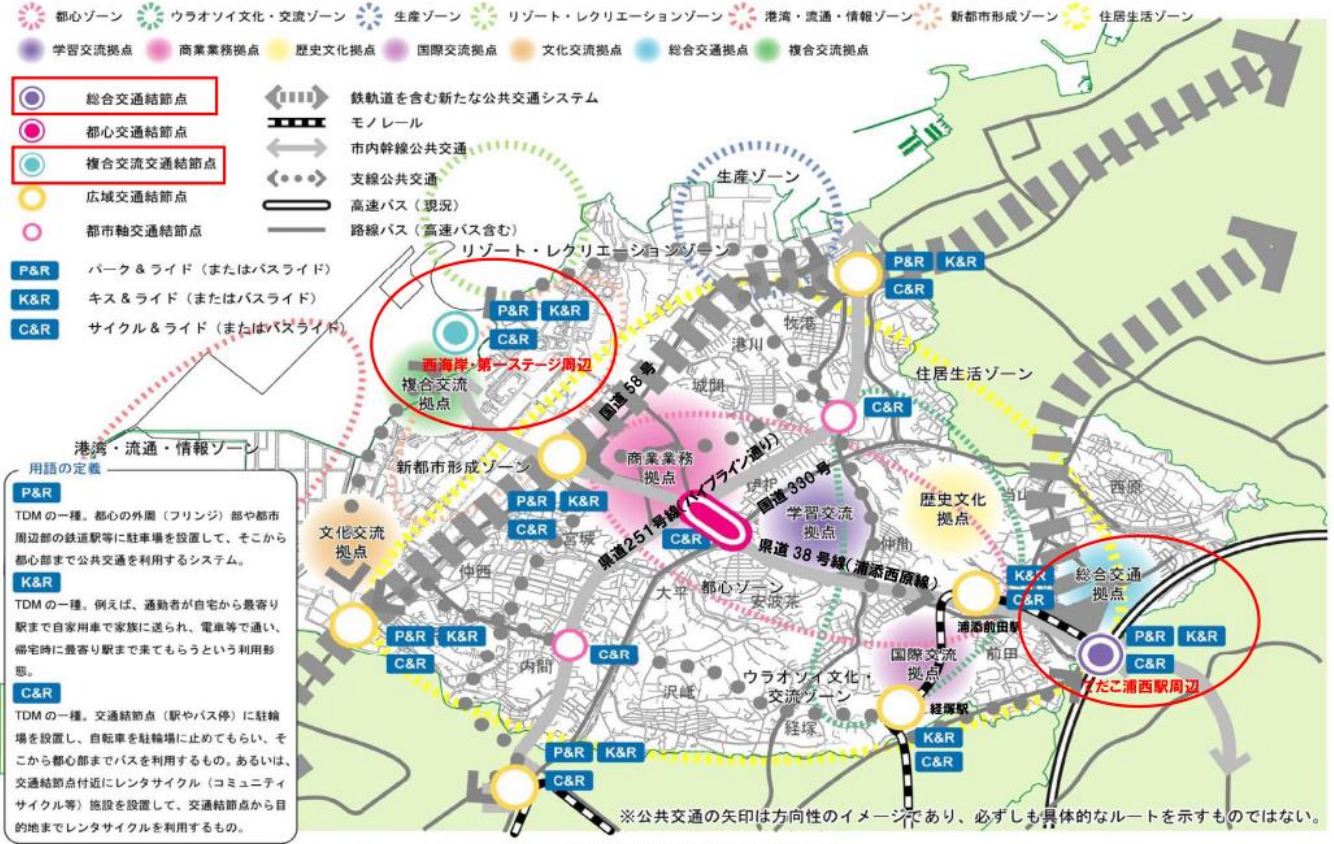
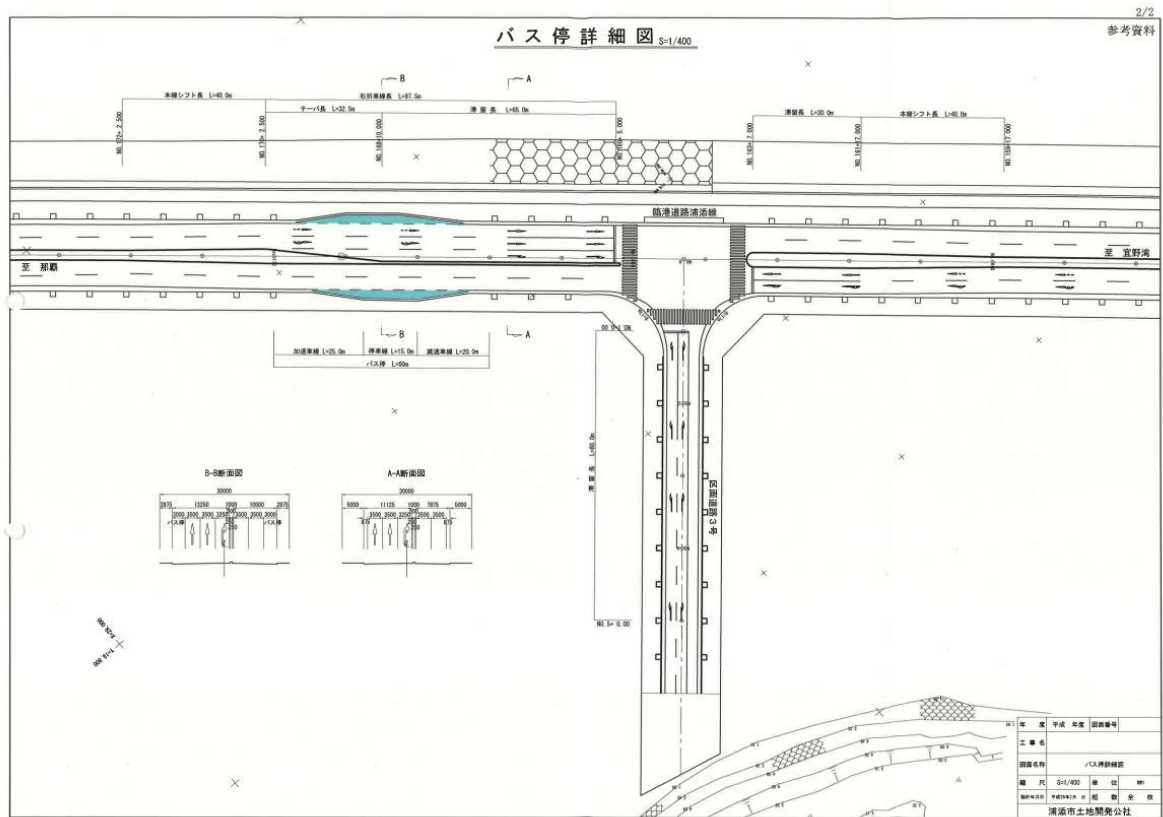
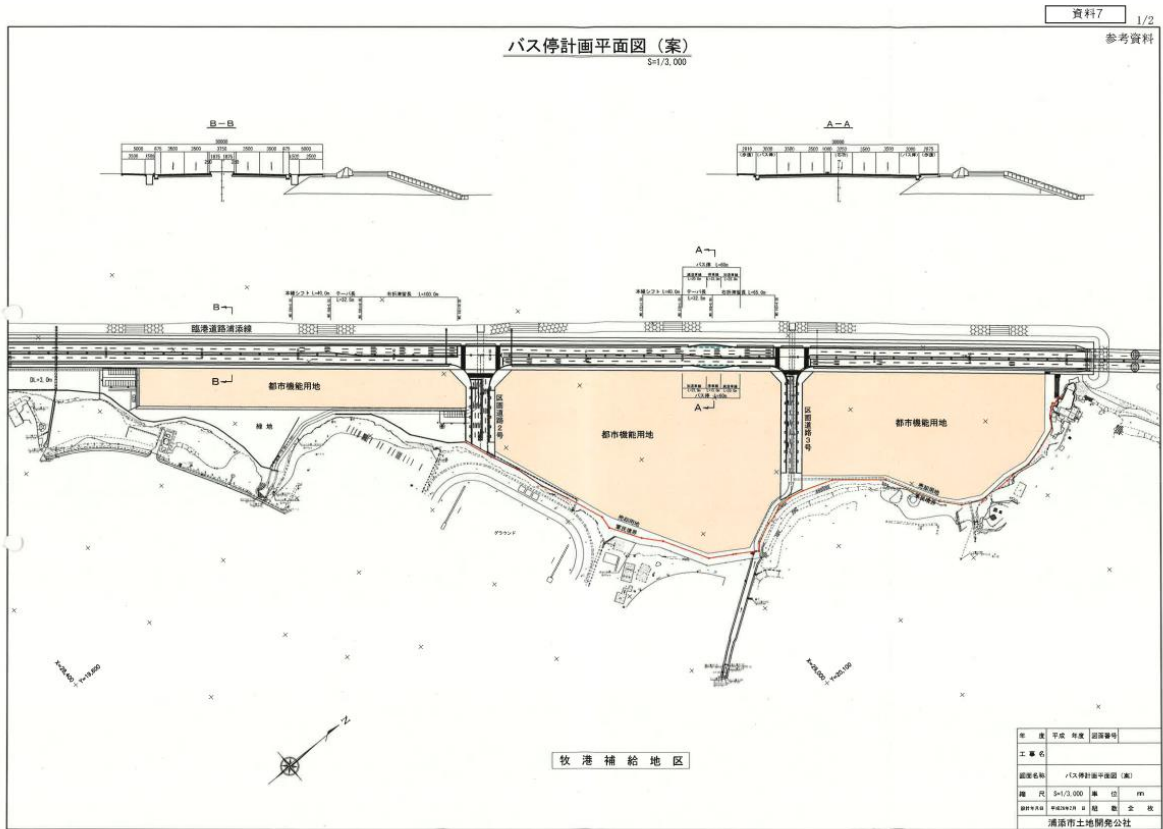
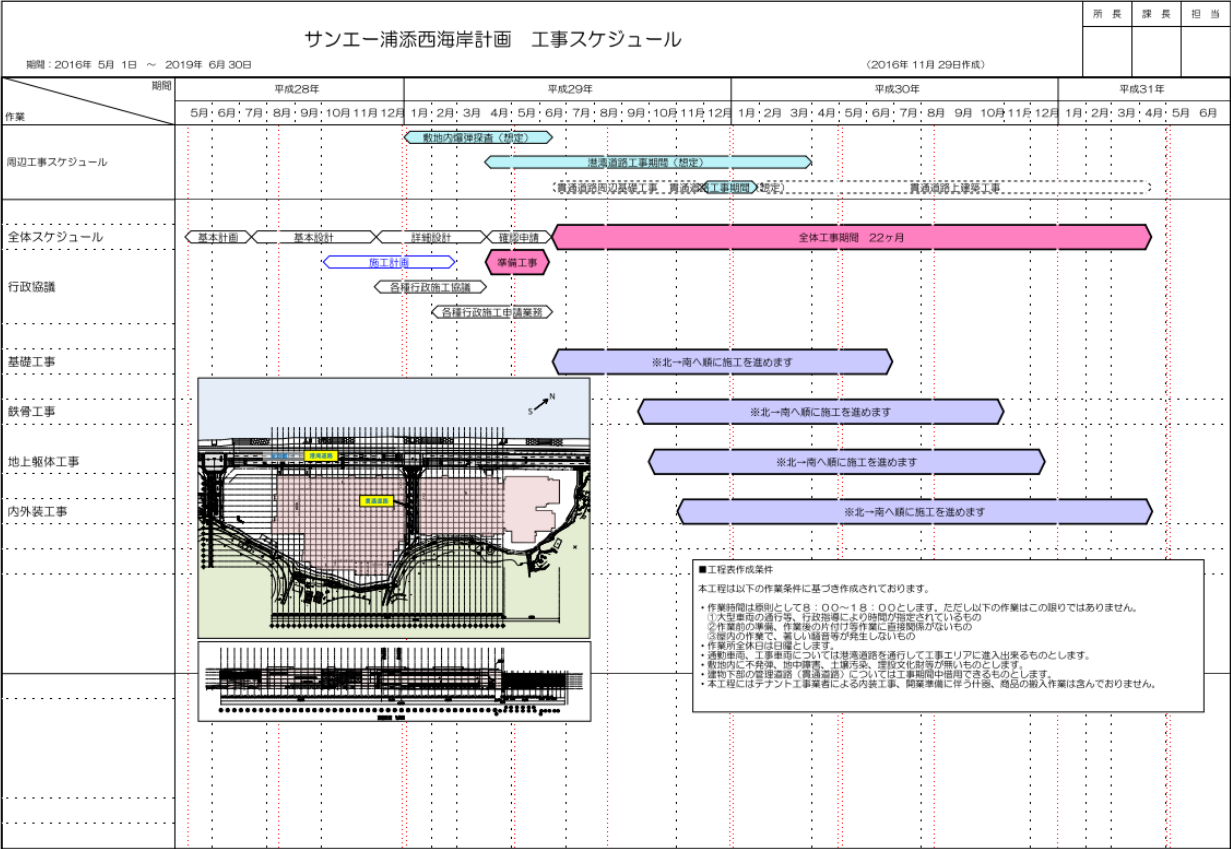


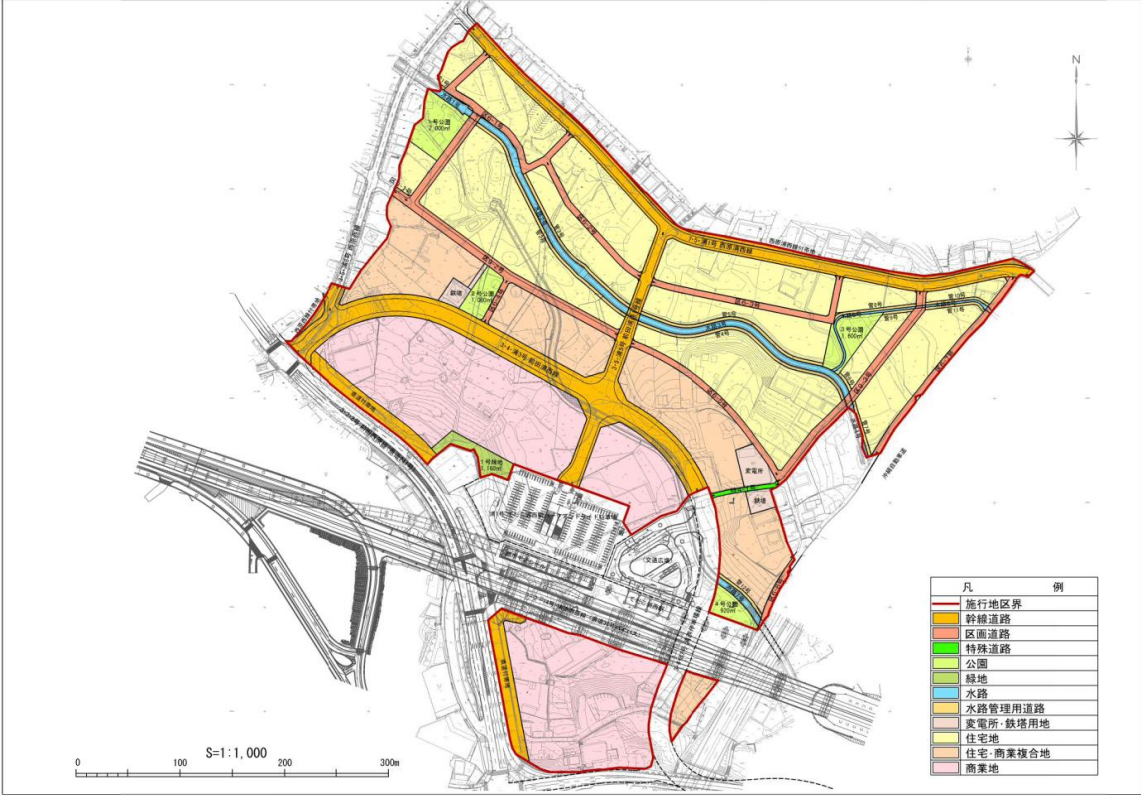
図 交通結節点 (H23 浦添市交通基本計画より)



■配布資料7: サンエー浦添西海岸計画について



那覇広域都市計画事業 てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業 市街化予想図 縮尺 1:1,000



てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業 概略事業行程表

2017/2/24

事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	備考
都市計画決定 事業認可手続き		告示6/5 認可12/15								
各種調査・設計		地区界測量・補償調査 地質調査・基本設計等								
換地設計 仮換地指定		土地評価 申し出調査等 換地設計 仮換地指定1/20								
補償・工事			前田浦西線周辺(駅周辺)		前田浦西線と北側水路間・駅南側		西原浦西線周辺(水路北側地区)			
保留地処分				保留地処分						
換地計画 換地処分									換地計画・換地処分	
関連事業					モノレール開業 商業施設オープン(予定)					

※上記工程は進捗状況により変動することがあります

♪ パークアンドライド駐車場(1,000台)は、
有料の公共駐車場として活用される予定です。

♪ 交通結節機能の強化は、
沖縄県のTDM施策APにも位置づけられ、
関係機関は協力して取り組むとしています。

レンタカー拠点

♪ 幸地インターチェンジに近い
レンタカー拠点は、
率的なレンタカー運用が期待されます。

高速バス 結節

♪ キャンパスバスとしては、既に首里駅から琉大快速バスが運行しています。

キャンパス
バス結節

♪ ゆいレール各駅で、
交通機関の乗り継ぎで移動利便性
向上が期待されています。

観光周遊
バス結節

メディカル バス結節

♪ 各種フィーダーバスの運行実現に向け、マーケティングや社会実験に加え乗継割引実施の声もあがっています。

◇新設

◇幸地インターチェンジ(フルIC)

◇公共有料駐車場 P&R(1,000台)

◇浦添西原線バイパス
西原町と浦添市の沿岸域を結ぶ4車線道路

◇駅前交通広場の結節機能

- ・バス停留所、駐機場
- ・タクシー乗降場、駐機場
- ・送迎(キスアンドライド)乗降場
- ・バイク、自転車置き場

工事は順調に進んでいます

○今後の展望

○浦添西原線バイパス高架橋下空間の活用

- ・レンタカー駐機場・事務所
- ・バス・タクシー駐機場
- ・他にも考えられます

■第3回意見交換記録写真



■公共交通に関する勉強会の開催/概要

- 各自治体公共交通担当職員等を対象とした勉強会を開催した。
- 地域密着型の交通施策行政を積極的に展開していく上で必要となる知己を深めることを目的とする。

研修目的 : 地域密着型の交通政策行政を積極的に展開していく上で必要となる知識を深める
※平成24年度より実施しており、今回が5回目

開催場所 : 沖縄総合事務局 5階 海技試験室 (那覇市おもろまち2-1-1)

対象職員 : 県内自治体等交通政策担当職員

研修期間 : 平成28年8月22日(月) 13:00~18:00

平成28年8月23日(火) 9:00~15:00

研修定員 : 50名

カリキュラム

○基調講演 福島大学経済経営学類准教授 吉田 樹

○事例紹介1 千葉県南房総市役所副主幹 鳶田 紀之

○事例紹介2 南城市企画室

○事例研究

カリキュラム及び講師紹介

基調講演 福島大学経済経営学類准教授 吉田 樹

<略歴>

2007年東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント、同助教を経て、2012年3月より福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、2013年4月より現職。専門分野は、地域交通計画、地域観光政策、都市・地域計画。国土交通省社会資本整備審議会、同交通政策審議会の臨時委員として、交通基本法案の検討に関わったほか、八戸市、三沢市、十和田市、北上市、山形市、武蔵野市などの公共交通政策に携わる。受賞:第34回交通図書賞(第一部経済・経営部門)『生活支援の地域公共交通(学芸出版社)』(2010年)。

事例紹介1 千葉県南房総市役所副主幹 鳶田 紀之

<略歴>

平成4年3月旧富浦町役場入庁。平成18年7町村合併より南房総市誕生。平成18年4月~平成22年3月企画部企画政策課にて交通政策に取り組む。合併により不均衡が生じたコミュニティバス等の再編整備に取組、市内地区長への説明や市役所庁内の連携・情報共有等を通じて、快速バスの運行やデマンド交通導入等、「機能と役割を明確にした公共交通体系」の構築を図った。快速バスが来訪者にとって二次交通としての機能を十分発揮できるよう、鉄道会社への積極的な売り込みを行う等、一時交通(鉄道・高速バス)との連携強化を図った。国土交通省関東運輸局地域公共交通マイスター)

事例紹介2 南城市企画室

事例研究

各自治体のおかれた状況に合わせて、テーマを設定し、2グループに分かれ討議を行います。各グループで発表後、講師より講評をする。

■日程、配布資料

日程表

日付	時間	
8月22日 (月)	13:00～13:10	開講挨拶
	13:10～14:40	基調講演 福島大学准教授 吉田樹
	14:40～14:50	休憩
	14:50～16:20	事例紹介1 千葉県南房総市役所副主幹 鳶田 紀之
	16:20～16:30	休憩
	16:30～17:00	事例紹介2 南城市企画室
	18:00～20:00	意見交換会
8月23日 (火)	9:00～11:30	グループ討議・発表
	11:30～11:40	休憩
	11:40～11:55	講評
	11:55～12:00	閉講挨拶
	12:00～13:00	昼食
	13:30～15:00	個別相談

- 【資料1】基調講演 : 福島大学准教授 吉田 樹先生
「コンパクト+ネットワーク」の形成に求められる地域公共交通の戦略的マネジメント
- 【資料2】事例発表1 : 南房総市総務部企画財政課 鳶田紀之氏
「関係主体との合意形成の必要性について」
- 【資料3】事例発表2 : 南城市企画部企画室
南城市の取り組み事例紹介

■出席者名簿

平成28年度 地域公共交通勉強会参加者

1日目	2日目	懇親会	個別相談	自治体	所属	氏名
○	×	×	×	那覇市	都市計画課	小濱 厚志
○	○	×	×	糸満市	政策推進課	大城 隆尚
○	○	×				新垣 敦生
○	○	○	○	沖縄市	都市整備室	古川 領
○	○	○				玉城 一司
○	○	×	×	豊見城市	協働のまち推進課	赤嶺 清
○	○	×			都市計画課	志堅原 良平
○	○	○	○	宮古島市	商工物産交流課	坂下 拓郎
○	○	○	○	南城市	企画室	安里 尚司
○	○	○				城間 盛春
○	○	○				大田 徹
○	○	×	○	読谷村	総務課	江田 守武
○	○	○	×	北谷町	企画財政課	田仲 康人
○	×	×	×	北中城村	企画振興課	名幸 真理
○	○	×	×	中城村	企画課	新屋敷 幸龍
○	×	○	×	与那原町	企画政策課	山城 司
○	×	○				山城 侑人
○	○	○	○	東村	総務財政課	又吉 一樹
○	○	○				宮城 真悟
○	○	○	○	与那国町	総務財政課	稲藏 杉作
○	×	○	×	北部広域	北部振興対策室	宮城 一博
○	×	○			北部振興対策室	宇座 徳彦

■グループ討議メンバー

班名	自治体	氏名
A班	沖縄市	玉城 一司
	豊見城市	志堅原 良平
	読谷村	江田 守武
	東村	又吉 一樹
	南房総市	鳶田 紀之

班名	自治体	氏名
B班	沖縄市	古川 領
	南城市	大田 徹
	宮古島市	坂下 拓郎
	運輸部	友利 早苗
	運輸部	小橋川 亜弓

班名	自治体	氏名
C班	糸満市	大城 隆尚
	糸満市	新垣 敦生
	与那国町	稲藏 杉作
	運輸部	平良 康晃

班名	自治体	氏名
D班	北谷町	田仲 康人
	東村	宮城 真悟
	運輸部	玉城 圭太
	運輸部	大山 一平

■勉強会の様子

1日目



基調講演：吉田 樹氏



事例紹介：鳶田 紀之氏



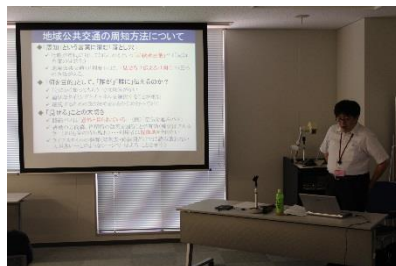
事例紹介：南城市企画室



2日目



グループ討議の様子



講評の様子



利用促進モデル

サービス
改善

**暮らしやお出かけの足として
使いやすい運行スタイルに改善する**

- 運行間隔の調整により「来ない」イライラを低減する
- 利用客および乗務員マナー啓発により「気持ちよく」乗車できる環境をつくる
- 定時性確保の「取組み」の利用客への周知・協力依頼
例: OKICA利用促進、現金客への事前準備依頼など

定期券
魅力向上

**通勤・通学の足として
使いやすいメリットを付加する**

- 複合運行路線での共通定期券発行で実質的な「待ち時間」を短縮する
●バス通学・通勤に協力的で収益増加が見込める学校・企業と先行運用
- 周辺立寄エリアなど同一運賃ゾーン拡充で「使い勝手」を拡充する
- 一定数利用者がいる学校・企業には訪問販売・割引率アップの便宜を提供
- P&Rなど交通結節点を持つ拠点では定期券提示による優待利用の便宜を提供

フリー
乗車券
魅力向上

**買い物・お出かけの足として
使いやすいメリットを付加する**

- 複合運行路線での共通乗車券発行で実質的な「待ち時間」を短縮する
●バス利用に協力的で収益増加が見込める商業施設と先行運用
- 商店街エリアなど同一運賃ゾーン拡充で「使い勝手」を拡充する
- P&Rなど交通結節点を持つ拠点では乗車券提示による優待利用の便宜を提供

表示モデル

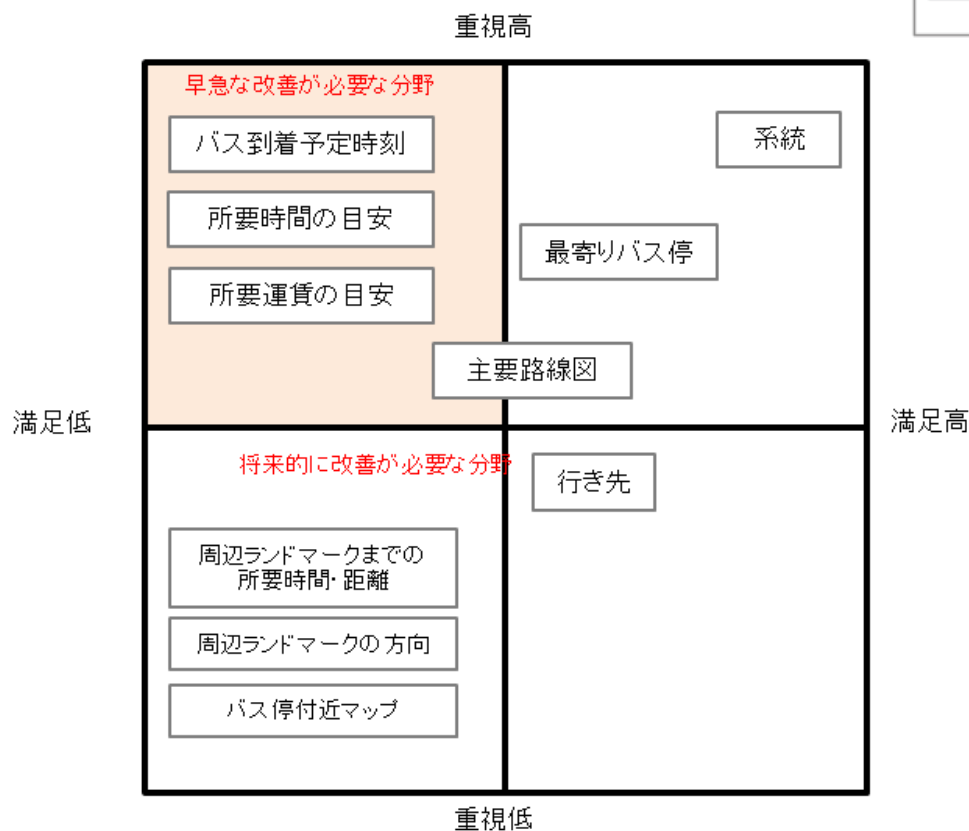
情報提供
強化

**運行情報だけでなく
暮らしやお出かけに利用しやすい情報提供を拡充する**

- 主要集客拠点への所要時間・運賃を明示
- 方面別乗換情報
- バス接近情報の提供強化

提供方法

- バス停表示情報拡充
 - バス停表示面拡大
 - サイネージ設置
- バス停周辺施設での表示
 - 商業施設・公共施設サイネージでのバス情報提供
- 簡略化した「バス路線図」の作成・配布やバス停での掲示
- バスナビ等検索システムの改善



公共交通網形成・見直しの課題

●「くらし・外出の足」としての認識向上

ふだん利用しない生活者にも、「クルマ」に代わり、くらし・外出の目的をかなえる移動手段として「使える」と実感してもらえる「サービスの見せ方」が必要。

交通事業者や自治体・行政からの働きかけはもちろんだが、目的地となる施設側からも勧めてもらえる協力関係づくりも欠かせない。

- ・主要な目的地には公共交通で行ける
- ・所要時間や料金の目安がつく
- ・駐車場探しが不要

●まちづくりとの連携

都市機能の再編やコンパクトシティをめざすハード面や市民参加・地域コミュニティ育成などのソフト面との連携が欠かせない。

- ・【ハード面】総合計画・都市計画、中心市街地活性化策など
- ・【ソフト面】市民参加・市民協働など当事者意識・誇りと愛着醸成、地域イベント支援などコミュニティ育成

●「乗継ぎ」しやすい運行体系づくり

路線再編で生じる乗継ぎの負担を感じさせないような交通結節点の設置や運用方法、メリットの付与のしくみが必要。

- ・乗継ぎ保証:1本乗り遅れてもほどなく次便に乗れる。
- ・着席保証:乗り継ぎでも座れる。
- ・待ち時間の有効活用:用事を済ませられる。
- ・定時速達性保証:直行するよりも早い。効率がよい。

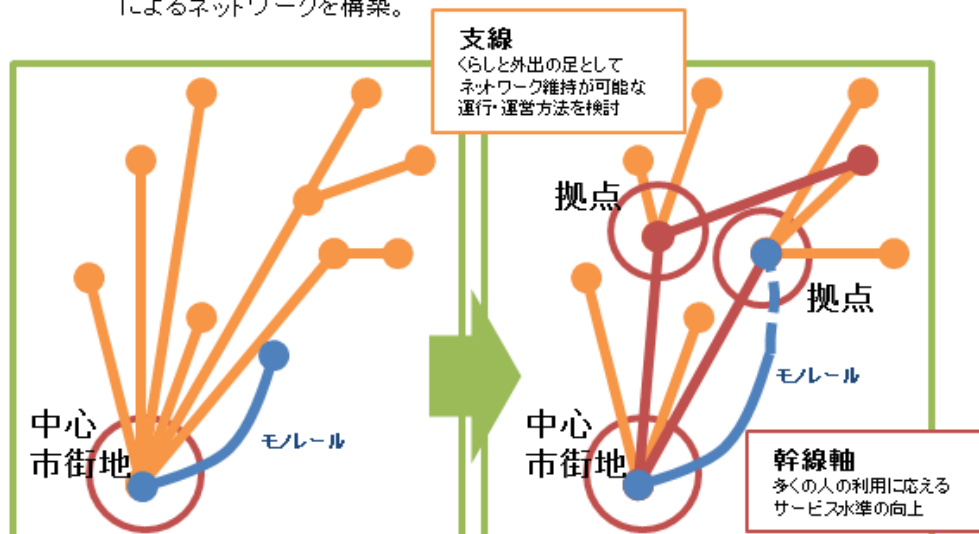
●サービス水準維持向上と事業者生産性向上の両立

乗務員不足、市外から中心市街地へバス移動の必要がある地域特性等の事業者の実情をふまえ、効率運行によるコスト削減、事業収益確保を実現することで、利用者のニーズに応えるサービス水準提供の原資を生み出せる仕組みをつくる。

あり方

基幹「軸」と「拠点」でネットワーク構築

日常のくらしの核となるエリアとの対流をうながす「拠点」への交通手段確保とおでかけの足となる「拠点」同士を軸となる基幹ルートによるネットワークを構築。



「集客拠点」の交通結節点化

くらしとまちづくりの視点から集客拠点に交通結節点機能をもたせることにより、くらし・外出の際の足(手段)として利用しやすい公共交通ネットワークへ再編。利用者のQOL向上、拠点のにぎわい創出、開発促進および公共交通の活性化という相乗効果の創出をめざす。

集客拠点

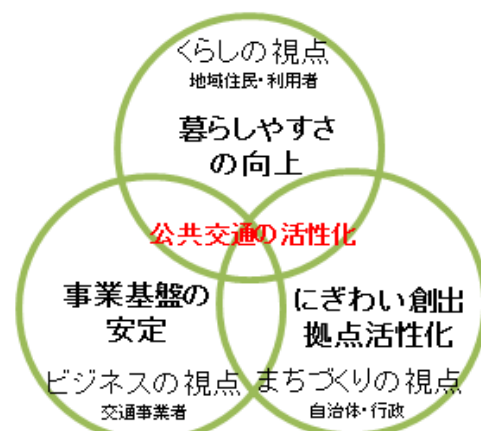
商業施設
金融機関
娯楽施設
医療施設
教育機関
公共施設
観光施設

交通結節点

路線バス
高速バス
モノレール
タクシー
自家用車
バイク・自転車
観光バス
レンタカー

駅

バス停
駐機場
駐車場



事業性や利用者ニーズにあわせた弾力的な運用

- 支線と幹線軸を接続する結節点は、乗継ぎ効率や事業収益性も考慮し、都心部からの「距離感」も勘案して設定。
- 速達性が重視される通勤時間帯は直行便、利用者が少ない昼間時間帯は乗り継ぎによる効率運行など、弾力的な運用を検討。

使いやすさの向上につながる

- 「わかりやすさ」と「不安感を払拭する」情報提供
(いつ来る、いくらかかる、何分かかる、どの系統に乗る、どこで降りる)
- 「乗ったらお得」を感じるインセンティブ

検討手法

